

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学入門 (カリキュラム外授業)	-	16	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	中村 浩	生理学Ⅰ、解剖学Ⅰ、Ⅱ、病理学、運動学 他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	担当教員: 歯科医師です。臨床経験を踏まえ、リハビリテーション医療の専門職として「生理学」が身近に感じられるように、大切なポイントや学び方について学習していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	生理学の学び方と主要なポイントを理解する。					
行動目標(SBO)	生命現象のメカニズムを理解し、授業範囲における専門用語の意味を理解し、説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
人体はどのように造られているのか(形態・構造)を学ぶ科目が「解剖学」、その人体を構成する臓器や器官がどのような仕組みで作用しているのか(役割・機能)を学ぶ科目が「生理学」です。理学療法士・作業療法士にとって、人体の構造と機能を理解することは必須となりますが、ここでは「生理学Ⅰ」で学ぶ内容の一部を取り上げ、重要事項を確認しながら、生理学の学び方や基本を理解していきます。 身体全体および各部の役割と機能について関心を持って、前向きに学習することが大切です。						
教科書・参考書						
【教科書】1 準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) 【その他】2) 系統看護学講座 専門基礎分野1 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第11版 医学書院2022 3) 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版(医学書院) 必要に応じ配布資料有り						
受講時留意点、その他						
理学療法士・作業療法士にとって重要な科目の入門編として開講します。 身体を構成する最小単位＝細胞の構造と機能及び身体の諸器官(神経・骨・筋・感覚など)の働きやその仕組みについて学んでいきます。常に問いかける姿勢を忘れずに、関心を持って積極的に授業に参加してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験		最終の授業後にまとめの試験を行います。				
小テスト		適宜、必要に応じて行います。				
レポート		予定していません。				
実技試験		なし				
プレゼンテーション		なし				
その他		カリキュラム外授業ですが、真剣に取り組んでください。				
(合計)						

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	身体の階層性 ヒトのからだの成り立ちと、最小単位である細胞の基本構造を学ぶ。 〈KW〉組織、器官、器官系、細胞小器官、核 ほか	中村浩		配布資料 講堂
第2回 4月4日	神経細胞(ニューロン)の構造と機能:興奮の伝導 〈KW〉神経細胞、活動電位、跳躍伝導、末梢神経の種類 * 神経による情報の伝導と神経線維の種類について学ぶ	中村浩		配布資料 講堂
第3回 4月11日	細胞の構造と機能 細胞によるエネルギー産生、タンパク質合成を学ぶ 〈KW〉三大栄養素、ミトコンドリア、ATP、核酸、転写 ほか	中村浩		配布資料 講堂
第4回 4月11日	シナプスの構造と興奮の伝達:シナプス伝達 〈KW〉シナプス、神経伝達物質、興奮性・抑制シナプス * 興奮(情報)伝達のメカニズムについて学ぶ	中村浩		配布資料 講堂
第5回 4月18日	細胞膜の構造と水の出入り 水は細胞内外をどうやって移動するかを学ぶ 〈KW〉質膜二重層、細胞内液、細胞外液、浸透圧 ほか	中村浩		配布資料 講堂
第6回 4月18日	中枢神経系の役割・機能①:脊髄・脳幹・小脳 〈KW〉中枢神経系の構成、脊髄、伝導路、脊髄反射、脳幹、脳神経、協調運動 * 中枢神経系の概要を理解し、脊髄・脳幹・小脳の役割について学ぶ	中村浩		配布資料 講堂
第7回 4月25日	細胞膜の構造と物質の出入り 栄養素などはどうやって細胞内外を移動するかを学ぶ 〈KW〉受容体、チャネル、ポンプ、担体、拡散 ほか	中村浩		配布資料 講堂
第8回 4月25日	中枢神経系の役割・機能②:間脳(視床・視床下部)・大脳・高次脳機能 〈KW〉間脳・大脳(皮質・基底核・辺縁系)・高次脳機能(記憶・言語・他) * 間脳・大脳の役割と高次脳機能について学ぶ	中村浩		配布資料 講堂
確認試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	PC演習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村直人	情報統計科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	理学療法士・作業療法士は、業務の報告や引継ぎのためのワープロソフト、患者の日々の変化を数値化するための表計算ソフト、学会・研究会等の発表に用いるプレゼンテーションソフト等が使えることが必須になってきている。この科目では、これらの基本的な使い方を理解すると同時に、インターネットの仕組みについて理解し、その中で自分自身がどのように振舞わなければならないかについて学ぶ。					
行動目標 (SBO)	・本校ポータルサイトのデスクネッツで閲覧板の作成、メールの作成等ができる。 ・インターネットの世界と現実世界は違っているようでそれほど違わないことを理解する。 ・プレゼンテーションソフト(パワーポイント)の基本的な使い方を理解する。 ・ワープロソフト(ワード)の基本的な使い方を理解する。 ・表計算ソフト(エクセル)の基本的な使い方を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
学生により、ソフトウェア使用の経験が大きく異なるため、場合により個別に補習等を行うことがある。						
教科書・参考書						
特に教科書は使わないが、使い方に関する本はたくさん出版されているので、それらを参考にするのは構わない。						
受講時留意点、その他						
授業の進み具合によっては、内容が変更される場合がある。 授業中にスマートフォン、タブレット等を使用する場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	成績評価は、授業の中で作成する提出物（プレゼンテーションファイル等）にて行う。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	デスクネッツ の使用法Ⅰ : 各人に与えられるデスクネッツ のアカウントを用いてログイン・ログアウトする方法を学び、基本設定を行う。	中村		204
第2回	デスクネッツ の使用法Ⅱ : 本項で最も用いられる閲覧板の使用法について理解する。また、メールの使用法について学ぶ。	中村		204
第3回	デスクネッツ の使用法Ⅲ : スケジュール機能を使って時間割を作成し、共有する方法を理解する。	中村		204
第4回	インターネットリテラシー : インターネットの成り立ちとそれを利用していくために心得ておくべきことを理解する。	中村	配布資料	204
第5回	SNS利用の注意点 : 誰もが利用しているSNSについて、個人情報など、医療従事者を志すものが留意すべき事柄を理解する。	中村	配布資料	204
第6回	インターネット上での情報の検索 : インターネット上の情報がどのように役に立ち、どのように危険かについて理解する。	中村	配布資料	204
第7回	オペレーティングシステム (Windows) の基礎知識 : コンピュータで、我々が無意識的に使っているオペレーティングシステムがどのようなことをしているかを理解する。	中村		204
第8回	自分をプレゼンしようⅠ : パワーポイントを使って自己紹介のプレゼンテーションを作成する。	中村		204
第9回	自分をプレゼンしようⅡ : 前回の続き。作成したプレゼンテーションファイルの提出をする。	中村		204
第10回	履歴書を作ろう : ワードを使って、履歴書を作成し、ファイルを提出する。	中村	配布資料	204
第11回	表計算ソフトは何ができるか : 表計算ソフト (エクセル) の成り立ちと基本的な仕組みについて理解する。	中村		204
第12回	データからグラフを作る : エクセルを使って、データから様々なグラフを作成し、結果を提出する。	中村		204
第13回	式が使えると色々と便利Ⅰ : セルに式を埋め込み、自動的に計算させる方法について理解する。	中村	配布資料	204
第14回	関数が使えると色々と便利Ⅰ : 関数の基本的な考え方について理解する。	中村		204
第15回	関数が使えると色々と便利Ⅱ : 関数を使って簡単な統計を行う。	中村		204
定期試験	(提出物により評価を行うため、定期試験は行わない)			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	情報統計科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村直人	PC演習、作業療法研究				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	アプリケーションの基本的な使い方を理解し、また、生物科学の理論の根拠としての統計学の基礎を学ぶ。					
行動目標(SBO)	1. 統計学の基礎となる概念である、確率、測定尺度、正規分布、等を理解する。 2. 基本的な統計的手法を理解する。 3. 表計算ソフトを用いて統計的検定を行う方法を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
場合により補習等を行うことがある。						
教科書・参考書						
教科書:市原清志／著 バイオサイエンスの統計学 (南江堂)						
受講時留意点、その他						
授業の進み方によっては、内容が変更される場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験の成績で評価する。6割以上を合格とする。				
小テスト	0	理解度を確かめるための確認として行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	統計学とは何か (生物科学において、なぜ統計という概念が必要なのか理解する) KW:母集団、標本、分布	中村	p1-7	204
第2回	統計の基礎になる数学 (統計学を理解するために必要な基礎数学について学ぶ) KW:確率、シグマ	中村		204
第3回	尺度と分布 I (統計学を理解するために必要な概念について学ぶ) KW:分類尺度、順序尺度、間隔尺度、比尺度	中村	p9-11	204
第4回	尺度と分布 II (統計学を理解するために必要な概念について学ぶ) KW:二項分布、正規分布	中村	p24-25	204
第5回	検定の原理 (統計的手法の手順について学ぶ) KW:背理法、帰無仮説、対立仮説、検定量、有意水準、確率	中村		204
第6回	対応のある2群の差の検定 I (パラメトリック検定である、1標本t検定の原理を学ぶ)	中村	p27-41	204
第7回	対応のある2群の差の検定 II (1標本t検定、続き)	中村	p27-41	204
第8回	対応のある2群の差の検定 III (ノンパラメトリック検定である、Wilcoxon検定の原理を学ぶ)	中村	p50-69	204
第9回	対応のない2群の差の検定 I (パラメトリック検定である、2標本t検定の概要を学ぶ)	中村	p71-89	204
第10回	対応のない2群の差の検定 II (2標本t検定内で必要となる、等分散の検定について学ぶ)	中村	p71-89	204
第11回	対応のない2群の差の検定 III (2標本t検定の全体の流れについて学ぶ)	中村	p71-89	204
第12回	対応のない2群の差の検定 IV (ノンパラメトリック検定である、Mann-Whitney検定の原理を学ぶ)	中村	p90-114	204
第13回	計数値データの検定 I (1要因の検定法のうち、二項検定、 χ^2 乗適合度検定を学ぶ)	中村	p115-123	204
第14回	計数値データの検定 II (2要因の検定法のうち、 χ^2 乗独立性の検定、Fisherの直接確率計算法を学ぶ)	中村	p124-146	204
第15回	計数値データの検定 III (χ^2 乗独立性の検定、Fisherの直接確率計算法、続き)	中村	p124-146	204
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	心理学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村直人	人間発達学、臨床心理学、リハビリテーションと障害、など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人間の行動や基礎にある原理を学び、こころの理解に必要な基本的知識を身につける。					
行動目標 (SBO)	1. 行動を引き起こす入力としての感覚・知覚、行動を支える意識・情動について理解する。 2. 行動を司るメカニズムとしての学習・記憶・思考について理解する。 3. 個人を形作る特徴と人同士のかけわり合いによる行動の変化について理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法士・作業療法士は、体や心にハンディキャップを持つ人をサポートすることが仕事である。そのため、健康な人の心を知っておくことは非常に重要である。 将来受験する国家試験では「心理学」という分野はないが、関係する設問が様々な分野(特に臨床心理学、運動学、生理学等)にまたがって出題されるので、単なる教養科目と思わないで受講すること。						
教科書・参考書						
教科書は使用せず、プリントを配布する。						
受講時留意点、その他						
授業の進み方によっては、内容が変更される場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験の成績で評価する。6割以上を合格とする。				
小テスト	0	理解度確かめるための確認として行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	感覚と知覚 （我々の行動を引き起こすメカニズムの入り口としての感覚と知覚を視覚を例にとつて学ぶ） KW：桿体、錐体、盲点、奥行きの知覚、恒常性、錯視	中村	資料配布	201
第2回	意識 （我々の行動を支える意識の活動とその変容について学ぶ） KW：サーカディアンリズム、感覚遮断、催眠、薬物依存	中村	資料配布	201
第3回	学習Ⅰ （我々の行動を引き起こす学習の基礎について学ぶ） KW:古典的条件づけ、オペラント条件づけ、弁別、般化、強化	中村	資料配布	201
第4回	学習Ⅱ （人間の運動学習に深くかわる概念を学ぶ） KW:結果の知識、遂行の知識、分散学習と集中学習、運動プログラム	中村	資料配布	201
第5回	1-4回のまとめと解説	中村		201
第6回	記憶 （我々が頭の中に情報を保持するための基本的メカニズムについて学ぶ） KW:忘却、干渉、宣言的記憶、手続き的記憶	中村	資料配布	201
第7回	動機づけ （我々の行動を強めたり弱めたりする機能について学ぶ） KW:生理的動機、内発的動機、社会的動機	中村	資料配布	201
第8回	情動 （行動を我々の意図とは異なる方向へ導くメカニズムについて学ぶ） KW:末梢説、中枢説、パベツツの回路、二重構造説、海馬、扁桃体	中村	資料配布	201 PT全員
第9回	ストレスとコーピング （同じ刺激でも異なる影響を引き起こすメカニズムとストレスへの対処について学ぶ） KW:ストレス、HPA軸、汎適応症候群、A型行動パターン	中村	資料配布	201
第10回	6-9回のまとめと解説	中村		201
第11回	パーソナリティと診断 （我々の個性を形作る特徴とその測定法について学ぶ） KW:類型論、特性論、質問紙法、作業検査法、投影法、テストバッテリー	中村	資料配布	201
第12回	思考と言語Ⅰ （我々が「考えている」とき、頭の中でどのようなことが起こっているかについて学ぶ） KW:問題解決、表象、概念	中村	資料配布	201
第13回	思考と言語Ⅱ （我々はどのようなやり方で考え、その結果をどのように整理しているかについて学ぶ） KW:推論、文章理解	中村	資料配布	201
第14回	人間関係の心理 （他者の存在が我々の行動にどのように影響するか学ぶ） KW:アイヒマン実験、認知的不協和、責任の拡散、リスクシフト	中村	資料配布	201
第15回	11-14回のまとめと解説	中村		201
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	科学哲学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	増田 隼人(非常勤)					
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期						
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	科学哲学の議論を通じて、リハビリテーションに関わる者として科学的・哲学的に自問していく素養を身につける。					
行動目標(SBO)						
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
現代社会において、「科学的な意見」はしばしば真理と同じように捉えられる。しかし、「科学的とはどういうことか」、「科学は何を語れるのか/語れないのか」といった視点が欠如するのは時に危険である。特に治療やリハビリテーションなどの現場で科学を活用する医療従事者にとって、科学への妄信は、患者の人間性を軽視することにもつながりかねない。本講義では、科学的・哲学的に自問できるようになることを目標に、科学の営みや方法論などについて検討・批判する。						
教科書・参考書						
<教科書>ドン・アイディ『技術哲学入門—ポスト現象学とテクノサイエンス—』稲垣諭ほか訳、晶文社(※) ※2025年4月に刊行予定なので、初回講義時には持参しなくても構いません。 <参考図書>稲垣 諭:『リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション』春風社 A.F.チャルマーズ:『科学論の展開』恒星社厚生閣						
受講時留意点、その他						
前期 火曜日の3,4限に開講 講義形式であるが、参加型の課題なども行う。 受講者には自ら問いを立て、思索し、発言する主体性と積極性を期待する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	哲学とは何か	増田		講堂
第2回 4/8	科学哲学とは何か	増田		講堂
第3回 4/22	科学的な推論(演繹法)	増田		講堂
第4回 4/22	科学的な推論(帰納法)	増田		講堂
第5回 5/13	科学的な推論(アブダクション)	増田		講堂
第6回 5/13	科学は確実なのか？	増田		講堂
第7回 5/27	「科学的」とはどういうことか？	増田		講堂
第8回 5/27	「科学者」とは誰か？ どこにいるのか？	増田		講堂
第9回 6/3	科学とテクノロジー	増田		講堂
第10回 6/3	科学の進歩	増田		講堂
第11回 6/17	意識と身体	増田		講堂
第12回 6/17	科学を使うということ	増田		講堂
第13回 7/1	リハビリテーションと哲学①	増田		講堂
第14回 7/1	リハビリテーションと哲学②	増田		講堂
第15回 7/8	まとめ	増田		講堂
定期試験	前期末試験			

- 3限 13:00～14:30
- 4限 14:40～16:10

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	生活社会科学	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	科学哲学・人間発達学・心理学・コミュニケーション論等				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期						
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	さまざまな世代の人の生活を理解するために、家庭内での生活や社会における生活を、それぞれの世代の社会規範や背景、人生観や価値観などについて理解を深める					
行動目標（SBO）	１．生活とは何かについてさまざまな考えを説明できる。 ２．仕事や余暇活動についての考え方を説明できる。 ３．病いや老いについての考え方を説明できる。 ４．各世代の生活について説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
理学療法士・作業療法士は様々な世代の方の生活を支援する仕事であるため、各世代の生活を理解することが重要である。その人らしい生活が送れるよう支援するためには、それぞれの生活で大切にしていること、期待されていることを知る必要がある。それぞれの生活に関する考え方を時代背景や価値観、人生観など含め、自分の身の回りの人から聴取することによって学ぶ。						
教科書・参考書						
参考書：社会学入門―社会とのかかわり方　筒井淳也・前田泰樹著．有斐閣ストウディア						
受講時留意点、その他						
授業内でのレポート提出の日の欠席はレポート提出しなくてよい。（採点から除外） しかし、欠席時に家族へのインタビュー内容についての授業内容である場合は、登校時必ず中村をたずねること。（家族へのインタビューは欠席に関わらず行うこと）その他、インタビューできない事情のある人は中村まで相談に来ること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回授業のまとめ・インタビュー内容の課題（詳細は授業ごとに提示する）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。 提出期限を過ぎたものはレポート採点対象外とします。（０点）				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション/生活すること 自分にとって生活することの意味について話し合い、理解する 【KW】生活・価値観・人生	中村	配布資料	207
第2回	現代社会における課題と問題 現代社会にはどのような問題や課題を抱えているかグループで話し合う 【KW】社会・課題や課題・生活	中村	配布資料	207
第3回	社会人に求められる能力 社会の一員として自分自身に求められる能力について考える 【KW】ソーシャルスキル・社会人・学生	中村	配布資料	207
第4回	出生について 出生について、妊娠・出産と選択をどう考えるを話し合い、発表する。 【KW】社会階層の閉鎖性・優生保護法・出生前診断	中村	配布資料	207
第5回	家族とは 家族の多様化・家族規範について話し合う 【KW】家族・多様化・規範	中村	配布資料	207
第6回	家族であることの意味① 自分の家族の誰にどんなことを聞いてみたいかを話し合い、発表する 【KW】情報収集の内容・家族であること・イベント・出来事	中村	配布資料	207
第7回	病むこと・老いること 今までとは異なる生活を送らざるを得ない状況について理解を深める 【KW】病気・老化・心理	中村	配布資料	207
第9回	家族であることの意味② 兄弟・親や祖父母にインタビューした内容について発表する。 【KW】家族・イベント・インタビュー	中村	配布資料	207
第8回	働くことの意味 社会の中で働くことについて、どうのように考えるかを話し合う 【KW】ワークバランス・生き甲斐・感情労働	中村	配布資料	207
第10回	家族を介護すること 自分の家族の介護が生活に与える影響や変化について理解を深める 【KW】介護離職・ヤングケアラー・生活	中村	配布資料	207
第11回	働くことの意味② 現在働いている人からインタビューした内容について発表する。 【KW】働くこと・仕事の選択・やりがい	中村	配布資料	207
第12回	人生における過去・現在・未来① 自分と同じ世代の人たちが歩んできた人生について理解を深める 【KW】出来事・流行・世代	中村	配布資料	207
第13回	人生における過去・現在・未来② 自分とは異なる世代の人たちが歩んできた人生について理解を深める 【KW】年代ごとの出来事や流行・ジェネレーションギャップ・価値観	中村	配布資料	207
第14回	現代社会における課題の解決① グループで挙げた課題について解決策のアイデアを話し合う 【KW】社会・課題・解決	中村	配布資料	207
第15回	現代社会における課題の解決② グループで話し合った内容についてプレゼンテーションを行う 【KW】社会・課題・解決	中村	配布資料	207
定期試験	実施しない。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語 I	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	原田 真由子(非常勤)	英語A、英語B				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期						
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる。 ②スピーキングとリスニング方略を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
国際化が進み、日本の医療現場においても、英語でのコミュニケーションの重要性が従来にも増して高まっています。この授業では、①医療に関連する英単語を学ぶ、②医療現場において、英語でコミュニケーションを図るための表現を学ぶ、③スピーキングとリスニング方略を学ぶ、を授業目標とします。授業だけで外国語をマスターするのは難しいので、独学の方法も紹介します。						
教科書・参考書						
「PT・OTが書いたリハビリテーション英会話」(第8刷), 三木貴弘、今本大地、岡谷内美乃里 著, Jeffrey Huffman 英文監修, 2024年, メジカルビュー社発行						
受講時留意点、その他						
前期の毎週火曜日に開講します。 小テストを適宜実施します。 授業内で英単語を調べる事がありますので、手持ちの英和辞典か電子辞書を持参して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行う。(6割に満たない場合は、再試験を行う)				
小テスト	10	授業内で行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	提出物や授業内での活動等を評価します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション 英語で自己紹介の練習をしよう Lesson 1 初回の挨拶をしよう	原田		一般教室
第2回	Lesson 2 痛む部位を聞いてみよう	原田		一般教室
第3回	Lesson 3 痛みの種類や程度を聞いてみよう	原田		一般教室
第4回	Lesson 4 痛みの経過を聞いてみよう	原田		一般教室
第5回	Lesson 5 基本的な肢位を指示してみよう	原田		一般教室
第6回	Lesson 6 応用的な肢位を指示してみよう	原田		一般教室
第7回	Lesson 7 バイタルサインを確認しよう	原田		一般教室
第8回	Lesson 8 自動可動域を測定してみよう	原田		一般教室
第9回	Lesson 9 他動可動域を測定してみよう	原田		一般教室
第10回	Lesson 10 体幹の可動域を測定してみよう	原田		一般教室
第11回	Lesson 11 頸部の可動域を測定してみよう	原田		一般教室
第12回	Lesson 12 筋力を測定してみよう	原田		一般教室
第13回	Lesson 13 触覚検査をしてみよう	原田		一般教室
第14回	Lesson 14 バランス検査をしてみよう	原田		一般教室
第15回	Lesson 15 歩行評価をしてみよう 前期学習内容の復習	原田		一般教室
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語A(選択)	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	原田 真由子(非常勤)	英語 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる。 ②スピーキングとリスニング方略を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
国際化が進み、日本の医療現場においても、英語でのコミュニケーションの重要性が従来にも増して高まっています。この授業では、①医療に関連する英単語を学ぶ、②医療現場において、英語でコミュニケーションを図るための表現を学ぶ、③スピーキングとリスニング方略を学ぶ、を授業目標とします。授業だけで外国語をマスターするのは難しいので、独学の方法も紹介します。						
教科書・参考書						
「PT・OTが書いたりハビリテーション英会話」(第8刷), 三木貴弘、今本大地、岡谷内美乃里 著, Jeffrey Huffman 英文監修, 2024年, メジカルビュー社発行						
受講時留意点、その他						
後期の毎週開講します。 小テストを適宜実施します。 授業内で英単語を調べる事がありますので、手持ちの英和辞典か電子辞書を持参して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行う。(6割に満たない場合は、再試験を行う)				
小テスト	10	授業内で適宜行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	提出物や授業内での活動等を評価します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	Lesson 16 ホームエクササイズを指導してみよう	原田		
第2回	Lesson 17 RICE処置を指導してみよう	原田		
第3回	Lesson 18 移乗動作の練習をしてみよう	原田		
第4回	Lesson 19 食事の評価と指導をしてみよう	原田		
第5回	Lesson 20 適切な歩行補助具を選択してみよう	原田		
第6回	Lesson 21 自宅のトイレを改修してみよう	原田		
第7回	Lesson 22 退院後の生活指導をしてみよう	原田		
第8回	テキストの総復習	原田		
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語B(選択)	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	原田 真由子(非常勤)	英語 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標(SBO)	①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる。 ②スピーキングとリスニング方略を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
国際化が進み、日本の医療現場においても、英語でのコミュニケーションの重要性が従来にも増して高まっています。この授業では、①医療に関連する英単語を学ぶ、②医療現場において、英語でコミュニケーションを図るための表現を学ぶ、③スピーキングとリスニング方略を学ぶ、を授業目標とします。授業だけで外国語をマスターするのは難しいので、独学の方法も紹介します。						
教科書・参考書						
「PT・OTが書いたりハビリテーション英会話」(第8刷)、 三木貴弘、今本大地、岡谷内美乃里 著、Jeffrey Huffman 英文監修、2024年、メジカルビュー社発行						
受講時留意点、その他						
後期の毎週開講します。 小テストを適宜実施します。 授業内で英単語を調べる事がありますので、手持ちの英和辞典か電子辞書を持参して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行う。(6割に満たない場合は、再試験を行う)				
小テスト	10	授業内で適宜行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	提出物や授業内での活動等を評価します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	Lesson 16 ホームエクササイズを指導してみよう	原田		
第2回	Lesson 17 RICE処置を指導してみよう	原田		
第3回	Lesson 18 移乗動作の練習をしてみよう	原田		
第4回	Lesson 19 食事の評価と指導をしてみよう	原田		
第5回	Lesson 20 適切な歩行補助具を選択してみよう	原田		
第6回	Lesson 21 自宅のトイレを改修してみよう	原田		
第7回	Lesson 22 退院後の生活指導をしてみよう	原田		
第8回	後期学習内容の復習 テキストの総復習	原田		
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	コミュニケーション論	2	30	講義・演習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・山口美和	作業療法評価学演習・生活社会科学 ボランティア活動論・臨床実習Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	●岡本博行:作業療法士としての臨床経験を活かし臨床現場での内容を含め教示します。 ●山口美和:理学療法士で指定教科書の著者。リハビリテーション病院勤務の後、地域リハビリテーションに従事。その後学校勤務を経て独立。大学での講義や病院などでの研修、執筆活動を通して医療者のコミュニケーション教育を行いながら、現在も地域リハビリテーション活動を続けている。コミュニケーションを体験的に学ぶ演習型授業で12回にわたり教示します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	コミュニケーションの基本を演習から学ぶとともに、自分が日常的に行っているコミュニケーションパターンに気付くことを通して自身の課題を明確にし、自己成長への取り組みを始めることができる。コミュニケーションスキルを向上させることができる。					
行動目標 (SBO)	①コミュニケーションとは何か説明できる。 ②みる・きく・伝える力を向上させることができる。 ③社会人、医療人の適切なマナーとしてのコミュニケーションとは何かを説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法士・作業療法士は対象者やご家族とのコミュニケーションが不可欠である。また多職種と連携していく上でもコミュニケーション能力は必要となる。本講義は基本的臨床技能としてのコミュニケーション技術を実践的に学ぶとともに、学んだ技術を自律性を持って発揮できる自分になることを目指し、自己理解を深めることに取り組む。「メタ認知能力(今ここにおける自分や周囲の状況を客観視できる力)」を高めるための仕掛けを活用しながら、セルフワークやペアワーク、グループワークなどの体験学習を通じて学びを深めていく。人との関わりが苦手な人は、この講義を活用して新たな自分を発見して欲しい。自身と仲間の成長の貢献のために、真摯な取り組みを期待する。						
教科書・参考書						
教科書:山口美和著 PT・OT・STのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド第3版, 医学書院, 2024						
受講時留意点、その他						
ワーク中心の授業となる。積極的に参加する姿勢が望まれる。挨拶, 言葉遣い, 礼儀, 態度だけでなく, 医療人としてふさわしい身だしなみについても学んでほしい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	90	授業中に行うワークシート(振り返りシート)の提出および内容にて評価する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	各単元にて行う演習場面にて、授業内容に沿った演習ができているか確認を行う。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション, 自己紹介① 自己紹介をする。自己紹介の理解。 【キーワード】傾聴、雰囲気づくり	岡本		講堂
第2回	自己紹介② 自己紹介をする。自己紹介の効果。少人数のグループで自己紹介をする。 【キーワード】共感、同意	岡本		講堂
第3回	自己紹介③ 自己紹介をする。自己紹介の効果。大人数に対して自己紹介をする。 【キーワード】先入観、効果	岡本		講堂
第4回 4月17日	自分を理解しよう① 自分自身について知る 【キーワード】メタ認知・自立と自律・自己概念・自己肯定感・エゴグラム	山口	第1・2回	207
第5回 4月24日	自分を理解しよう② 他者から見た自分について知る 【キーワード】ジョハリの窓・自己開示・フィードバック・対人認知・印象形成・認知バイアス	山口	第3回	207
第6回 5月1日	自分を理解しよう③ 態度について学ぶ 【キーワード】態度・人生の立場・ディスカウント・ポーターの態度類型・PT/OT学生に求められる態度	山口	第4回	207
第7回 5月15日	コミュニケーション能力を向上させよう① コミュニケーションの種類・コミュニケーション能力について知る 【キーワード】言語/準言語/非言語コミュニケーション・コミュニケーション能力	山口	第8回	207
第8回 5月22日	コミュニケーション能力を向上させよう② みることについて学ぶ 【キーワード】みる(見る/観る/診る/看る/視る)・ミラーリング・ペーシング	山口	第9回	207
第9回 5月29日	コミュニケーション能力を向上させよう③ きくことについて学ぶ 【キーワード】聞く・聴く・リフレージング・傾き・相づち	山口	第10回	207
第10回 6月5日	コミュニケーション能力を向上させよう④ 伝えることについて学ぶ 【キーワード】伝える・伝える力・ノイズ・伝わる・ほうれんそう・つうでんけいアプローチ	山口	第11回	207
第11回 6月19日	コミュニケーション能力を向上させよう⑤ 自分も相手も大切にしたい伝え方について学ぶ 【キーワード】アイメッセージ・ユーメッセージ・アサーティブネス	山口	第12回	207
第12回 6月26日	コミュニケーション能力を向上させよう⑥ 質問のしかたについて学ぶ 【キーワード】オープン・クエスチョン クローズド・クエスチョン 重点的質問法 多項目質問法	山口	第23回	207
第13回 7月3日	自律した自分になろう① 自己管理について学ぶ 【キーワード】自己管理・時間管理・スケジュール管理・健康管理・レジリエンス	山口	第13回	207
第14回 7月17日	自律した自分になろう② 感情管理について学ぶ 【キーワード】感情管理・感情労働・マインドフルネス瞑想・ABC理論・怒りのコントロール・メタ認知的コミュニケーション	山口	第14回	207
第15回 7月24日	自律した自分になろう③ 自己存在と自己実現 【キーワード】自己存在・ニューロロジカルレベル・自己実現・ビジョン・目的・目標	山口	第15回	207
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	ボランティア活動論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	望月里子、野村めぐみ 赤岩龍士、松尾祐介	地域理学療法学、スポーツ科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業は理学療法士・作業療法士が担当します。医療施設での理学療法・作業療法の実務経験やボランティア活動の経験も併せ、自身にできることを考え、行動できるように授業していきます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	ボランティアの定義を理解し、理学療法士・作業療法士として参加できる活動について知る。					
行動目標(SBO)	1　ボランティアの定義、理念について知る。 2　理学療法士・作業療法士が行えるボランティア活動について知る。 3　ボランティアの心得と注意点を知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
ボランティア(volunteer)は、ラテン語の自由意思(voluntass)が語源で、個人の自由意思に基づき、経済的報酬を求めず、その技能や時間などを提供して、社会貢献する活動と言う意味で使われています。理学療法士は、広く社会貢献を求められる国家資格であり、その専門性が有効に活用できる専門職と言えます。 地域の健康づくり、介護予防、災害時の避難所、障がい者スポーツなど活動の場は多岐にわたります。学外における様々なボランティア活動の経験も併せ、自信にできることを考え、行動できるような豊かな人間性を備えましょう。						
教科書・参考書						
【教科書】 指定なし 【参考書】 講義にて随時紹介						
受講時留意点、その他						
ディスカッションでは、活発な意見交換や経験の報告を行います。積極的に参加すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	80	ボランティアに関わる企画書(A3　1枚程度)第7回で提出。(グループで1枚)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	グループワークでの参加状況、発表時の態度等。(詳細は第6回でお知らせします)				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>ボランティアの定義</u> ボランティアという活動を知る。 【キーワード】 ボランティア、役割	望月	配布資料	
第2回	<u>理学療法士・作業療法士とボランティア①</u> 精神保健福祉におけるボランティアについて学ぶ。 【キーワード】精神保健複視、うつ病、統合失調症	野村	配布資料	
第3回	<u>理学療法士・作業療法士とボランティア② ※ゲストスピーカー</u> 精神保健福祉におけるボランティアについて学ぶ。 【キーワード】精神保健複視、うつ病、統合失調症	野村	配布資料	
第4回	<u>理学療法士・作業療法士とボランティア③</u> 災害ボランティアについて学ぶ。 【キーワード】災害時の活動、搬送、介助	赤岩	配布資料	
第5回	<u>理学療法士・作業療法士とボランティア④</u> イベントボランティアの中で理学療法士ができることについて学ぶ。 【キーワード】障がい者スポーツ・各スポーツ大会・障がい者	赤岩	配布資料	
第6回	<u>ボランティアを企画する①</u> 自分たちができる障がい者スポーツのイベントやボランティアを考えよう。 【キーワード】障がい者スポーツ、ボランティア、施設でのイベント	望月	配布資料	
第7回	<u>ボランティアを企画する②</u> 企画したボランティアを発表、共有しよう。 【キーワード】障がい者スポーツ、ボランティア、施設でのイベント	望月	配布資料	
第8回	<u>認知症サポーターについて</u> 認知症についての理解を深めよう。 【キーワード】 認知症・病態・接し方	松尾	配布資料	
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	安藤 亨(非常勤)	解剖学Ⅱ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、人体構造学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人体の構造を理解する。					
行動目標(SBO)	①神経系・感覚器系の構造を学ぶ。 ②呼吸器系・循環器系・消化器系の構造を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
解剖学は、医療職を志す者にとって基礎中の基礎といえる学問である。人の動きに直接関与する筋骨格系はもとより、動きを指令する神経系や動きを感知する感覚器系を十分熟知すること、動作を遂行するためのエネルギーの視点から呼吸器系・循環器系・消化器系などについても理解を深めることが求められる。 解剖学Ⅰでは、このうち、神経系・感覚器系・呼吸器系・循環器系・消化器系について学ぶ。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
毎週、月曜日3限に開講						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/7	解剖学総論 定義・目的、人体の概要、解剖学用語、人体の構成	安藤		講堂
第2回 4/14	感覚器系 外皮、視覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器	安藤		講堂
第3回 4/21	神経系総論、末梢神経系① 神経系総論、脳神経	安藤		講堂
第4回 4/28	末梢神経系② 脳神経、自律神経	安藤		講堂
第5回 5/12	中枢神経系① 大脳	安藤		講堂
第6回 5/19	中枢神経系② 伝導路	安藤		講堂
第7回 5/26	中枢神経系③ 小脳、脳幹、脊髄	安藤		講堂
第8回 6/2	循環器系① 血管系：心臓、循環の分類	安藤		講堂
第9回 6/9	循環器系② 血管系：動脈系、静脈系、胎生期の循環系	安藤		講堂
第10回 6/16	循環器系③、他 リンパ系、理学・作業療法との関連、人体の発生	安藤		講堂
第11回 6/23	内臓学① 内臓器官の構造、消化器系	安藤		講堂
第12回 6/30 3限	内臓学② 消化器系	安藤		講堂
第13回 6/30 4限	内臓学③ 呼吸器系、内分泌系	安藤		講堂
第14回 7/7	内臓学④ 泌尿器系、生殖器系	安藤		講堂
第15回 7/14	感覚器系・循環器系・内臓学 第1回～第14回のまとめ	安藤		講堂
定期試験	前期末試験			

3限目 13:00～14:30

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	解剖学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	解剖学Ⅰ、解剖学実習Ⅰ、解剖学実習Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この授業は理学療法士が担当します。医療施設での理学療法の実務経験を基に、理学療法の基礎となる解剖学を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	運動構造を理解する					
行動目標(SBO)	1.骨、筋、関節、脊髄と脊髄神経の基本構造を覚える。 2.上肢、下肢の関節の名称、特徴、構成、靱帯を覚える。 3.脊髄神経の走行と支配筋の名称・起始停止・作用、固有支配領域を覚える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業は前期に受講した解剖学実習で骨、骨格筋の復習と、関節、脊髄神経について行う。運動器を理解するにあたり、骨、関節、筋、神経は関連付けて学習してください。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版(医学書院) プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版(医学書院) 【参考書】プロメテウス解剖学アトラス 解剖学総論／運動器系 第3版(医学書院)						
受講時留意点、その他						
学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。 学習内容の理解が深まるように、受講準備（予習）を怠らないようにしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を実施する。				
小テスト	*	授業開始時に前回の復習を行う。 web上で実施する。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極参加(挙手による質問や教員の問いかけに対する返答、自己学習に関する報告や相談、等)は最終的な成績判定でプラスに考慮します。 校則を遵守し、実習地へ赴く際の服装、身だしなみの範囲内で授業参加してください。 授業中、他の学生への悪影響(騒音、居眠りや授業態度などによる過度な注意、等)を教員が判断した場合、退出させ欠席とみなし成績にも反映させます。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	骨格総論・各論 頭蓋 【KW】冠状縫合・矢状縫合・ラムダ縫合	市村真樹	p46～57	
第2回	骨格各論 脊柱・胸郭 【KW】生理的彎曲・椎間関節・肋軟骨	市村真樹	p58～67	
第3回	骨格各論 上肢の骨・下肢の骨 【KW】鎖骨・肩甲骨・上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨・中手骨・指骨・寛骨・腸骨・仙骨・大腿骨・脛骨・腓骨・足根骨・踵骨・中足骨・趾骨	市村真樹	p68～92	
第4回	関節と靭帯・各論 頭蓋の連結・脊柱、脊柱と頭蓋および胸郭の連結 【KW】椎間円板・脊柱の靭帯・椎間関節の関節面の方向・環椎後頭関節・正中環軸関節	市村真樹	p113～122	
第5回	関節と靭帯・各論 上肢の連結 【KW】胸鎖関節・肩鎖関節・肩関節・回旋筋腱板・腕尺関節・手根間関節	市村真樹	p123～137	
第6回	関節と靭帯・各論 下肢の連結 【KW】恥骨結合・仙腸関節・大腿骨頭靭帯・大腿脛骨角・膝関節の靭帯	市村真樹	p137～154	
第7回	筋系総論・各論 体幹の筋（頭部・顔面の筋） 【KW】表情筋群・咀嚼筋群・頸部の筋	市村真樹	p161～183	
第8回	筋系総論・各論 体幹の筋（胸腹部・背部の筋） 【KW】胸部の筋・腹部の筋・背部の筋	市村真樹	p184～196	
第9回	筋系各論 上肢の筋（上肢帯の筋・上腕の筋） 【KW】上肢帯の筋・上腕の筋	市村真樹	p196～198	
第10回	筋系各論 上肢の筋（前腕の筋・手の筋） 【KW】前腕の筋・手内筋群	市村真樹	p199～210	
第11回	筋系各論 下肢の筋（下肢帯の筋・大腿の筋） 【KW】下肢帯の筋・大腿の筋	市村真樹	p211～217	
第12回	筋系各論 下肢の筋（下腿の筋・足の筋） 【KW】下腿の筋・足の筋	市村真樹	p217～227	
第13回	神経系総論・各論 中枢神経・脊髓 【KW】脊髓・白質・灰白質	市村真樹	p229～245	
第14回	神経系総論・各論 中枢神経 脳幹・小脳・大脳・神経路 【KW】中脳・橋・延髄・小脳	市村真樹	p245～277	
第15回	神経系総論・各論 末梢神経系 【KW】脊髓神経・腕神経叢・腰神経叢	市村真樹	p278～300	
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学実習Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 宮下正好	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅱ 運動学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	上肢、体幹の骨格系・筋の構造と機能を立体的に把握する 心臓・呼吸器の構造と機能を立体的に把握する					
行動目標（SBO）	1. 上肢骨の部位を模型で指し示し、部位名称を述べることができる。 2. 上肢筋・体幹筋の起始・停止・作用・支配神経を述べることができる。 3. 心臓・呼吸器系の基本的な構造を理解し、部位名称を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、上肢・体幹の主要な骨・筋、および心臓、呼吸器系について学びます。作業療法士が対象者の能力を高めたり、動作の指導をするために必要な基本的な知識です。よく理解し、各疾患の知識や専門分野の学習に繋げていきましょう。基礎医学実習室は、放課後等に自習のため使用することができます。各回の復習をしましょう。質問があれば担当教員に確認しましょう。模型にたくさん触れ学ぶことを推奨します。						
教科書・参考書						
教科書：野村 嶺 他：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、医学書院、2020 坂井 健雄 他：プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 医学書院 2019						
受講時留意点、その他						
受講時の服装は長白衣着用とします。アクセサリ類は全て外してください。頭髮、爪は短く清潔にしてください。女性は髪を束ねてください。その際、顔にかかりそうな横髪、目にかかる前髪はピン等でとめてください。骨模型は、ご遺体をモデルに作成されたものです。丁寧に扱います。不敬な態度をとってはいけません。 全員で授業を行う回とクラスを2つに分け授業を行う回があります。注意して受講してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験期間中に筆記試験を実施します。筆記試験は範囲ごと2回実施します。 ①（範囲：第1回～10回 評定割合65%） ②（範囲：11回～16回 評定割合35%）				
小テスト		総復習の小テストを2回実施します。形成的評価とし評定には含めません。 ① 上肢の骨・筋（範囲：第1回～10回 実施後解説を行います） ② 脊柱、胸部と背部の筋、心臓、肺（範囲：第11回～16回 実施後解説を行います）				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		前期末試験の結果は2回実施分を合算した点数を結果とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション、骨の分類・骨の名称 骨模型の扱い方を知る。骨の概要について理解する 【キーワード】分類・形態分類・骨名	間瀬	標準解剖学 p37-39	基礎医学 実習室 骨模型
第2回	上肢の骨：肩甲骨・鎖骨・上腕骨 肩甲骨・上腕骨の主な部位名称を覚える。 【キーワード】肩甲棘・肩峰・烏口突起・上腕骨頭・大結節 他	間瀬	標準解剖学 p68-72 プロメテウス p342-351	基礎医学 実習室 骨模型
第3回	上肢の骨：前腕の骨・手の骨 橈骨・尺骨の主な部位名称を覚える。手の骨の名称を覚える。 【キーワード】橈骨頭・肘頭・茎状突起・指骨・手根骨 他	間瀬	標準解剖学 p72-77 プロメテウス p398-431	基礎医学 実習室 骨模型
第4回	上肢帯・上肢骨の関節と骨格筋の走行・作用 上肢帯・上肢骨の関節名称を覚える。各関節の運動方向を理解する 【キーワード】肩関節・肘関節・手関節・起始・停止・作用他	間瀬	標準解剖学 p97-137	基礎医学 実習室 骨模型
第5回	上肢の筋：上肢帯の筋 肩関節周囲の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】三角筋、棘上筋、棘下筋、大円筋、小円筋、肩甲下筋	間瀬	標準解剖学 p167-173 プロメテウス p362-375, p388-393	基礎医学 実習室 骨模型
第6回	上肢の筋：上腕の筋 上腕の屈筋・伸筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】上腕二頭筋・上腕筋・烏口腕筋・上腕三頭筋	間瀬	解剖学 p196-200 プロメテウス p360-397	基礎医学 実習室
第7回	前腕の筋：前腕の屈筋 前腕腹側の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋 他	間瀬	解剖学 p200-2203 プロメテウス p404-419	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第8回	前腕の筋：前腕の伸筋 前腕背側の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】腕橈骨筋・長短橈側手根伸筋・総指伸筋 他	間瀬	解剖学 p203-207 プロメテウス p411-427	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第9回	手の筋 手の筋の起始・停止・作用・支配神経について学ぶ 【キーワード】母指内転筋、母指対立筋、短母指屈筋 他	間瀬	解剖学 p207-210 プロメテウス p434-453	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第10回	手の筋 手の筋の起始・停止・作用・支配神経について学ぶ 【キーワード】虫様筋・骨間筋 他	間瀬	解剖学 p207-210 プロメテウス p434-453	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第11回	脊柱①：脊柱の全量、椎骨の基本的形態 脊柱を観察し、全体的な特徴を学ぶ。標準的な椎骨を観察し、部位名称を覚える。【KW】弯曲・胸椎・第3～6 頸椎	宮下	標準解剖学p58,59 プロメテウスp2-5,8,16-19	基礎医学 実習室 骨格模型
第12回	脊柱②：各椎骨の形態的特徴 頸椎、胸椎、腰椎を観察し、違いや特徴を学ぶ。特徴的な部位の名称を覚える。【KW】環椎・軸椎・隆椎・胸椎・腰椎	宮下	標準解剖学 p59-63 プロメテウス p10-15,18-21	基礎医学 実習室 骨格模型
第13回	脊柱③：仙骨 / 胸部と背部の筋①：肩関節に作用する筋 仙骨を観察し、部位名称を覚える。胸部・背部の筋のうち、肩関節に作用する筋を覚える。【KW】仙骨・大胸筋・広背筋	宮下	標準解剖学 63,64,185,191 プロメテウスp22-24,386,393	基礎医学 実習室 骨格模型
第14回	胸部と背部の筋②：肩甲骨を動かす筋 肩甲骨の運動の種類と、肩甲骨を動かす筋を覚える。 【KW】前鋸筋・小胸筋・僧帽筋・菱形筋・肩甲挙筋	宮下	標準解剖学 p185,191 プロメテウス pp376,380-385,	基礎医学 実習室 骨格模型
第15回	胸部①：胸郭と肺 胸郭を構成する骨を覚える。気管・気管支・肺の部位名称を覚える。 【KW】胸骨・肋骨・胸椎・気管・気管支・肺	宮下	標準解剖学 p65-67,366-369 プロメテウス p176-189	基礎医学 実習室 骨格模型
第16回	胸部②：心臓と血管 心臓模型を観察し、部位名称と血管名を覚える。 【KW】大動脈・大静脈・冠状血管・心室・心房・弁	宮下	標準解剖学 p337-341 プロメテウス p142-161	基礎医学 実習室 心臓模型
定期試験	前期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 宮下正好	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学実習Ⅰ 運動学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	下肢の骨格系・筋の構造と機能を立体的に把握する 神経系の構造と機能を立体的に把握する					
行動目標（SBO）	1. 下肢骨の部位を模型で指し示し、部位名称を述べることができる。 2. 下肢筋の起始・停止・作用・支配神経を述べることができる。 3. 神経系の基本的な構造を理解し、部位名称を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、下肢の主要な骨・筋、および神経系について学びます。作業療法士が対象者の能力を高めたり、動作の指導をするために必要な基本的な知識です。よく理解し、各疾患の知識や専門分野の学習に繋げていきましょう。基礎医学実習室は、放課後等に自習のため使用することができます。各回の復習をしましょう。質問があれば担当教員に確認しましょう。模型にたくさん触れ学ぶことを推奨します。						
教科書・参考書						
教科書：野村 嶧 他：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版、医学書院、2020 坂井 健雄 他：プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 医学書院 2019						
受講時留意点、その他						
受講時の服装は長白衣着用とします。アクセサリ類は全て外してください。頭髮、爪は短く清潔にしてください。女性は髪を束ねてください。その際、顔にかかりそうな横髪、目にかかる前髪はピン等でとめてください。骨模型は、ご遺体をモデルに作成されたものです。丁寧に扱きましょう。不敬な態度をとってはいけません。また、全員で授業を行う回と2つに分け行う回があります。注意して受講して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験期間中に筆記試験を実施します。筆記試験は範囲ごと2回実施します。 ①（範囲：第1回～9回 評定割合65%） ②（範囲：10回～16回 評定割合35%）				
小テスト		小テストを2回実施します。形成的評価とし成績には含めません。 ① 下肢の骨・筋 （第1回、第2回、第4回～第9回の内容で確認テストと解説を行います） ② 脳・神経 （第10回～第16回の内容で確認テストと解説を行います）				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		後期末試験の結果は2回実施分を合算した点数を結果とします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	下肢の骨:下肢帯・自由下肢骨 寛骨・大腿骨の主な部位名称を覚える。 【KW】腸骨稜・上前腸骨棘・大腿骨頭・大転子・小転子 他	宮下	解剖学 p78-83 プロメテウス p506-515	基礎医学 実習室
第2回	下肢の骨：自由下肢骨 脛骨・腓骨の主な部位名称を覚える。足の骨の名称を覚える。 【KW】脛骨粗面・内果・腓骨頭・外果・踵骨・中足骨 他	宮下	解剖学 p85-92 プロメテウス p558-597	基礎医学 実習室
第3回	下肢の関節と運動 下肢の関節の名称と関節運動を覚える。 【KW】股関節・膝関節・足関節・屈曲・伸展・外転・内転・外旋・内旋 他	宮下	解剖学 p137-154	基礎医学 実習室
第4回	下肢の筋：下肢帯の筋① 股関節のまわりの筋を覚える。 【KW】腸腰筋・大殿筋・中殿筋・小殿筋 他（予）寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	解剖学 p211-214 プロメテウス p520-545	基礎医学 実習室
第5回	下肢の筋：下肢帯の筋② 股関節を外旋する筋を覚える。 【KW】梨状筋・上,双子筋・内,外閉鎖筋 他（予）寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	解剖学 p211-214 プロメテウス p540-545	基礎医学 実習室
第6回	下肢の筋：大腿の内転筋群 股関節を内転する筋を覚える。 【KW】恥骨筋・長,短内転筋・薄筋・大内転筋（予）寛骨・大腿骨の部位名称	宮下	解剖学 p215-219 プロメテウス p546-549	基礎医学 実習室
第7回	下肢の筋：大腿の伸筋群・屈筋群 大腿前面,後面の筋を覚える。【KW】 大腿四頭筋・ハムストリングス 他（予）大腿骨・脛骨・腓骨の部位名称	宮下	解剖学 p215-219 プロメテウス p550-557	基礎医学 実習室
第8回	下肢の筋：下腿の伸筋群・腓骨筋群 下腿前面,外側の筋を覚える。 【KW】前脛骨筋・長趾伸筋・腓骨筋 他（予）足根骨の骨名	宮下	解剖学 p219-223 プロメテウス p570-587	基礎医学 実習室
第9回	下肢の筋：下腿の屈筋群 下腿後面の筋を覚える。 【KW】下腿三頭筋・後脛骨筋・長母趾屈筋・長趾屈筋（予）足根骨の骨名。	宮下	解剖学 p219-223 プロメテウス p570-587	基礎医学 実習室
第10回	大脳 脳および大脳の区分と大脳を分けている溝、部位名称について学ぶ。 【KW】葉、回、溝、白質、灰白質、大脳辺縁系	間瀬	解剖学 p256-265 プロメテウス p870-891	基礎医学 実習室
第11回	視床と大脳基底核 視床や大脳基底核の位置および名称について学ぶ。 【KW】外側膝状体、内側膝状体、線条体、レンズ核	間瀬	解剖学 p256-267 プロメテウス p892-901	基礎医学 実習室
第12回	中脳と橋、脳神経① 中脳と橋、脳神経の位置および部位名称について学ぶ。 【KW】脳幹、四丘、内側毛帯、網様体、黒質、赤核、大脳脚、脳神経	間瀬	解剖学 p249-251 プロメテウス p892-901	基礎医学 実習室
第13回	延髄と小脳、脳神経② 延髄と小脳、脳神経の位置および部位名称について学ぶ。 【KW】薄束核、楔状束核、オリブ、錐体、小脳半球、虫部、脳神経	間瀬	解剖学 p245-249 プロメテウス p892-903	基礎医学 実習室
第14回	脊髄と脊髄神経 脊髄の構造や神経叢について学ぶ。 【KW】白質、灰白質、腕神経叢	間瀬	解剖学 p241-245 プロメテウス p904-911	基礎医学 実習室
第15回	脳の伝導路 上行性・下行性の伝導路の経路について学ぶ。 【KW】錐体路、錐体外路、感覚の伝導路	間瀬	解剖学 p268-277 プロメテウス p912-923	基礎医学 実習室
第16回	脳の動脈と頭蓋骨 脳の動脈について学ぶ。頭蓋骨の構造および孔の名称を学ぶ。 【KW】ウイリスの動脈輪、脳頭蓋、顔面頭蓋、内頭蓋底	間瀬	解剖学 p343 p46-57 プロメテウス p674-685	基礎医学 実習室
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	中村 浩(非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、病理学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	担当教員は歯科医師です。医療機関での診療業務の経験を踏まえ授業を行います。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人体の健常状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。					
行動目標(SBO)	植物機能系の理解・運動機能系の理解					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
生理学（ physiology ）は、生命現象を機能の側面から研究する学問です。 生理学Ⅰでは、人体の機能面における動物性機能として、神経、筋、感覚器について学びます。動物性機能は、日常生活や社会生活を営む上で基本的な身体機能のことを示します。これらは、感覚として得られた情報が脳に伝わり、それに応じて脳から電気信号が発せられ、筋肉や諸器官がそれぞれの役割となる仕事を行うことで、さまざまな状況に合わせた活動を可能にしています。 生理学は「生きている」ということの「原理」をの「科学」ともいえ、生体の機能をミクロレベルからマクロレベルまで幅広く捉えています。身体におけるたくさんの「なぜ」を知ることで、医科学の面白さを感じ、興味関心を深めてください。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) 【そのほか】配布資料有り。						
受講時留意点、その他						
前期、毎週金曜日の1, 2限に開講する。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月2日	生命現象と人体 細胞とは。エネルギー代謝。細胞の増殖と分化。	中村	P3～	講堂
第2回 5月2日	細胞の構造と機能 細胞相互間の関係。細胞と間質。内部環境。	中村	P13～	講堂
第3回 5月9日	神経系(1)神経細胞のはたらき ニューロン。静止電位と活動電位。伝導。	中村	P21～	講堂
第4回 5月9日	神経系(2)神経細胞のはたらき シナプス伝達。興奮性シナプス。抑制性シナプス。	中村	P21～	講堂
第5回 5月16日	神経系(3)中枢神経 脊髄。脊髄反射。脳幹。小脳。	中村	P33～	講堂
第6回 5月16日	神経系(4)中枢神経 間脳。大脳。脳の高次機能。	中村	P33～	講堂
第7回 5月23日	神経系(5)末梢神経 脊髄神経。脳神経。自律神経。	中村	P23～	講堂
第8回 5月23日	神経系(6)末梢神経 交感神経。副交感神経。	中村	P23～	講堂
補習1 5月30日	前半の復習	中村		講堂
補習2 5月30日	前半の復習	中村		講堂
第9回 6月6日	筋骨格系(1)骨格 骨の機能と組成。骨の発生と成長。骨の生理的な機能。	中村	P53～	講堂
第10回 6月6日	筋骨格系(2)筋 筋の種類と構造。骨格筋細胞の興奮と収縮。筋収縮のメカニズム。	中村	P53～	講堂
第11回 6月13日	筋骨格系(3)筋 平滑筋の収縮。心筋の収縮。	中村	P53～	講堂
第12回 6月13日	筋骨格系(4)運動の調節 錐体路と錐体外路。大脳基底核による調節。小脳による調節。	中村	P36～	講堂
第13回 6月20日	感覚(1)総論、体性感覚 感覚の種類、性質。体性感覚の受容器。上行性伝導路。	中村	P71～	講堂
第14回 6月20日	感覚(2)特殊感覚 視覚。視覚伝導路。平衡聴覚器。聴覚伝導路。	中村	P71～	講堂
第15回 6月27日	感覚(3)特殊感覚 味覚器。嗅覚器。	中村	P71～	講堂
補習3 6月27日	後半の復習	中村		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	中村 浩(非常勤)	解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、病理学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	担当教員は歯科医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人体の健常状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。					
行動目標(SBO)	植物機能系のはたらきを理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
生理学Ⅱでは、人体の機能面における植物性機能として、内臓機能や免疫についてびます。 植物性機能は、生物の生命維持に必須な機能であって、血液、循環、呼吸、消化、排泄、代謝内分泌などが含まれ、これらは、自律神経およびホルモンによる調節を受けるので、これらの調節系も植物性機能として取り扱われます。 生理学は生体の機能とそのメカニズムを解明する学問です。環境変化に対して反応し、細胞レベルの相互作用で身体を最適な状態を維持しようする(ホメオスタシス)機能を学ぶことは、医科学の基礎となる重要な分野です。 また、理学・作業療法士がリハビリテーションを実施するうえで、治療の根拠となります。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学(医学書院) 【そのほか】配布資料有り。						
受講時留意点、その他						
後期、毎週金曜日の1, 2限に開講する。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 9月12日	血液・体液(1) 血液と体液。血液の組成。赤血球。	中村	P86～	講堂
第2回 9月12日	血液・体液(2) 白血球。血小板と血液凝固。血漿。	中村	P86～	講堂
第3回 9月19日	循環器系(1)心臓の興奮と刺激伝導系 血液循環。心筋。刺激伝導系。心電図。	中村	P102～	講堂
第4回 9月19日	循環器系(2)血液の拍出 心筋の収縮力調節。心周期。心拍出量。圧と容積。	中村	P102～	講堂
第5回 9月26日	循環器系(3)循環の調節 血圧。血圧の調節機構。微小循環。	中村	P102～	講堂
第6回 9月26日	呼吸器系(1)呼吸機能 外呼吸と内呼吸。呼吸器と呼吸運動。呼吸気量。	中村	P131～	講堂
第7回 10月3日	呼吸器系(2)呼吸の調節 ガス交換とガスの運搬。肺の循環と血流。呼吸運動の調節。	中村	P131～	講堂
第8回 10月3日	泌尿器系(1)腎臓 血液のろ過。尿細管の再吸収と分泌。尿の濃縮。	中村	P144～	講堂
第9回 10月10日	泌尿器系(2)排尿、体液の調節 蓄尿。排尿。尿の成分。酸塩基平衡。	中村	P144～	講堂
第10回 10月10日	消化器系(1)消化・吸収の概要 消化器の役割。栄養素・口腔内消化と嚥下。	中村	P159～	講堂
第11回 10月17日	消化器系(2)胃と小腸 胃の役割と消化。小腸の消化と吸収。膵臓、胆嚢のはたらき。	中村	P159～	講堂
第12回 10月17日	消化器系(3)大腸、肝臓 大腸の吸収能。排便。肝臓のはたらき。	中村	P159～	講堂
第13回 10月24日	内分泌系(1)内分泌機能とホルモン ホルモンの化学構造。ホルモンの作用機序。ホルモンの分泌調節。	中村	P172～	講堂
第14回 10月24日	内分泌系(2)各腺から分泌されるホルモン 視床下部-下垂体系。甲状腺・副甲状腺。膵臓。副腎。性腺。	中村	P172～	講堂
第15回 10月31日	代謝と体温 栄養素。エネルギー代謝。基礎代謝。体温とその調節。	中村	P188～	講堂
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	内田成男・市村紋子	解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この授業は理学療法士・作業療法士が行います。臨床場面での応用に配慮しながら講義していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法の基礎知識として身体運動のメカニズムについて理解する。 人間の運動・動作・行為について運動学的思考ができるようにする。					
行動目標(SBO)	1)運動学の定義を理解するとともに、運動学を学ぶ意義について考えることができる。 2)生体力学および運動器の基礎について学び、説明ができる。 3)四肢の運動特性を理解し、運動学的に説明できる。 4)脊柱、顎関節、胸郭の運動特性を理解し、説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
運動学は身体運動に関わる身体構造とそのメカニズム(仕組み)を理解し、力学的に解釈していく学問で、理学療法・作業療法の重要な基礎科目の一つです。解剖学や生理学と連動させて理解を深め、実際の身体運動で確認しながら学ぶ姿勢が大切です。 運動学Ⅰでは運動学の基本事項および四肢・脊柱・胸郭・顔面の運動について学んでいきます。初めて学ぶ科目で専門用語も多く難しく感じられますが、できる限り実体験を通じ、具体的に理解できるように授業を進めていきます。可能な限り予習・復習を心がけ、分からないこと、疑問に感じたことは積極的に質問してください。(数回の補習授業を予定しています。)						
教科書・参考書						
教科書 小柳・他(編):PT・OTのための運動学テキスト 基礎・実習・臨床, 金原出版, 2015 参考書:①中村隆一・他:基礎運動学(第6版・補訂), 医歯薬出版, 2012. ②D. A. Neumann著, 嶋田・他訳:筋骨格系のキネシオロジー, 医歯薬出版. ③塩田 悦仁・訳:カバンディ関節の生理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 医歯薬出版 ＜その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する。＞						
受講時留意点、その他						
・体調管理に努め、積極的に学ぶ姿勢で受講してください。 ・疑問点、理解不十分な事項は、その場で遠慮せずに質問してください。(後回しにしないように) ・受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髮、服装、爪など)を心がけましょう。 ・学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、紙面やデスクネッツなどでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	95	後期末定期試験:60点以上を合格とする。				
小テスト	5	3回の小テストを予定。出題形式:選択・記述・他 成績評価に加えるが、定期試験の成績を優先する。				
レポート	0					
実技試験	—					
プレゼンテーション	—					
その他	注意	理由が正当でない欠席・遅刻、不適切な態度・行動、授業の妨害にあたる行為などは減点の対象とする。 補習授業:4回程度を予定、全員出席すること。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>コースオリエンテーションおよび生体力学の基礎①</u> 運動学の意味および基本用語を理解し、力学の基礎を学ぶ。 【KW】運動の面と軸、ベクトル、並進運動、回転運動、モーメントなど	内田	pp2-39	配布資料 201
第2回	<u>生体力学の基礎②・運動器の基礎①（骨・関節）</u> 運動の法則、身体運動のてこ、骨・関節の基本的事項を学ぶ。 【KW】運動の法則、テコの原理、重力、仕事、骨・関節の基本	内田	pp2-39	配布資料 201
第3回	<u>運動器の基礎①（骨・関節）②（筋・神経）</u> 関節の形状分類、運動自由度など、筋収縮メカニズムについて理解する。 【KW】関節の基本構造、関節の分類、運動と方向の表現、筋収縮機序	内田	pp2-39	配布資料 201
第4回	<u>運動器の基礎②（筋・神経）</u> 筋収縮の調整、運動単位、神経生理学の基本を学ぶ。 【KW】筋線維の分類、運動単位、筋収縮様態、シナプス、伸張反射	内田	pp2-39	配布資料 201
第5回	<u>確認Ⅰ 生体力学と運動器の基礎のまとめ</u> 第1回から4回目までの講義の要点の復習と理解度の確認	内田	pp2-39	配布資料 201
第6回	<u>上肢帯と肩関節の運動学</u> 上肢帯（肩甲帯）と肩関節の構造および運動の特性について説明できる。 【KW】肩複合体、肩甲骨と肩甲上腕関節の動き、肩甲上腕リズム、他	内田	pp100~120	配布資料 201
第7回	<u>肘関節・前腕の運動学</u> 肘関節と前腕の構造を把握し、その運動特性について説明できる。 【KW】腕尺・腕橈・上橈尺・下橈尺関節、肘角、筋の作用、他	市村紋子 内田	pp121~145	配布資料 201
第8回	<u>手関節・手の運動学①</u> 手関節・手指の構造を把握し、その運動特性について説明できる。 【KW】手関節、手根管、手指の関節、手内在筋、手のアーチ、手の変形	市村紋子 内田	pp146~181	配布資料 201
第9回	<u>手関節・手の運動学② 確認Ⅱ 上肢の運動学のまとめ</u> 第8回の続き：手関節・手指の運動特性 第6回～9回までの講義の要点と理解度の確認	市村紋子 内田	pp100~181	配布資料 201
第10回	<u>股関節の運動学</u> 骨盤帯・股関節の構造を把握し、その運動特性について説明できる。 【KW】股関節のアライメント、靱帯とその働き、股関節の動き、二関節筋、他	内田	pp182~213	配布資料 201
第11回	<u>膝関節の運動学</u> 膝関節の構造を把握し、その運動特性について説明できる。 【KW】膝関節、膝関節のアライメント、靱帯とその働き、rollingとsliding、他	内田	pp213~244	配布資料 201
第12回	<u>足関節と足部の運動</u> 足関節・足部の構造を把握し、その運動特性について説明できる。 【KW】距腿関節、距骨下関節、内がえし、外がえし、足のアーチ、他	内田	pp245~269	配布資料 201
第13回	<u>確認Ⅲ 下肢の運動学のまとめ</u> 下肢運動学の重要事項の再確認。 講義10～12回の要点整理	内田	pp182~269	配布資料 201
第14回	<u>顔面と胸郭の運動学</u> 顎関節・顔面筋の機能解剖、胸郭（呼吸）運動の特性について説明できる。 【KW】顎関節、咀嚼、咬筋、表情筋、肋椎関節、呼吸筋、他	内田	pp270～ pp548～	配布資料 201
第15回	<u>脊柱の運動学・運動学Ⅰの授業内容のまとめ</u> 脊柱の構造と機能、頸部、胸腰部の運動特性について説明できる。 【KW】脊柱、椎間関節、屈曲-伸展、側屈、回旋、体幹の筋	内田	pp283~321	配布資料 201
定期試験		内田		

*補習授業予定 ①： 月 日、 ②： 月 日、 ③： 月 日、 ④： 月 日

(R2-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、解剖学実習Ⅱ、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、身体障害作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1 年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法において対象者を評価するための基礎事項を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	四肢および体幹の関節および筋の構造と運動が実践的に理解できる					
行動目標（SBO）	1. 各関節の運動方向が実際の体の動きでわかる 2. 主要なランドマークの触診ができる 3. 主要な筋の触診ができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、おもに運動学Ⅰで学ぶ各関節の構造、運動方向、骨の各部位、四肢の筋とその付着について、実際の人の体を動かしたり触れたりすることで学びます。2年生以降で学ぶ身体障害領域の作業療法評価を行うための基礎となる技能となりますので、しっかり習得しましょう。また、解剖学・運動学の基礎知識を身に着けたうえで実技を行うことが大変重要です。解剖学・解剖学実習・運動学で学ぶ骨・関節・筋の学習を復習しながら取り組んでください。						
教科書・参考書						
PT・OTのための運動学テキスト（金原出版）、標準理学療法学作業療法学 解剖学（医学書院）						
受講時留意点、その他						
実技が多くなりますので、欠席しないように努めてください。欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行いましょう。実技は確実に習得できるよう、空き時間を利用して積極的に練習してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60	授業内に実施した内容を記載して提出する課題を出す。丁寧に記載できていること、授業にまじめに取り組んでいたことが確認できる内容であることを求める。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	40	2回の実技確認を行い、実施状況を行動観察として評価に含める。 内容：上肢・下肢の筋と骨の触診				
（合計）	100					

(R2-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション・関節運動の確認</u> 【KW】関節運動の軸・運動方向・関節の種類・関節運動の観察 * 四肢の動きを運動学的に表現する。	市村	運動学10-13,解剖学100-102	作業療法実習室2・3
第2回	<u>触診1 肩甲帯と上腕の骨を触診する</u> 【KW】肩甲骨、上腕骨 * 学生同士で骨および骨のランドマークを触診できるようになる。	市村	解剖学pp68-72	作業療法実習室2・3
第3回	<u>触診2 前腕と手指の骨を触診する</u> 【KW】橈骨、尺骨、手根骨、手指の骨 * 学生同士で骨および骨のランドマークを触診できるようになる。	市村	運121-123,147-148, 解72-77	作業療法実習室2・3
第4回	<u>触診3 肩周囲および肘伸展の筋を触診する</u> 【KW】三角筋、回旋筋腱板、上腕三頭筋 * 学生同士で筋を触診できるようになる。	市村	解196-199	作業療法実習室2・3
第5回	<u>触診4 肘屈曲の筋群と前腕の筋を触診する</u> 【KW】肘の屈筋群、手関節屈筋群、手関節伸筋群 * 学生同士で筋を触診できるようになる。	市村	運124-128, 155-156, 166-167, 解199-206	作業療法実習室2・3
第6回	<u>触診5 手指の筋・肩の運動</u> 【KW】手指の外在筋、手内筋、母指球筋、肩甲上腕リズム * 学生同士で筋を触診できるようになる。上肢の運動学的要点を説明できる。	市村	運106-107, 124-126, 156-158, 167-169, 解207-210	作業療法実習室2・3
第7回	<u>臨床における触診の留意事項と接遇</u> 臨床場面での触診における配慮を学ぶ 【KW】挨拶、言葉遣い、立ち位置、表情、対象者への説明 * 臨床現場で対象者に触れる際の振る舞いを身につける。	市村	配布資料	作業療法実習室2・3
第8回	<u>触診のまとめ① 上肢の骨・筋</u> 実技確認 【KW】身だしなみ、接遇、触診 * 上肢の各部位を、臨床における留意事項に配慮しながら触診する。	市村	配布資料	作業療法実習室2・3
第9回	<u>触診6 大腿と下腿の骨を触診する</u> 【KW】大腿骨、脛骨、腓骨 * 学生同士で骨および骨のランドマークを触診できるようになる。	市村	運動学182-184,解剖学82-84	作業療法実習室2・3
第10回	<u>触診7 足部と体幹の骨を触診する</u> 【KW】足根骨、足趾の骨、腸骨、坐骨、仙骨、頭部の骨、脊柱 * 学生同士で骨および骨のランドマークを触診できるようになる。	市村	運245-247,解78-82, 88-92	作業療法実習室2・3
第11回	<u>触診8 大腿の筋を触診する</u> 【KW】大殿筋、中殿筋、ハムストリングス * 学生同士で筋を触診できるようになる。	市村	運動学186-187, 解剖学215-216	作業療法実習室2・3
第12回	<u>触診9 大腿の筋を触診する</u> 【KW】大腿四頭筋、股関節内転筋群、股関節外転筋群 * 学生同士で筋を触診できるようになる。	市村	運動学186-187,解剖学217	作業療法実習室2・3
第13回	<u>触診10 下腿の筋を触診する</u> 【KW】下腿三頭筋、前脛骨筋、足関節に作用する筋 * 学生同士で筋を触診できるようになる。	市村	運動学219-221, 解剖学253-256	作業療法実習室2・3
第14回	<u>触診のまとめ② 下肢の骨・筋</u> 実技確認 【KW】身だしなみ、接遇、触診 * 下肢の各部位を、臨床における留意事項に配慮しながら触診する。	市村	配布資料	作業療法実習室2・3
第15回	<u>下肢の運動・本科目のまとめ</u> 【KW】スクリーホームムーブメント、二関節筋の作用 * 下肢の運動学的要点を説明できる。	市村	運動学p200-201, 215, 227-228	作業療法実習室2・3
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人間発達学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村直人	心理学、臨床心理学、リハビリテーションと障害、など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	人間の生涯にわたる変化を心の発達を中心に学ぶ。					
行動目標(SBO)	1. 生涯発達の考え方と発達理論について理解する。 2. 出生から死までのライフサイクルの中で、それぞれの段階における課題と問題点について理解する。 3. 様々な領域の心身機能の発達と障害について縦断的に理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
私たちの身体と心は、誕生から死まで、絶えず変化しています。その間に、私たちは驚くほど沢山のことを経験し成長します。したがって、ある意味で人間は生涯を通して発達し続けていると言え、この考え方は現在の主流となっています。このような、人生を通して経験する身体と心の変化(生涯発達)の特徴について学びます。 前期の心理学と同様に、様々な分野に分散して国家試験に出題されます。しっかり取り組んで下さい。						
教科書・参考書						
大城・儀間(編):リハビリテーションのための人間発達学(メディカルプレス)、プリント配布。						
受講時留意点、その他						
授業の進み方によっては、内容が変更される場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験の成績で評価する。6割以上を合格とする。				
小テスト	0	理解度を確かめるための確認として行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	人間発達総論 (KW: 発達要因、臨界期、発達段階、発達理論)	中村	p1-14	
第2回	胎生期(胎児期)・新生児期の発達 (KW: TORCH症候群、在胎週数評価、新生児行動評価)	中村	p15-30	
第3回	乳児期の発達 (KW: アタッチメント、ストレンジ・シチュエーション、移行)	中村	p31-50	
第4回	胎生期、新生児期、乳児期の発達まとめ	中村		
第5回	幼児前期・後期の発達 (KW: 自己中心性、頭足人、遊び)	中村	p51-68	
第6回	学童期の発達 (KW: 感情調節、友人関係、道徳性、学校教育)	中村	p69-83	
第7回	青年期の発達 (KW: 自我同一性、モラトリウム、青年期平穩説)	中村	p85-102 配布資料	
第8回	1-7回のまとめと解説	中村		
第9回	成人期の発達 (KW: 中年の危機、中年期のライフイベント)	中村	p103-116 配布資料	
第10回	老年期の発達 I (KW: 結晶性知能、流動性知能、終末低下説、知恵と熟練)	中村	p117-133 配布資料	
第11回	老年期の発達 II (KW: 老人の幸福感、死の受容)	中村	p117-133 配布資料	
第12回	感覚・知覚、記憶の発達	中村	配布資料	
第13回	情緒・思考の発達	中村	配布資料	
第14回	言語機能の発達	中村	p215-221	
第15回	9-14回のまとめと解説	中村		
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	病理学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	中村 浩(非常勤)	生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、内科学Ⅰ、内科学Ⅱ 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	担当教員は歯科医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	病理形態学の基本となる問題点を理解する。					
行動目標(SBO)	腫瘍、免疫、炎症 等について基本的な知識を身につける。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
病理学(pathology)とは、病気の原因、発生機序の解明や病気の診断を確定するのを目的とする医学の一分野です。細胞、組織、臓器の標本を、肉眼や顕微鏡などを用いて検査し、それらが病気に侵されたときにどういった変化を示すかについて研究する学問で、疾病を「かたち」として理解する学問です。 生理学は「正常状態」を知るもので、病理学は、疾病によって生じた「異常状態」がどのようなものかを知ることと言えます。医学において、この両者が基礎となっており、治療の根拠となる重要な分野となります。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 病理学 医学書院 【その他】配布資料有り。解剖生理学の教科書は必携。						
受講時留意点、その他						
後期、毎週金曜日の1, 2限に開講する。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 10月31日	病理学概論 生理学から病理学へ 病理学総論。病因論。	中村	P5～	講堂
第2回 11月7日	退行性病変、進行性病変 変性、萎縮、アポトーシス。肥大、化生、異形成。	中村	P17～	講堂
第3回 11月7日	免疫(1) 自然免疫、獲得免疫。抗原抗体反応。	中村	P53～	講堂
第4回 11月14日	免疫(2) 過剰免疫反応としてのアレルギー各型。	中村	P53～	講堂
第5回 11月14日	炎症、感染症 外からの炎症:感染。内なる炎症:アレルギー。免疫担当細胞。	中村	P66～	講堂
第6回 11月21日	腫瘍 腫瘍。悪性新生物。発がんメカニズム。	中村	P76～	講堂
第7回 11月21日	老化 老化。加齢による臓器変化と疾患。	中村	P95～	講堂
第8回 11月28日	循環障害(1) 体液循環。充血、うっ血、浮腫、出欠、虚血、血栓、梗塞。	中村	P40～ P119～	講堂
第9回 11月28日	循環障害(2) 全身の循環障害。高血圧。腎臓との関り。	中村	P40～ P119～	講堂
第10回 12月5日	代謝疾患(1) 高血圧。糖尿病。	中村	P29～	講堂
第11回 12月5日	代謝疾患(2) 高脂血症。代謝機能異常。肝機能障害。	中村	P29～ P175～	講堂
第12回 12月19日	腎機能障害 酸塩基平衡。腎機能障害。カルシウム代謝障害。	中村	P230～	講堂
第13回 12月19日	先天異常 先天異常。遺伝性疾患。染色体異常。	中村	P103～	講堂
第14回 12月26日	運動器疾患(骨関節系) 骨折。変形性関節症。関節リウマチ。骨粗鬆症。	中村	P210～	講堂
第15回 12月26日	運動器疾患(筋、代謝系) 骨格筋萎縮、筋ジストロフィー。神経筋疾患。	中村	P210～	講堂
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

10月20日	病理学概論 生理学から病理学へ 病理学総論。病因論。
10月27日	退行性病変、進行性病変 変性、萎縮、アポトーシス。肥大、化生、異形成。
10月27日	免疫(1) 自然免疫、獲得免疫。抗原抗体反応。
11月10日	免疫(2) 過剰免疫反応としてのアレルギー各型。
11月10日	炎症、感染症 外からの炎症:感染。内なる炎症:アレルギー。免疫担当細胞。
11月17日	腫瘍 腫瘍。悪性新生物。発がんメカニズム。
11月17日	老化 老化。加齢による臓器変化と疾患。
11月24日	循環障害(1) 体液循環。充血、うっ血、浮腫、出欠、虚血、血栓、梗塞。
11月24日	循環障害(2) 全身の循環障害。高血圧。腎臓との関り。
12月1日	代謝疾患(1) 高血圧。糖尿病。
12月1日	代謝疾患(2) 高脂血症。代謝機能異常。肝機能障害。
12月8日	腎機能障害 酸塩基平衡。腎機能障害。カルシウム代謝障害。
12月8日	先天異常 先天異常。遺伝性疾患。染色体異常。
12月22日	運動器疾患(骨関節系) 骨折。変形性関節症。関節リウマチ。骨粗鬆症。
12月22日	運動器疾患(筋、代謝系) 骨格筋萎縮、筋ジストロフィー。神経筋疾患。

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	臨床心理学	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	杉本 好行（非常勤）	心理学 ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業の教員は臨床心理士です。福祉・教育等の現場での実務経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	臨床心理学の概要を理解し、臨床心理学的視点を身につける。					
行動目標（SBO）	クライアント理解の基本的視点、援助のための理論や具体的方法を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
クライアント理解の基本的視点を獲得し、援助のための理論や具体的方法を身につけていただきたい。授業内ではワークなどを積極的に取り入れていく予定であるので、受講生の皆さんの積極的な参加を希望する。						
教科書・参考書						
【教科書】はじめて学ぶ人の臨床心理学（中央法規出版）						
受講時留意点、その他						
後期、木曜2時限に開講します。教科書、配布資料を基にした講義とワークを行います。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	60	2回の小テストを実施します				
レポート	20	レポート課題を採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	出席状況、授業態度なども評価の参考にします。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 9/11	臨床心理学とは	杉本		講堂
第2回 9/18	臨床心理学と現代社会（１）（心の健康とストレス）	杉本		講堂
第3回 9/25	臨床心理学と現代社会（２）（心のケアについて）	杉本		講堂
第4回 10/2	臨床心理学の歴史	杉本		講堂
第5回 10/9	心理アセスメント（１）（観察法、面接法、心理検査法）	杉本		講堂
第6回 10/16	心理アセスメント（２）（発達検査、知能検査）	杉本		講堂
第7回 10/23	心理アセスメント（３）（質問紙法、精神作業検査法）	杉本		講堂
第8回 10/30	心理アセスメント（４）（投影法）	杉本		講堂
第9回 11/6	おもな理論と心理療法（１）（精神分析）	杉本		講堂
第10回 11/13	おもな理論と心理療法（２）（認知行動療法）	杉本		講堂
第11回 11/20	おもな理論と心理療法（３）（来談者中心療法）	杉本		講堂
第12回 11/27	おもな理論と心理療法（４）（日本的心理療法その他）	杉本		講堂
第13回 12/4	臨床心理学と発達	杉本		講堂
第14回 12/18	臨床心理学と精神医療	杉本		講堂
第15回 12/25	臨床心理学の課題	杉本		講堂

(R02-カリキュラム)

9/7	臨床心理学とは
9/14	臨床心理学と現代社会(1)(心の健康とストレス)
9/21	臨床心理学と現代社会(2)(心のケアについて)
9/28	臨床心理学の歴史
10/5	心理アセスメント(1)(観察法、面接法、心理検査法)
10/12	心理アセスメント(2)(発達検査、知能検査)
10/19	心理アセスメント(3)(質問紙法、精神作業検査法)
10/26	心理アセスメント(4)(投影法)
11/2	おもな理論と心理療法(1)(精神分析)
11/9	おもな理論と心理療法(2)(認知行動療法)
11/16	おもな理論と心理療法(3)(来談者中心療法)
11/30	おもな理論と心理療法(4)(日本的心理療法その他)
12/7	臨床心理学と発達
12/21	臨床心理学と精神医療
12/21	臨床心理学の課題

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	金井 玉奈(非常勤)	精神医学Ⅱ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	リハビリテーション専門職として必要な精神医学の知識の習得する。					
行動目標(SBO)	気分障害、神経症性障害 等の精神疾患において、 ・ 概念、病型の分類、症状や経過の特徴などを学ぶ。 ・ 治療、援助のあり方を学ぶ。 ・ リハビリテーションの目標、到達点、注意点などを学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
近年、精神科領域においては、リハビリテーションの早期からの積極的介入が患者様のQOLを改善することが明らかになっています。 心理的側面を含めた精神医学の基本的知識を身に着け実践に役立てていただけることを期待しています。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版増補版(医学書院)						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 9/10	精神医学とは 精神障害の成因と分類。	金井	1章・2章	講堂
第2回 9/10	精神機能の障害と精神症状 精神障害の診断と評価	金井	3章・4章	講堂
第3回 9/17	気分(感情)障害①	金井	10章	講堂
第4回 9/17	気分(感情)障害②	金井	10章	講堂
第5回 9/24	神経症性障害①	金井	11章	講堂
第6回 9/24	神経症性障害②	金井	11章	講堂
第7回 10/1	生理的障害および身体的要因に関連した障害	金井	12章	講堂
第8回 10/1	成人のパーソナリティ・行動・性の障害	金井	13章	講堂
第9回 10/8	精神遅滞[知的障害] 心理的発達の障害	金井	14章・15章	講堂
第10回 10/8	コンサルテーション・リエゾン精神医学 心身医学	金井	16章・17章	講堂
第11回 10/15	ライフサイクルにおける精神医学	金井	18章	講堂
第12回 10/15	精神障害の治療とリハビリテーション①	金井	19章	講堂
第13回 10/22	精神障害の治療とリハビリテーション②	金井	19章	講堂
第14回 10/22	精神科保健医療と福祉、職業リハビリテーション	金井	20章	講堂
第15回 10/29	社会・文化とメンタルヘルス	金井	21章	講堂
定期試験	後期末試験			

9/6	精神医学とは精神障害の成因と分類。
9/6	精神機能の障害と精神症状精神障害の診断と評価
9/13	気分(感情)障害①
9/13	気分(感情)障害②
9/20	神経症性障害①
9/20	神経症性障害②
9/27	生理的障害および身体的要因に関連した障害
9/27	成人のパーソナリティ・行動・性の障害
10/4	精神遅滞[知的障害]心理的発達障害
10/4	コンサルテーション・リエゾン精神医学心身医学
10/11	ライフサイクルにおける精神医学
10/11	精神障害の治療とリハビリテーション①
10/18	精神障害の治療とリハビリテーション②
10/18	精神科保健医療と福祉、職業リハビリテーション
10/25	社会・文化とメンタルヘルス

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーション概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	内田成男	すべての専門基礎および専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	担当教員:理学療法士 リハビリテーション専門病院を中心に医療機関における臨床業務に従事。 リハビリテーションの概念からチーム医療、社会保障制度について専門的立場から授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	現代の医療・福祉・その他の関連領域におけるリハビリテーションについて理解する					
行動目標(SBO)	1. 医療関連職種の基本を身につける 2. リハビリテーションの語源・歴史・定義などを理解する。 3. 国際障害分類と国際生活機能分類について理解する。 4. 障害受容の意味を理解し、対象者に寄り添う専門家について考える。 5. リハビリテーションの領域と医療の過程について理解する。 6. リハビリテーション医療に必要な基礎知識(人体の構造と機能、社会保障制度)の概要を知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業はリハビリテーションの概念、考え方などを中心に、行動目標に示されている内容を学んでいきます。リハビリテーション専門家を志す皆さんにとって、とても大切な科目ですから、能動的に集中して授業に臨んでください。 また、理学療法士、作業療法士には、コミュニケーション能力を磨き、より良い人間関係を構築することが求められます。講義に加えてグループワーク、演習、討論などを両学科の交流を交えて行います。積極的な態度で授業に臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書:①川手信行(編):はじめての講義 リハビリテーション概論のいろは、 南江堂、2022 参考図書②国際生活機能分類 ―国際障害分類改訂版― (中央法規) その他、必要な文献・資料は随時提示する。						
受講時留意点、その他						
この授業は医療の現場で勤務していることを想定して行いますので医療人としての身嗜み等にも注意して受講してください。教務部オリエンテーションで配布した受講の手引きp3～4の医療人としての身嗜みを遵守してください。教科書、配布資料は必ず読んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期期末試験を実施する。				
小テスト		授業終了時に重要事項の確認テストを実施する。(成績評価には含めない)				
レポート		課題レポートの提出を検討している。(成績評価に加味ことがある)				
実技試験		なし				
プレゼンテーション		必要に応じて実施する。(成績評価には含めない)				
その他		医療人として節度ある態度で授業に臨んでください。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション・医療専門職種の基本 ～リハビリテーション専門家の身だしなみと接遇(基本的態度)について考える～ KW: ルールとマナー・身だしなみ・接遇・インフォームドコンセント・感染対策	内 田		配布資料 講 堂
第2回	医学・医療の歴史 ～医学・医療の発展過程の概要を知る～ KW: 古代・中世・近代・基礎医学・診断技術・疾病構造・日本医学史	内 田	pp4～5 pp15～18	配布資料 講 堂
第3回	リハビリテーションの歴史と理念 ～リハビリテーションの意味について理解する～ KW: rehabilitation・自立生活(IL)運動・ノーマライゼーション・国際障害者年	内 田	pp1～14	配布資料 講 堂
第4回	病気と障害の捉え方: 国際疾病分類(ICD)・国際障害分類(ICIDH)・国際生活機能分類(ICF)の概要を知る。 KW: ICD・ICIDH・ICF・機能障害・能力低下・社会的不利・背景因子	内 田	pp18～29	配布資料 講 堂
第5回	国際生活機能分類(ICF) その構造と意義について理解を深める。 KW: ICF・心身機能・身体構造・活動・参加・環境因子・個人因子	内 田	pp18～29	配布資料 講 堂
第6回	リハビリテーションとチーム ～特にチーム医療について考える～ KW: チームアプローチ・多職種連携・カンファレンス・プログラム	内 田	pp31～44	配布資料 講 堂
第7回	リハビリテーション医療を担う専門家 職種の理解を深める。 KW: 医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・義肢装具士・他	内 田	pp31～44	配布資料 講 堂
第8回	リハビリテーション医療に必要な基礎知識を概観する。 KW: 解剖学・生理学・運動学・他日常生活活動(ADL)・生活の質(QOL)	内 田	pp47～64	配布資料 講 堂
第9回	リハビリテーションの領域と流れ(過程)について理解する。 KW: 医学的R・社会的R・職業的R・教育的R	内 田	pp1～29	配布資料 講 堂
第10回	リハビリテーションの領域と流れ(過程)について理解する。 KW: 予防・急性期・回復期・生活期(維持期)・ゴール設定・治療(介入)計画	内 田	pp1～29	配布資料 講 堂
第11回	リハビリテーションと社会保障制度について理解する。 KW: 医療保険制度・公的扶助制度・介護保険制度・医療法・福祉関係法規	内 田	pp65～88	配布資料 講 堂
第12回	リハビリテーション関連領域を概観する。 KW: 補装具・車椅子・環境制御装置・BMI・ロボティクス・栄養・摂食・嚥下	内 田	pp89～127	配布資料 講 堂
第13回	代表的疾患のリハビリテーションについて理解する。 KW: 脳卒中・神経・筋疾患・脊髄損傷・切断・RA・脳性麻痺、その他	内 田		配布資料 講 堂
第14回	リハビリテーション医療について仮想症例を通じて具体的に考える。 KW: 仮想症例・評価・カンファレンス・ゴール設定・治療計画立案	内 田		配布資料 講 堂
第15回	症例検討とまとめ	内 田		配布資料 講 堂
定期試験 7月25日(予定)	前期末試験: 第1～15回の範囲で筆記試験を行う。 出題内容は事前に提示する。	内 田		講 堂

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	チーム医療論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	間瀬亜由美 望月里子 野田幸男 稲葉有紀子 石島淳児 柚木克方 馬場幸治 野竹秀幸	コミュニケーション論、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は理学療法士／作業療法士を始め、外部講師による講義を予定しています。 医療施設での各職種の実務経験を基に、チーム医療の必要性、各職種の専門性を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	医療現場の様々な職種の役割を理解し、チーム医療を学ぶ。					
行動目標(SBO)	1. チーム医療の必要性、現状を学ぶ。 2. チーム医療に関わる職種の専門性、役割、業務を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医療現場は、立場も専門も異なる多くの人が働く場所です。家族・患者さんにとって最適の医療を効率的に提供するためには、職種間協働に基づく、「チーム医療」が必要とされています。この科目では「チーム医療」の現状から、理学療法士と関わる様々な職種の専門性・役割・業務を学びます。多職種の業務内容を知り、チームの一員としてどのように接し、どのような情報を収集・共有すべきか、理解を深めてください。						
教科書・参考書						
参考書 :①水本 清久 他：実践チーム医療論 実践と教育プログラム. 医歯薬出版. 2011 ②内山靖,藤井浩美,立石雅子 編 コミュニケーション論・多職種連携論 医歯薬出版 2021						
受講時留意点、その他						
チーム医療には適切な意思疎通・コミュニケーションが不可欠です。 外部の先生方は臨床の時間を割いて授業に来て下さいます。 授業中はしっかり板書、メモを取り、話を聞くときに適した姿勢や態度で臨みましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各授業(第2回～第8回)に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する。 提出期限はその都度提示する。提出が遅れた場合受け付けない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加(発言、反応など)を行動観察で評価する。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	チーム医療とは 【KW】リハビリテーション医学・チーム医療	間瀬	配布資料	講堂
第2回	医療における職種の理解と他職種連携 – 医師 – 【KW】職種理解、治療計画、カンファレンス	野田	配布資料	講堂
第3回	医療における職種の理解と他職種連携 – 看護師 – 【KW】ADL援助、精神的サポート、リハ職種との連携	稲葉	配布資料	講堂
第4回	医療における職種の理解と他職種連携 – 言語聴覚士 – 【KW】言語・嚥下訓練、リハ職種との連携	石島	配布資料	講堂
第5回	医療における職種の理解と他職種連携 – MSW – 【KW】退院援助、社会復帰援助、リハ職種との連携	柚木	配布資料	講堂
第6回	医療における職種の理解と他職種連携 – 薬剤師 – 【KW】運動療法、ADL、QOL	野竹	配布資料	講堂
第7回	医療における職種の理解と他職種連携 – 義肢装具士 – 【KW】装具療法・義肢装具作成調整、連携	馬場	配布資料	講堂
第8回	まとめ 作業療法士から見た多職種連携 – 作業療法士 – 【KW】各専門職との関わり、チーム医療	間瀬	配布資料	201
第9回				
第10回				
第11回				
第12回				
第13回				
第14回				
第15回				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	社会福祉概論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	リハビリテーション概論・チーム医療論・関連法規				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	国民の生活支援や人権に関わる社会保障制度や社会福祉を理解する					
行動目標（SBO）	1．社会保障制度の背景を説明できる。 2．社会保障制度の種類と仕組みを説明できる。 3．障害の捉え方・障害者の人権について説明できる。 4．子どもと高齢者に関わる福祉について説明できる。 5．リハ専門職種として関わる制度について説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
超高齢社会となり、社会保障制度の在り方が問われている現代において、その背景や種類と仕組み、障害者の人権問題など理解する必要があります。障害のある人がその人らしく生活が送れるよう支援するためには、社会自体が受け入れる環境をつくることも大切であり、そのひとつが社会保障や社会福祉であります。社会福祉の制度は当事者が必要性を訴えることで作られており、どんな社会を目指すことが大切なのか、対象者を支援する我々専門職が一緒になって考えていくことが必要であります。 授業は各回ごとに授業目標を提示し、その内容について講義します。授業の中ではポイントを提示しますので、振り返り学習は授業目標とポイントに沿って行って下さい。						
教科書・参考書						
教科書：指定教科書なし 参考書：系統看護学講座 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ 医学書院 コメディカルのための社会福祉概論 第4版 講談社 その他： 配布資料あり						
受講時留意点、その他						
授業の中では厚生労働省等から公開されている資料も使用します。配布資料に出典先のURL等を合わせて提示しますので参考にして下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りや不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション・社会保障とは 社会保障の定義・日本国憲法との関連、リハビリテーションと社会保障 【KW】社会保障・憲法・リハビリテーション	中村	配布資料	207
第2回	日本の社会福祉の歴史 社会福祉の歴史を通して、現代社会の社会保障制度について理解する 【KW】慈善救済・福祉六法・社会福祉	中村	配布資料	207
第3回	社会保障制度に影響を与える要因 4つの要因から社会保障制度との関連性を学ぶ 【KW】少子高齢化・世帯数・経済成長	中村	配布資料	207
第4回	障害と人権 障害観、障害者の人権について 【KW】障害観・障害者の権利擁護・障害者権利条約	中村	配布資料	207
第5回	障害者権利条約を批准するまでの過程と法の整備 日本が障害者権利条約に批准するまでの過程を学ぶ 【KW】障害者権利条約・障害者基本法・障害者差別解消法	中村	配布資料	207
第6回	高齢者と福祉 高齢者を取り巻く状況を理解する 【KW】介護保険制度・超高齢社会・高齢者	中村	配布資料	207
第7回	子どもと福祉 子どもに関わる法制度と社会制度用を理解する 【KW】少子化対策・児童福祉・子育て支援	中村	配布資料	207
第8回	リハ専門職が関わる制度 PT・OTを提供することでの報酬を規定する制度について理解する 【KW】医療保険・障害者総合支援法	中村	配布資料	207
定期試験	終講後に前期末試験を実施する			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法専門科目すべて				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。 作業療法の歴史や理論、定義など、「作業療法とは何か」を学びます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法という治療技術を理解し、作業療法士を目指す意欲を養う。					
行動目標(SBO)	1. 作業療法に関心をもち、作業療法に関する知識を得ようと努力することができる。 2. 作業療法とは何かを説明できる 3. 「作業」とは何かを議論し合うことができる。 4. 作業療法の評価から治療に至る流れを説明できる。 5. 4つの分野ごとの作業療法の役割と内容の概路を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法とはどういうものかを、さまざまな視点から学び、理解します。 作業療法の定義・作業の力・社会における作業療法の位置づけについて学びます。また、対象者の疾患や年齢（領域）やそれぞれの状況によって、治療として実施する作業療法は異なります。各々の作業療法について、特徴的な内容を理解しましょう。また、臨床現場で起こり得るリスク管理について学び、日々の生活の中でも意識できるようにしていきましょう。						
教科書・参考書						
能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 第4版 医学書院						
受講時留意点、その他						
毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切です。また、指定した教科書の内容を事前に読んでおいてください。教科書を読むことは、日本語の表現力を養うことにもなりますので、音読をすることを勧めます。また、教科書をすべて鵜呑みにするのではなく、批判的に読む癖をつけてください。こういうことはどう考えればよいのか疑問を持ちながら、読んでみてください。作業療法は歴史的に見ても変化し続けており、皆さんがさらに発展させていく可能性を秘めている領域です。どうあるべきかを一緒に考えていきましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト		数回の授業ごとに小テストを行います				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	作業療法とは 作業療法の定義についてまとめておくこと	岡本	pp3-13	207
第2回	作業療法の歴史と原理 作業療法の原理が何かを考えておくこと	岡本	pp15-25	207
第3回	作業療法に関連する予備知識 対象者を理解するために必要なことは何かを整理しておくこと	岡本	pp27-38	207
第4回	作業療法の実践現場 作業療法が実践されている現場をまとめておくこと	岡本	pp40-47	207
第5回	作業の分析と治療への適用 作業の分析のしかたを整理しておくこと	岡本	pp51-83	207
第6回	作業療法士の養成と教育 作業療法士の養成制度を理解しておくこと	岡本	pp87-119	207
第7回	日本作業療法士協会と WFOT 日本作業療法士協会とWFOT の役割をまとめておくこと	岡本	pp120-141	207
第8回	作業療法の実践過程 作業療法の評価 → 治療の流れを把握しておくこと	岡本	pp145-164	208
第9回	身体機能分野における作業療法の実際 身体機能分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp169-181	209
第10回	精神機能分野における作業療法の実際 精神機能分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp182-195	210
第11回	発達過程分野における作業療法の実際 発達過程分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp196-211	211
第12回	高齢期分野における作業療法の実際 高齢期分野における作業療法の目的をまとめておくこと	岡本	pp212-227	212
第13回	社会保障制度の理解 医療保険と介護保険の違いをまとめておくこと	岡本	pp231-244	213
第14回	作業療法部門の管理運営 記録と報告の違いを理解しておくこと	岡本	pp246-269	214
第15回	まとめ テキスト全体を読み直して、疑問点を明確にしておくこと	岡本	全体	215
定期試験	1回～15回の範囲で定期試験を行います			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学	1	15	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法概論・基礎作業学実習・作業療法評価学・作業療法評価学演習・日常生活活動学・作業遂行分析学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。作業療法で用いる作業をどのように捉えるかを学びます。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法ではなぜ「作業が行えること」が目標なのかを理解する					
行動目標（SBO）	1．作業の形・機能・意味について分析できる 2．個人にとっての作業の意味を説明できる 3．作業遂行とは何か、説明できる 4．作業遂行を観察する視点を説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、対象者にとっての作業の意味を知るために、作業の形や機能、意味の分岐、作業工程の分析、作業遂行の分析などを行います。当たり前に行っている「作業」をどのような視点で見ればよいのかを学習するため、まずは自分自身にとっての作業について洞察しましょう。作業について注意深く観察し、そこにある意味を考える技術を身に着けます。						
教科書・参考書						
教科書：なし（配布プリント） 参考書：濱口豊太 編．標準作業療法学 基礎作業学 第4版．医学書院						
受講時留意点、その他						
毎回、レポートを作成します。必要な人は電子辞書などを持参してください。演習が多い科目ですので、積極的に参加されることを期待しています。各自の経験をもとに、作業とは何かについて理解し、考察する姿勢が求められます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各テーマの課題に沿ったレポート提出の完成度を点数化する。①時間内に完成させること、②提出物として相手にわかるように記載されていること、③誤字脱字がないこと、④内容が課題に沿っていること、⑤作業について、自己の経験をもとに洞察できていること を採点基準とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション/作業学とは 作業学で学ぶ内容を理解する。 【KW】作業・occupation・作業科学	市村	配布資料 国語辞典・ 英和辞典	207
第2回	作業の種類 人にとっての意味の観点から作業の種類を理解する 【KW】する必要がある作業・したい作業・することを求められる作業	市村	配布資料	207
第3回	作業の意味・形態・機能 作業の形態・機能・意味を分析する 【KW】作業の形・機能・意味	市村	配布資料	207
第4回	作業を行うことの重要性 適切な作業が行えることの重要性を学ぶ 【KW】作業的存在・作業的公正・story	市村	配布資料	207
第5回	作業分析の手段 作業分析の手段にどのようなものがあるかを学ぶ 【KW】分析単位・作業分析・工程分析・動作分析・運動分析	市村	配布資料	207
第6回	作業遂行の捉え方 作業遂行の概念と、作業遂行に影響する要因を学ぶ 【KW】作業・人・環境	市村	配布資料	207
第7回	作業遂行分析：作業の細分化 目的志向的行為の単位に作業を細分化する 【KW】目的志向的行為・作業遂行	市村	配布資料	207
第8回	作業遂行分析：遂行の質の観察 作業を遂行の質の観点から観察する 【KW】自立性・安全性・努力性・効率性	市村	作業療法 評価学 p215	207
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習Ⅰ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途、野村めぐみ	作業療法概論・基礎作業学・運動学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設等での実務経験を基に、作業分析や作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業活動を通して作業療法における作業の治療的意味を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2. 作業活動の工程分析が行える。 3. 実施した作業活動の特性について説明できる。 4. 作業活動を通して自身の心理的变化を上げることができる。 5. 期限内に各作業活動を完成することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通して学習します。心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考えを深めます。また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養います。何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深めます。『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉えていきます。						
教科書・参考書						
①作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社						
②配布資料(適宜)						
受講時留意点、その他						
実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。 【服装について】 「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない(派手ではない)ものを履き、アクセサリは外してください。学生ハンドブック「Ⅲ-2.学生生活における心構え」を遵守してください。作業当日に欠席すると遅れが生じますので、翌登校日に必ず相談にきてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50	各作業終了後及び全作業終了後に行う作業分析シートを採点します。提出期日を提示します。正当な理由なく期日を過ぎたものは減点します。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。正当な理由なく提出期日を過ぎたものは減点します。オリジナル性のある物、完成度が高い作品は加点対象となります。作製中や提出に際し規定違反が発覚した場合は減点の対象となります。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・作業とは</u> コースオリエンテーション、張り子とマクラメのオリエンテーション	野村	配布資料	OT実習室1
第2回	<u>作業活動1：マクラメ①</u>	中村	配布資料	OT実習室1
第3回	<u>作業活動1：マクラメ②</u>	野村	配布資料	OT実習室1
第4回	<u>作業活動1：マクラメ③</u>	野村	配布資料	OT実習室1
第5回	<u>作業活動1：マクラメ④</u>	野村	配布資料	OT実習室1
第6回	<u>作業活動2：張り子①</u> 新聞紙と半紙の貼り付け	野村	配布資料	OT実習室1
第7回	<u>作業活動2：張り子②</u> 新聞紙と半紙の貼り付け	野村	配布資料	OT実習室1
第8回	<u>作業活動2：張り子③</u> 着色・仕上げ	野村	配布資料	OT実習室1
第9回	<u>作業分析1</u>	野村	配布資料	OT実習室1
第10回	<u>作業分析2、作業活動3オリエンテーション</u>	野村	配布資料	OT実習室1
第11回	<u>作業活動3：銅板細工①</u>	中村	配布資料	OT実習室1
第12回	<u>作業活動3：銅板細工②</u>	中村	配布資料	OT実習室1
第13回	<u>作業活動3：銅板細工③</u>	中村	配布資料	OT実習室1
第14回	<u>作業分析3</u>	中村	配布資料	OT実習室1
第15回	<u>作業活動1～3振り返り</u>	中村	配布資料	OT実習室1
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習Ⅱ	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途 小割祥嗣	基礎作業学実習Ⅰ・作業療法概論・基礎作業学・運動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での作業療法の実務経験を基に、作業分析、作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	基礎作業学実習Ⅰで学んだ「作業」に対する理解を更に深め、作業分析を通して作業の特性を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2. 実施した作業活動の特性について説明できる。 3. 作業活動に必要な動作を分析できる。 4. 作業活動を通して自身の心理的变化を挙げることができる。 5. 期限内に各作業活動を完成することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通してとらえる。 作業活動に伴う心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考察する。また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養う。 何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深める。 『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉える。						
教科書・参考書						
1. 作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社 2. 配布資料(適宜)						
受講時留意点、その他						
実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。 【服装について】 「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない(派手ではない)ものを履き、アクセサリは外してください。学生ハンドブック「Ⅲ-2.学生生活における心構え」を遵守してください。作業当日に欠席すると遅れが生じますので、翌登校日に必ず相談にきてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	40	作業分析シート、レクリエーション参加レポート、オリジナル作品に対するレポートを採点します。提出期日を提示します。正当な理由なく提出期限を過ぎたものは減点します。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
プレゼンテーション	10	オリジナル作品のプレゼンテーションを第15回に実施します。作品の概要、手順、特性等を自己で分析し、他者に分かりやすく説明出来るかが採点対象となります。				
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。正当な理由なく提出期日を過ぎたものは減点します。オリジナル性のある物、完成度が高い作品は加点対象となります。作製中や提出に際し規定違反が発覚した場合は減点の対象となります。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション、作業活動オリエンテーション</u>	中村	p24～p32 配布資料	
第2回	<u>作業活動1：陶芸①</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第3回	<u>作業活動2：革細工①</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第4回	<u>作業活動1：陶芸②</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第5回	<u>作業活動2：革細工②</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第6回	<u>作業活動2：革細工③</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第7回	<u>作業活動1：陶芸③</u>	小割祥嗣 先生	p71～p85 配布資料	
第8回	<u>作業活動2：革細工④</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第9回	<u>作業分析2、作業活動2オリエンテーション</u>	中村	p34～p51 配布資料	
第10回	<u>作業分析1、作業活動3オリエンテーション</u>	中村	p71～p85	
第11回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品①</u>	中村	配布資料	
第12回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品②、レクリエーションオリエンテーション</u>	中村	配布資料	
第13回	<u>レクリエーション</u>	中村	配布資料	
第14回	<u>レクリエーション</u>	中村	配布資料	
第15回	<u>作業活動3：他者に渡して喜ばれる作品③～プレゼンテーション～</u>	中村	配布資料	
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ・Ⅱ、作業療法概論、基礎作業学、作業療法評価学演習、2年次以降の専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価の方法について、その入門的内容を演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法評価の基礎事項と考え方を理解する。					
行動目標（SBO）	1.作業療法における評価の目的と位置付けを理解する。 2.評価の基礎である面接・観察の基礎を理解する。 3.代表的な作業療法評価の名称が挙げられる 4.他部門との情報交換とは何か言える。 5.作業療法における対象者の評価から治療プログラム作成までの流れを理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法を実施するにあたり、対象者を理解し、把握する方法を評価と言います。対象者に触れること、観察すること（見る）、面接すること（話を聞く）がその基本です。この授業では、評価とは何か、作業療法ではどのような評価を用いるかについて、基礎事項を学びます。また作業療法評価については、2年次以降、さらに専門的に学習します。この授業はその入り口となりますので、基礎的な知識を習得しておきましょう。						
教科書・参考書						
教科書： 標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院） 標準作業療法学 作業療法概論 第4版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 授業内で課題が出されていた場合は、扱いについて、担当教員まで速やかに相談に来てください。 この科目は全8回です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行い、成績評価を行います。60点を合格点とし、成績評価割合は80%とします。				
小テスト						
レポート	20	授業で理解した内容をノートにまとめて提出します。授業内容を自分で理解して整理しなおして記載していること、丁寧に記載していることを採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・評価とは 作業療法における「評価」の位置づけを理解する 【KW】評価・作業・作業療法の過程・評価の種類 * 評価とは何かがわかる。作業療法の流れを説明し、評価の位置づけが言える。	市村	作業療法評価 学pp3-8, 13-16	207
第2回	面接 作業療法評価で行う面接の目的と方法を学ぶ 【KW】面接の目的・面接の種類・位置関係 * 面接の演習を行い、面接の目的と留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp11,36-44	作業療法実 習室 2・3
第3回	観察 作業療法評価における観察の目的と方法を学ぶ 【KW】観察の対象・観察の場面・観察の視点 * 観察の演習を行い、観察の目的、留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp12-13,46-48	207
第4回	評価バッテリー・検査・測定 1 作業療法で用いる評価を学び、体験する 【KW】血圧測定・ROM測定・MMT・感覚検査・上肢機能検査・認知機能検査 * 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実 習室 2・3 / <u>ゴニオメータ</u>
第5回	評価バッテリー・検査・測定 2 作業療法で用いる評価を体験する 【KW】血圧測定・ROM測定・MMT * 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実 習室 2・3 / <u>ゴニオメータ</u>
第6回	日常生活活動 (ADL) の評価 ADLを評価する方法の基礎を学ぶ 【KW】しているADL・できるADL・FIM * ADLの見方の基礎を理解し、FIM採点方法の原則を覚える。	市村	作業療法評価 学pp215-216,223-224	207
第7回	記録と他部門情報の収集 評価における記録と情報収集を学ぶ 【KW】SOAP・医学情報・守秘義務・他部門との連携 * SOAPを用いた記録方法の演習を行う。記録の原則と収集する情報を覚える。	市村	作業療法評価 学pp9-11,28-32	207
第8回	まとめ・評価の解釈と治療計画 評価結果を作業療法につなげる過程を学ぶ 【KW】結果の解釈・問題点の整理・ゴール設定・プログラム立案 * 作業療法過程を追体験し、評価と治療の流れを理解する。	市村	作業療法評価 学pp19-22 作業療法概論 pp131-142	207
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学演習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	基礎作業学、作業療法概論、作業療法評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法評価の基礎となる考え方を習得する					
行動目標(SBO)	1. 作業療法評価で行う観察の方法がわかる 2. 作業療法評価で行う面接の方法がわかる 3. チーム医療における情報交換の方法がわかる 4. 作業療法評価における記録の方法がわかる 5. 作業バランスの概念がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
前期で学習した作業療法評価について、実施する上での基本的な考え方を習得します。心身機能の検査や測定、対象者の状態を数値に置き換える定量的な評価については、別の科目で学び、この科目では、観察・面接や、他職種との情報交換など、評価の基礎となる技術について、皆さんに実際に考えてもらったり、課題を行ってもらったりしながら、学んでいきます。						
教科書・参考書						
教科書 : 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版(医学書院) 標準作業療法学 作業療法概論 第3版(医学書院) 参考書 : 基礎運動学(医歯薬出版)ほか(授業で指示します)						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	授業内で行った課題が評価対象である。丁寧に記載できていること、授業にまじめに取り組んでいたことが確認できる内容であることを評価対象とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・観察/面接の方法	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第2回	面接1:相手を知るための面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第3回	面接2:医療場면을想定した面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第4回	面接3:情報を収集するための面接	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第5回	他部門との情報交換	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第6回	記録1:カルテの記録演習	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第7回	記録2:報告書の記録演習	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第8回	作業バランス1:作業バランスとは	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第9回	作業バランス2:作業バランス分析	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第10回	臨床実習を見据えて1:作業療法場面に入り込む(見学の仕方)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第11回	臨床実習を見据えて2:作業療法場面に入り込む(姿勢の診かた)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第12回	臨床実習を見据えて3:作業療法場面に入り込む(測定の補助)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第13回	臨床実習を見据えて4:作業療法場面に入り込む(血圧測定)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第14回	臨床実習を見据えて5:作業療法場面に入り込む(車椅子操作)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
第15回	臨床実習を見据えて6:作業療法場面に入り込む(リスク管理)	岡本	作業療法 評価学 授業資料	OT実習室2 OT実習室3
定期試験	定期試験は実施しない。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学Ⅰ	1	15	講義	必須	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途	地域作業療法学Ⅱ、地域作業療法学実習 社会福祉概論、生活社会科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かして地域作業療法の基本となる枠組みについて教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	地域作業療法における地域の意味や地域の特性を知る					
行動目標(SBO)	1. 地域という言葉の意味が理解できる 2. 自分の住んでいる地域の資源について説明できる 3. 自分の住んでいる地域とその他の地域を比べることができる 4. 地域におけるリハビリテーションの役割がわかる 5. 地域における作業療法の役割がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、作業療法の対象領域として拡大しつつある地域作業療法について学習します。 自分の住んでいる市町の社会資源や特徴について調べます。他の地域との比較や高齢者が生活住みやすい地域づくり、地域の課題についてグループワークなどを用いて考えを深めていきます。 地域の枠組みや地域ごとの特色について理解できることが目標となります。 グループワークでは、お互いの意見を尊重することや、積極的な発言を求めます。						
教科書・参考書						
教科書:なし 参考書:【標準作業療法 専門分野】地域作業療法 第4版(医学書院)・ 高齢期作業療法 第3版(医学書院) 作業療法 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法(MEDICAL VIEW)						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	授業中にまとめた課題シート(全8回)を採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション、自分達にとっての理想的な地域とは</u> キーワード: 地域資源、理想的な街、生活の充実 自分が考える住みやすい地域について考えます	中村	配布資料	207
第2回	<u>地域とは</u> キーワード: 医療圏、市町、地理的把握 地域作業療法における地域の枠組みについて学びます	中村	配布資料	207
第3回	<u>地域で生活するために必要な資源</u> キーワード: 地域、社会保障制度、健康 社会保障制度について学びます	中村	配布資料	207
第4回	<u>高齢者が生活するために必要な資源</u> キーワード: 生活、高齢者、介護保険 高齢者の生活をイメージしながら学習を進めます	中村	配布資料	207
第5回	<u>自分の住んでいる地域を知る</u> キーワード: 社会資源、生活、医療 自分が居住している地域の特徴を調べます	中村	配布資料	207
第6回	<u>地域における課題の発見</u> キーワード: 地域、生活、住民 グループディスカッションを通して地域の課題について学習する	中村	配布資料	207
第7回	<u>地域リハビリテーションと地域作業療法</u> キーワード: 生活障害、個人、社会 地域作業療法の枠組みについて学びます	中村	配布資料	207
第8回	<u>地域作業療法Ⅰのまとめ</u> キーワード: 地域、社会資源、住民 理想の町に必要な資源・環境について考えます	中村	配布資料	207
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅰ	1	45	実習	必修	—
対象学科	担当教員					
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員	作業療法概論、作業療法評価学、作業療法評価学演習、基礎 作業学、基礎作業学実習、専門基礎科目ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。学校教員とともに医療・保健施設等の実習施設では施設 先の作業療法士が講師を務め教育にあたります。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける。					
行動目標（SBO）	・ 明るさ、節度、協調性をもって対象者・関係者と接することができる。 ・ 口頭及び書面での報告、連絡、相談ができる。 ・ 守秘義務を遵守できる。 ・ 時間や約束を守ることができる。 ・ 作業療法士の業務に具体的な関心を持つことができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学外施設での実習を中心に行い、前後に学内でのセミナーも実施する。実習施設では、クリニカル・クラークシップ による臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連 携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、 臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実 習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
1年次各科目で使用した教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は12月8日（月）から12月12日（金）とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、 原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定され た服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合 の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	40％	臨床実習の体験について、実習後に学内でレポートを作成する。実体験を踏まえ、作業療法業務 の初歩的理解を報告できているかどうかを採点する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	60％	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内 臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100％	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
実習前 セミナー	実習前セミナー（連絡事項・書類確認）	作業療法学 科教員		学内
実習前 セミナー	実習前セミナー（連絡事項・書類確認）	作業療法学 科教員		学内
第1日 12/8	オリエンテーション、施設見学、クリニカルクラークシップによる作業療法場面の 見学・補助	臨床実習教 育者 学校教員		実習施設
第2～5日 12/8- 12/12	クリニカルクラークシップによる作業療法場面の見学・補助、間接業務の見 学・実行（他部門の見学）、最終到達度チェックと臨床実習の振り返 り、フィードバック。	臨床実習教 育者 学校教員		実習施設
実習後 セミナー	連絡事項・書類確認	作業療法学 科教員		学内
実習後 セミナー	実習后面談・レポート作成	作業療法学 科教員		学内

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの閲覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 TEL 0545-55-3888（平日の8:30－17:30）
実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888
代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネット上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	スポーツ科学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	赤岩龍土、大沼賢洋、森 梢	解剖学・解剖学実習・運動学・整形外科学・運動機能評価学・運動器疾患PT学・ボランティア活動論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	この授業はスポーツ認定理学療法士（JSPO公認アスレティックトレーナー、JPSA公認パラスポーツトレーナー、JPSA公認中・上級パラスポーツ指導員）が担当します。医療施設やスポーツ場面、レクリエーションでの実務経験を基に、スポーツを行う人への指導やケア方法を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	スポーツにおける動作の特徴、外傷障害、応急処置、テーピングについて理解する。 パラスポーツについて理解を深める					
行動目標（SBO）	1 スポーツ基本動作について知る。 2 スポーツ外傷障害の特徴を踏まえ、テーピング・バンデージの知識・技術を身につける。 3 コンデショニングについて実践できるようにする。 4 パラスポーツについて知る。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
スポーツは、競技レベルから一般愛好家レベルまで幅広く行われている活動です。 どの競技レベルにおいても、スポーツにおける外傷・障害は、予防することが第一となります。本講義では、スポーツに関連の深い障害外傷のメカニズムを理解し、安全管理、応急処置、トレーニング方法、テーピング技術を学びます。また、障がい者スポーツについて理解を深め、PTOTとしてのサポート活動に発展するきっかけとして欲しいです。 なお、本講義は、日本パラスポーツ協会公認初級および中級パラスポーツ指導員養成必須カリキュラムを含んでいます。 16回～39回は、中級指導員資格取得希望者のみ受講となります。 5時間目等、不定期の開講となります。 初級・中級とも、すべての受講が資格申請に必要となるので、欠席等には十分注意すること。						
教科書・参考書						
【教科書】「障がい者のあり人のスポーツ指導教本2020年度改訂版」 【参考図書】 基礎運動学第6版、整形外科に関する書籍、テーピングに関する書籍、スポーツ外傷障害に関する書籍 障がい者スポーツ大会 規則集1000円						
受講時留意点、その他						
各講義において実習ができる服装で参加すること。テーピングなど物品の取り扱いを丁寧にすること。 初級指導員認定申請には、全受講が必須となります。欠席遅刻のないように注意して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60	障がい者スポーツに関わる内容で、授業内で用いる視聴覚教材のまとめを作成し、授業終了時に提出。				
実技試験	40	足関節のテーピングもしくはバンデージの技術に関して、制限時間、手法、仕上がりの面で採点する。				
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	コースオリエンテーション・スポーツ基本動作について 本講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、6 つスポーツの基本動作について理解する。【キーワード】スポーツ基本動作・特徴	赤岩	テキスト I 章	講堂
第2回	安全管理（スポーツ傷害外傷について） スポーツ傷害・外傷および応急処置について理解する。 【キーワード】スポーツ傷害外傷・応急処置・	赤岩	テキスト I、Ⅲ章	講堂
第3回	足関節捻挫のメカニズム 足関節の構造と捻挫を生じるメカニズムについて理解する。 【キーワード】足関節・靱帯・検査方法	赤岩	資料	講堂
第4回	テーピング① 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第5回	テーピング② 足関節捻挫 足関節捻挫のバンデージをできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第6回	テーピング③ 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第7回	テーピング④ 膝関節に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】膝関節・ACL損傷・テーピング	赤岩	資料	講堂
第8回	リスクマネジメント リスクマネジメントに関する基礎知識を学び、パラスポーツ指導現場における事例を学ぶ。	赤岩	資料	講堂
第9回	障がい者福祉政策とパラスポーツ 障害者福祉政策におけるスポーツについて知る。 【キーワード】福祉政策・パラスポーツ・ノーマライゼーション	赤岩	テキスト I、Ⅲ章	講堂
第10回	パラスポーツの意義と理念 パラスポーツやパラリンピックについて知る。 【キーワード】アダプテッドスポーツ・障がい者スポーツ・パラリンピック	赤岩	テキスト Ⅲ章	講堂
第11回	パラスポーツの推進と取り組み 日本障がい者スポーツ協会の取り組みと指導者育成制度について 【キーワード】パラスポーツの理念、指導者制度、取り組み	赤岩	テキスト Ⅲ章	講堂
第12回	全国パラスポーツ大会の概要 全国障がい者スポーツ大会の障がいの区分、指導法について 【キーワード】障がい者スポーツ大会、障害区分、競技指導	赤岩	テキスト Ⅶ章	講堂
第13回	障がいの理解とスポーツ 障害の分類とスポーツレクリエーション 【キーワード】障害分類・レクリエーション・指導上の留意点	赤岩	テキスト Ⅵ章	講堂
第14回	パラスポーツ体験① 障害に応じたスポーツの工夫 車椅子競技など体験を通し理解を深める。 【キーワード】車椅子操作・スラローム走行・車いす競技	赤岩	テキスト Ⅵ、Ⅶ章	講堂
第15回	パラスポーツ体験② 障害に応じたスポーツの工夫 各種パラスポーツを体験を通し、各種競技の特性を知る。 【キーワード】ボッチャ・ゴールボール	赤岩	テキスト Ⅵ、Ⅶ章	講堂

(R02-カリキュラム)

第16回	中級指導員カリキュラム1 スポーツの意義と価値① スポーツにおける身体的・文化的・社会的な意義や価値について学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第17回	中級指導員カリキュラム2 スポーツの意義と価値② スポーツインテグリティについて学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第18回	中級指導員カリキュラム3 バラスポーツ指導員としてのキャリア形成① 過去と将来の指導者としてのキャリアを考え、自身の指導者像を形成する。	赤岩	テキスト 章	講堂
第19回	中級指導員カリキュラム4 バラスポーツ指導員としてのキャリア形成② 過去と将来の指導者としてのキャリアを考え、自身の指導者像を形成する。	赤岩	テキスト 章	講堂
第20回	中級指導員カリキュラム5 地域におけるバラスポーツ振興 バラスポーツに関わる諸団体や関係所管について理解し、連携することの必要性について学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第21回	中級指導員カリキュラム6 スポーツ心理学Ⅰ 障がい受容について受傷からの心理的プロセスを学ぶ。障がい者の体験談を通して、スポーツの心理的効用と心理的支援の方法について学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第22回	初級・中級指導員カリキュラム7 視覚障害と聴覚障害への理解 視覚障害と聴覚障害を体験を通して学ぶ	赤岩	テキスト 章	講堂
第23回	中級指導員カリキュラム8 全国障害者スポーツ大会の歴史と目的・意義 全国障害者スポーツ大会の成り立ちや歴史の変遷を学ぶ	赤岩	テキスト 章	講堂
第24回	中級指導員カリキュラム9 全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分① 全国障害者スポーツ大会で実施されている競技・種目の概要を理解し、適用されている障害区分を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第25回	中級指導員カリキュラム10 全国障害者スポーツ大会の実施競技と障害区分② 全国障害者スポーツ大会で実施されている競技・種目の概要を理解し、適用されている障害区分を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第26回	中級指導員カリキュラム11 全国障害者スポーツ大会選手団編成とスタッフの役割 全国障害者スポーツ大会へ帯同するスタッフとして、代表選手の選考方法および選手や選手団に必要なサポートについて学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第27回	中級指導員カリキュラム12 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 1 陸上 車いすスラローム 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第28回	中級指導員カリキュラム13 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 2 陸上 義足走行 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第29回	中級指導員カリキュラム14 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 3 STT 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第30回	中級指導員カリキュラム15 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則 4 フライングディスク 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂

(R02-カリキュラム)

第31回	中級指導員カリキュラム16 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則5 ボッチャ 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第32回	中級指導員カリキュラム17 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則6 車いすバスケット 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第33回	中級指導員カリキュラム18 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則7 アーチェリー 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第34回	中級指導員カリキュラム19 全国障害者スポーツ大会競技の指導法と競技規則8 サッカー 全スポ実施競技の実技を通し、競技規則や指導法などの知識・技能を学ぶ。	赤岩	テキスト 章	講堂
第35回	中級指導員カリキュラム20 最重度の障がい者のスポーツの実践 最重度の障がい者のスポーツを理解し、様々な創意工夫の実例について学ぶ。 【キーワード】	赤岩	テキスト 章	講堂
第36回	初中級指導員カリキュラム21 障がいのある方との交流 県障がい者スポーツ協主催事業へ参加する 【キーワード】	赤岩	テキスト 章	講堂
第37回	中級指導員カリキュラム22 障がい者のスポーツ指導における留意点① 【キーワード】	赤岩	テキスト 章	講堂
第38回	中級指導員カリキュラム23 障がい者のスポーツ指導における留意点② 【キーワード】	赤岩	テキスト 章	講堂
第39回	中級指導員カリキュラム24 障がい者のスポーツ指導における留意点③ 【キーワード】	赤岩	テキスト 章	講堂
第40回	中級指導員カリキュラム25 視覚障害各論 目の構造、視神経、視覚障害について学ぶ	赤岩	テキスト 章	講堂
第41回	中級指導員カリキュラム26 聴覚障害言語障害各論 耳の構造、聴神経、言語障害について学ぶ	赤岩	テキスト 章	講堂

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村真樹	運動学Ⅰ、Ⅲ・解剖学Ⅰ、Ⅱ・生理学Ⅰ、Ⅱ・基礎OT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この科目は理学療法士が担当します。実際の臨床現場への知識技術の導入の例を解説します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	理学療法・作業療法の基礎知識として身体運動のメカニズムについて理解する。 人間の運動・動作・行為について運動学的思考ができるようにする。					
行動目標（SBO）	1) 姿勢・運動・動作・行為を観察し、運動学的な表現と分析ができる。 2) 基本動作（寝返り、立ち上がり）の本質を理解し、歩行および上肢運動の特徴をとらえ、観察・分析することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
運動学Ⅱは、運動学Ⅰで学んだ身体運動に関わる身体構造とそのメカニズムの応用編として、姿勢や運動の意味を理解し、その観察方法や解釈の仕方を学びます。これは、理学療法や作業療法の治療理論の重要な基礎となります。実際の臨床現場への知識技術の導入の例を挙げながら説明していきます。						
教科書・参考書						
教科書：PT・OTのための運動学テキスト第1版補訂版 参考書：①中村隆一・他：基礎運動学（第6版・補訂），医歯薬出版，2012. ②D. A. Neumann著，嶋田・他訳：筋骨格系のキネシオロジー，医歯薬出版，③Jacquelin Perry 原著：ペリー歩行分析（原著第2版），医歯薬出版，2012. <その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する>						
受講時留意点、その他						
・実際の身体運動を行うためTシャツ、静止立位時に膝の見えるハーフパンツを各自準備してください。 ・学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネッツなどでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60%以上を合格の目安とし、至らない場合、再試験を1回行う。				
小テスト						
レポート	0	必要に応じ課題を提示します。原則として成績評価には含めませんが、著しく不良なレポートは、減点の対象となる場合もあります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		講義の振り返りができるように講義ごとに問題をオンラインで配布する。（任意参加）成績には含めない。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	イントロダクション・姿勢の基礎運動学 【キーワード】姿勢制御・システム理論・相互作用	市村真樹	P343～	206
第2回 4月23日	姿勢の観察と支持基底 (実技あり) 【キーワード】生理的前彎・脊柱の靱帯・重心・支持基底	市村真樹	P283～	講堂・レクリエーション室
第3回 4月25日	異常姿勢と姿勢反応 【キーワード】片麻痺・パーキンソン病・ALSの異常姿勢	市村真樹	P343～	206
第4回 5月14日	寝返り動作の観察 (実技あり) 【キーワード】運動・動作・行為・動作分析・工程分析	市村真樹	P464～	206
第5回 5月14日	寝返り動作の解釈・立ち上がり動作の観察 (実技あり) 【キーワード】関節運動学的視点・筋活動	市村真樹	P480～	講堂・レクリエーション室
第6回 5月21日	立ち上がり動作の解釈 【キーワード】重心・支持基底・位置・運動エネルギー	市村真樹	P480～	206
第7回 5月22日	運動学習の定義 【キーワード】学習・記憶・運動技能・フィードバック	市村真樹	P63～	206
第8回 5月28日	運動学習の実際 【キーワード】スキーマ理論と運動学習	市村真樹	P63～	206
第9回 6月4日	臨床の運動学習 【キーワード】パフォーマンスと学習曲線	市村真樹	P63～	206
第10回 6月10日	歩行の基礎運動学 【キーワード】健常歩行・歩行周期・歩行の条件	市村真樹	P367～	206
第11回 6月20日	健常歩行の観察 【キーワード】IC・LR・Mst・Tst・Psw・Isw・Msw・Tsw	市村真樹	P367～	講堂・レクリエーション室
第12回 6月24日	健常歩行の解釈 【キーワード】ロッカーファンクション・骨盤の三次元的運動	市村真樹	P367～	206
第13回 6月27日	異常歩行の解釈 【キーワード】反張膝・ぶんまわし等	市村真樹	P367～	206
第14回 7月4日	上肢動作の基礎運動学 【キーワード】手指・手・肘・肩・肩甲骨の関節	市村真樹	配布資料	206
第15回 7月10日	上肢動作の解釈 【キーワード】リーチと把持の協調・上肢の役割と意味	市村真樹		OT実習室23
第16回 7月16日	まとめと復習	市村真樹		206
定期試験 7月24日	筆記試験 (5択、記述、記号選択、その他)			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動生理学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美	生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、運動学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、身体障害作業療法評価学実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。臨床現場での経験を基に、作業療法に関連する運動生理学的知識を実技を通して理解します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体の状態を運動生理学的に理解できる					
行動目標（SBO）	1. 関節運動とそれに伴う筋活動について理解できる 2. 人体における重心移動が理解できる 3. 姿勢反射が理解できる 4. 歩行、基本動作、ADL動作を観察して運動学的に分析できる 5. 姿勢や動作の観察をし、図や文章で表現できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、運動学・生理学で学んだ知識を実習を通して深めます。関節運動、関節運動時に作用する筋などの知識がベースとなりますのでよく復習してください。授業内で測定や観察して得られた情報をもとに考察を深めていきます。わからない部分はそのままにせず質問し、考察が深められるようにしてください。						
教科書・参考書						
教科書：PT・OTのための運動学テキスト（金原出版） 参考書：標準理学療法学作業療法学 解剖学（医学書院）、標準作業療法学 作業療法評価学第3版（医学書院）、標準理学療法学・作業療法学：専門基礎分野、生理学 第6版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
指定のポロシャツで参加してください。授業内容によっては、ハーフパンツなどの指定をさせていただきます。実技が多くなりますので、欠席しないように努めてください。欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行いましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	授業で実施した実験の測定結果や考察を記載する課題を出します。採点基準は、十分な量が記載されていること、丁寧に記載していること、適切な内容が記載されていることです。 授業に真面目に取り組んでいることが確認できる内容であることを求めます。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション 授業を進めるために必要な知識の復習 【KW】主動筋、拮抗筋、求心性収縮、遠心性収縮、静止収縮、重心、スティックピクチャー	間瀬	解剖学P173 生理学 P59-60	OT実習室 2・3
第2回	骨格筋の理解 1 動作時の筋活動について理解する 【KW】主動筋、拮抗筋	間瀬	運動学 P33-53	OT実習室 2・3
第3回	骨格筋の理解 2 筋収縮の様態の違いを理解し、観察する 【KW】求心性収縮、遠心性収縮、静止収縮	間瀬	運動学 P536-547	OT実習室 2・3
第4回	姿勢の観察 姿勢の観察ポイントを理解する 【KW】ランドマークの観察、重心線	間瀬	運動学 P343-365	OT実習室 2・3 * ハーフパンツ
第5回	重心と支持基底 動作における重心移動の理解 【KW】重心、重心移動、支持基底	間瀬	運動学 P343-365	OT実習室 2・3
第6回	運動によるバイタルサインの変化 運動負荷による血圧・脈拍数の変化を測定する 【KW】運動負荷、血圧、脈拍	間瀬	配布資料	OT実習室 2・3 * ストップウォッチ
第7回	バランス反応（平衡反応）の観察 成人で見られる姿勢の反応を理解する 【KW】パラシュート反応、防御反応、傾斜反応	間瀬	作業療法評価学 P138-150 配布資料	OT実習室 2・3
第8回	動作観察：粗大動作 粗大な動作を運動学的に分析する 【KW】動作の相、関節運動の観察	間瀬	運動学 P489-498	OT実習室 2・3
第9回	動作観察：上肢の動作 リーチ動作を観察して運動学的に分析する 【KW】リーチ、リーチ中の関節の役割、運動方向の観察	間瀬	運動学 P136	OT実習室 2・3 * スマートフォン
第10回	動作観察：手指の動きと把持① 手指の様々な形態を観察する 【KW】把持、手の構え、つまみの分類、手の動きと形	間瀬	運動学 P161-164 配布資料	OT実習室 2・3 * 物品
第11回	動作観察：手指の動きと把持② 手指の様々な形態を観察する 【KW】把持、手の構え、つまみの分類、手の動きと形	間瀬	運動学 P161-164 配布資料	OT実習室 2・3 * 物品
第12回	ADLと関節可動域 ADL動作における上肢の関節可動域を検証する 【KW】ADL、関節可動域、肩関節、肘関節	間瀬	運動学P128、 136-137	OT実習室 2・3 * ゴニオメーター
第13回	歩行 歩行周期と筋活動を理解する 【KW】歩行周期、遊脚相、立脚相、関節角度変化、筋活動	間瀬	運動学 P367-392	OT実習室 2・3 * ゴニオメーター、 スマートフォン
第14回	運動学習 運動学習の理論を理解する 【KW】結果の知識、メンタルプラクティス	間瀬	運動学 P63-87	OT実習室 2・3 * 新聞紙、ビニール袋
第15回	本科目のまとめ 本科目で学んだ内容を理解する	間瀬	科目全体のテキスト、配布資料	OT実習室 2・3
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	鈴木 淳(非常勤)	解剖学Ⅰ、生理学Ⅱ、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	内科学における症候学、診断、治療を理解する					
行動目標(SBO)	血液・造血器疾患、代謝性疾患、内分泌系疾患、腎・泌尿器系疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医学の中心的学問である。内科学における症候学、診断、治療を理解するとともに、リハビリテーション専門職として理学・作業療法の実践やリスク管理に必要な知識を習得する。内科学の思考過程を理解するとともにリハビリテーション学との関連性について理解する。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版. (医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、毎週金曜日の3時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/4	血液・造血器疾患①	鈴木		講堂
第2回 4/11	血液・造血器疾患②	鈴木		講堂
第3回 4/18	感染症疾患①	鈴木		講堂
第4回 4/25	感染症疾患②	鈴木		講堂
第5回 5/2	代謝性疾患①	鈴木		講堂
第6回 5/9	代謝性疾患②	鈴木		講堂
第7回 5/16	内分泌系疾患①	鈴木		講堂
第8回 5/23	内分泌系疾患②	鈴木		講堂
第9回 6/6	腎・泌尿器疾患①	鈴木		講堂
第10回 6/13	腎・泌尿器疾患②	鈴木		講堂
第11回 6/20	RA	鈴木		講堂
第12回 6/27	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全①	鈴木		講堂
第13回 7/4	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全②	鈴木		講堂
第14回 7/11	中毒および環境要因による疾患・皮膚疾患	鈴木		講堂
第15回	内科疾患とリハビリテーション、第1回～第14回の復習 等	専任教員		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	青木 秀剛(非常勤) 金井 玉奈(非常勤)	解剖学Ⅰ、生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、病理学 他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	担当教員は医師です。医療施設での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	消化器 および 呼吸・循環器 疾患 の 病態 を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 消化管疾患 2. 胆管膵疾患 3. 呼吸器疾患 4. 循環器疾患 の 症候・病態生理・検査・治療 を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
近年、リハビリテーションの範囲は、呼吸器疾患、循環器疾患、がんなどの内科的疾患に拡大している。また、高齢化の影響で、脳卒中や骨折のケースにおいても内科的疾患の合併症を持つものが少なくない。このような背景から、PT・OTにとって内科学は必要不可欠な知識であるといえる。 この授業で学ぶ疾患の病態を理解し、安全なリハビリテーションを実施するための土台として欲しい。						
教科書・参考書						
【教科書】 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
消化器疾患は、第1回～第5回。(担当:青木) 呼吸・循環器疾患は第6回以降。(担当:金井)						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な態度などは減点の対象とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 10月2日	消化管疾患1: 解剖と生理、症候、検査 (消化管の役割、消化管の解剖、腹痛、吐気、嘔吐 等)	青木		講堂
第2回 10月17日	消化管疾患2: 食道疾患・胃疾患 (食道炎、食道癌、胃炎、胃潰瘍、食道癌 等)	青木		講堂
第3回 11月6日	消化管疾患3: 腸疾患 (感染性腸炎、虫垂炎、炎症性腸疾患、大腸癌 等)	青木		講堂
第4回 11月21日	肝胆膵疾患1: 総論、膵臓疾患 (急性膵炎、慢性膵炎、膵臓癌 等)	青木		講堂
第5回 12月4日	肝胆膵疾患2: 肝疾患 (ウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓癌 等)	青木		講堂
第6回 11月5日	呼吸器疾患1: 肺の解剖と生理・検査・症候 (気管支・肺の構造、ガス交換、ガスの運搬、呼吸運動 等)	金井		講堂
第7回 11月5日	呼吸器疾患2: 肺の解剖と生理・検査・症候 (肺機能検査、換気障害の分類、酸素解離曲線 等)	金井		講堂
第8回 11月12日	呼吸器疾患3: 肺の解剖と生理・検査・症候 (呼吸調節機構、酸塩基平衡、咳嗽、呼吸困難感、咯血 等)	金井		講堂
第9回 11月12日	呼吸器疾患4: 感染性肺疾患、閉塞性肺疾患 他 (インフルエンザ、肺炎、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息 等)	金井		講堂
第10回 11月19日	呼吸器疾患5: 肺腫瘍、肺循環傷害、胸膜の疾患 他 (肺がん、肺血栓塞栓症、肺性心、自然気胸、胸膜中皮腫 等)	金井		講堂
第11回 11月19日	循環器疾患1: 循環器系の解剖と生理・検査・症候 (体循環・肺循環、心臓の構造、冠状動脈、刺激伝導系、リンパ 等)	金井		講堂
第12回 11月26日	循環器疾患2: 循環器系の解剖と生理・検査・症候 他 (心拍出量、心機能調節、血圧測定、圧受容器反射、心電図波形 等)	金井		講堂
第13回 11月26日	循環器疾患3: 高血圧症、虚血性心疾患 他 (本態性高血圧、二次性高血圧、心筋梗塞、狭心症 等)	金井		講堂
第14回 12月3日	循環器疾患4: 弁膜症、心不全、不整脈 他 (僧帽弁狭窄症、大動脈弁狭窄症、心不全、心房細動、期外収縮 等)	金井		講堂
第15回 12月3日	呼吸器・循環器疾患: 新型コロナウイルス(合併症含む) (体位性頻脈症候群、循環器疾患)	金井		講堂
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	神経内科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	栗田 正、内田成男	解剖学Ⅱ、生理学、脳神経外科学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。 第15回は学内教員が担当します。医療機関での理学療法の経験を基に、リハビリテーションと関連の深い部分について授業します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	神経症候および主な神経疾患の病態と診断、治療について理解を深め、対象疾患に対する評価法と基本的なリハビリテーション治療への理解を深めることを目標としている。					
行動目標 (SBO)	以下の事項を行動目標とする。 1) 神経系の機能解剖について説明できる。 2) 主な神経学的検査法を理解し、実践できる。 3) 主要な神経症候を理解し説明できる。 4) 主要な神経・筋疾患について理解する。 5) 主要な神経・筋疾患のリハについて考えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法(士)・作業療法(士)の対象疾患として、神経・筋疾患は重要な疾患群であり、適切な理学療法、作業療法を実践するためには、これらの疾患群に対する十分な知識が求められます。 理解を深めるためには、神経系、特に中枢神経系の機能解剖と主な疾患の関係性を踏まえて学習を進めてください。また、実際の症候がどのような意味を持つのかを考えながら、主要な神経疾患の特徴を把握できるようにしましょう。分からないことは積極的に質問できるようにしましょう。						
教科書・参考書						
【教科書】川平 和美(編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第6版, 医学書院 【参考図書】医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経 第2版, メディックメディア, 2017						
受講時留意点、その他						
積極的な受講態度で授業に臨んでください。教科書を中心にしっかりと予習・復習をしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/10	コースオリエンテーションと中枢神経系の機能解剖 授業の目標と進め方について解説する。中枢神経系の機能解剖および可塑性について理解する。【キーワード】中枢神経系、伝導路、脳血管系、情報処理、可塑性	栗田	p4-31	講堂
第2回 4/10	神経学的診断法 : 神経学的診察と障害、画像診断、神経生理学的検査法などの要点を理解する。【キーワード】髄膜刺激症状、反射、協調運動、CTとMRIの特徴、神経伝導検査、筋電図、血液生化学検査など	栗田	p34-66	講堂
第3回 4/24	神経症候学① : 意識障害・脳死、頭痛・めまい・失神、運動麻痺、筋萎縮、錐体外路症候、不随意運動の概要を学ぶ。【キーワード】傾眠～昏睡、JCS・GCS、運動ニューロン障害、筋緊張(痙縮と固縮)・他	栗田	p68-90	講堂
第4回 4/24	神経症候学② : 運動失調、感覚障害および高次脳機能障害(失語症)の概要を学ぶ。【キーワード】運動失調(脊髄性、小脳性など)、特殊感覚、体性感覚(表在・深部)、失語症、他	栗田	p91-116	講堂
第5回 5/8	神経症候学③ : 高次脳機能障害(失認、失行、記憶)の概要を学ぶ。【キーワード】半側空間無視、身体失認、観念運動失行、観念失行など、運動維持困難、短期記憶、長期記憶、健忘など	栗田	p117-139	講堂
第6回 5/8	神経症候学④ : 高次脳機能障害(注意、遂行機能)、構音障害、嚥下障害、脳神経外科領域の概要を学ぶ。【キーワード】注意、遂行機能、構音障害、嚥下の相、球麻痺、仮性球麻痺、脳ヘルニアなど	栗田	p140-166	講堂
第7回 5/15	各論① : 脳血管障害の病態、分類、診断、医学的治療について学ぶ。【キーワード】NINDSⅢ分類、脳梗塞・脳出血、画像診断、急性期治療、rt-PA療法、外科的・保命的治療、合併症など	栗田	p168-196	講堂
第8回 5/15	各論② : 外傷性脳挫傷、認知症の概要について学ぶ。【キーワード】外傷性脳挫傷、急性・慢性硬膜下血腫、びまん性軸索損傷、認知症鑑別診断、BPSD、Alzheimer病など	栗田	p205-211 p227-246	講堂
第9回 6/12	各論③ : 錐体外路の変性疾患(パーキンソン病、SCD、MSA)などについて学ぶ。【キーワード】パーキンソン病4大徴候、Hoehn and Yahr重症度分類、薬物療法、症候性パーキンソニズム、SCD、MSA 他	栗田	p247-262	講堂
第10回 6/12	各論④ : その他の変性疾患、脱髄疾患、末梢神経障害について学ぶ。【キーワード】ALS、多発性硬化症、各種の末梢神経障害、他	栗田	p263-277	講堂
第11回 6/26	各論⑤ 主要な筋疾患について学ぶ。【キーワード】てんかん、筋ジストロフィー(特にDuchenn型)、重症筋無力症、多発性筋炎、他	栗田	p278-294	講堂
第12回 6/26	各論⑥ 感染性疾患、中毒・栄養欠乏による神経疾患について学ぶ。【キーワード】髄膜炎、脳炎、クロイツフェルト・ヤコブ病、HAM、HIV、ポリオ、中毒性疾患、ウェルニッケ脳症、他	栗田	p295-308	講堂
第13回 7/10	各論⑦ 小児神経疾患(脳性麻痺、発達障害)、神経疾患に多い合併症、排尿障害等について学ぶ。【キーワード】脳性麻痺の原因・診断・分類、Down症、自閉症スペクトラム症、注意欠如多動症、廃用症候群と誤用症候群、排尿のメカニズム、神経因性膀胱、他	栗田	p309-325 p334-350	講堂
第14回 7/10	確認と復習Ⅰ: 第1回～13回までの講義のまとめ・重要事項の確認、質疑応答を含めた総合討論。(まとめ)	栗田		講堂
第15回 7/17	確認と復習Ⅱ: 第1回～13回までの講義のまとめ・重要事項の確認、質疑応答を含めた総合討論。(まとめ)	内田		講堂
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	福塚 邦太郎（非常勤）	解剖学Ⅱ、整形外科学Ⅱ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	整形外科の概論、検査、治療法を学習する。					
行動目標（SBO）	検査法、治療法、炎症性疾患、代謝・内分泌疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
整形外科の概論を理解するとともに、検査（画像含む）、治療法（保存的、手術、薬物）等の概略を学習する。また、疾患ごとの各論を学び、臨床に即した知識の整理をする。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第4版。（医学書院）						
受講時留意点、その他						
前期、毎週水曜日4時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
（合計）	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/2	整形外科基礎知識	福塚		講堂
第2回 4/9	運動器の評価および検査法	福塚		講堂
第3回 4/16	整形外科的治療法	福塚		講堂
第4回 4/23	炎症性疾患(感染・関節リウマチ等)	福塚		講堂
第5回 4/30	代謝・内分泌性疾患	福塚		講堂
第6回 5/7	退行性疾患(変形性関節症)	福塚		講堂
第7回 5/14	先天性骨・関節疾患・骨端症	福塚		講堂
第8回 5/21	循環障害と壊死性疾患	福塚		講堂
第9回 5/28	骨・軟部腫瘍	福塚		講堂
第10回 6/4	神経・筋疾患	福塚		講堂
第11回 6/11	脊椎の疾患①	福塚		講堂
第12回 6/18	脊椎の疾患②	福塚		講堂
第13回 6/25	脊髄損傷	福塚		講堂
第14回 7/2	切断および離断	福塚		講堂
第15回 7/9	総合演習	福塚		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学Ⅱ	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	平野圭司 木島文博 河野開紀 佐藤達郎 矢野史哉	解剖学Ⅱ、運動学Ⅰ、整形外科学Ⅰ 他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	外傷性疾患の病態を学び、検査方法や治療方法を理解する。					
行動目標（SBO）	1. 外傷性疾患の病態生理、原因、症候 を学ぶ。 2. 外傷性疾患の検査方法（画像含む）、治療方法を学ぶ。 3. 外傷性疾患におけるリハビリテーションの関わりを学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
整形外科はリハビリテーションとは最も関わりの深い診療科である。その中でもこの授業で学ぶ外傷性疾患はリハビリテーションの必要性が非常に高い疾患といえる。この講義で外傷性疾患についての基礎知識を十分に身につけ、理学療法あるいは作業療法の治療学につなげてもらいたい。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 整形外科学 第5版(医学書院)						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 10/4 1限	関節における外傷性疾患① 捻挫と脱臼・上肢 関節の基本構造・捻挫と脱臼・肩関節脱臼・肩峰下症候群・肘内障 他	佐藤	13章	205・206
第2回 10/4 2限	関節における外傷性疾患② 下肢 股関節脱臼・膝半月板損傷・膝蓋骨亜脱臼・膝蓋骨脱臼 他	佐藤	13章	205・206
第3回 10/11 1限	末梢神経における外傷性疾患① 末梢神経麻痺 腕神経叢麻痺・橈骨神経麻痺・正中神経麻痺・総腓骨神経麻痺 他	木島	14章	205・206
第4回 10/11 2限	末梢神経における外傷性疾患② 絞扼性神経障害・その他の神経障害 胸郭出口症候群・肘部管症候群・複合性局所疼痛症候群 他	木島	14章	205・206
第5回 10/18 1限	骨折① 上肢の骨折 上腕骨近位端部骨折・上腕骨顆上骨折・橈骨遠位端骨折 他	矢野	11章	205・206
第6回 10/18 2限	骨折② 下肢の骨折 大腿骨近位部骨折・膝蓋骨骨折・下腿骨骨折・踵骨骨折 他	矢野	11章	205・206
第7回 10/25 1限	骨折③ 骨折とは 骨折の分類・症状および診断・合併症・治療の基本原則 他	河野	11章	205・206
第8回 10/25 2限	骨折④ 体幹の骨折 鎖骨骨折・肋骨骨折・脊椎椎骨骨折 他	河野	11章	205・206
第9回 11/1 1限	末梢神経における外傷性疾患③ 神経損傷とは 神経損傷の原因と分類・臨床症状と検査法・神経損傷の治療	平野	14章	205・206
第10回 11/1 2限	熱傷 受傷機転・年齢・部位・熱傷の深度・熱傷面積・熱傷の病態 他	平野	18章	205・206
第11回 11/8 1限	腱・靱帯における外傷性疾患① 筋・腱・靱帯の損傷・上肢 筋・腱損傷・靱帯損傷・肩腱板断裂・指の屈筋腱損傷 他	木島	15章	205・206
第12回 11/8 2限	腱・靱帯における外傷性疾患② 下肢 前十字靱帯損傷・後十字靱帯損傷・アキレス腱断裂・足靱帯損傷 他	木島	15章	205・206
第13回 11/22 1限	スポーツ傷害① スポーツ傷害とは・急性外傷 応急処置(RICE等)・肩関節周囲・手指・頸部・腰部 他	木島	16章	205・206
第14回 11/22 2限	スポーツ傷害② 慢性外傷(スポーツ障害) 肩関節周囲・肘関節・腰部・膝関節部 他	木島	16章	205・206
第15回 11/29 1限	外傷性疾患のまとめ 骨折、神経損傷、靱帯損傷 等(第1回～第14回の復習・まとめ)	平野		205・206
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	小児科学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	佐藤 博美(非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法および作業療法の臨床に必要な小児疾患の基礎知識を習得する。					
行動目標(SBO)	新生児・未熟児疾患、先天異常、神経疾患 ほか					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学および作業療法の臨床に必要な、小児の成長と発達、小児保健、新生児・未熟児・小児期の疾患に対する基礎知識を習得する。 授業方法は、教科書、配布資料を基にした講義、ワークを予定。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第6版。(医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、木曜日 1限に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/3	小児科学概要・診断と治療の概要	佐藤		講堂
第2回 4/10	新生児・未熟児疾患	佐藤		講堂
第3回 4/24	先天異常と遺伝病	佐藤		講堂
第4回 5/1	神経疾患(1)	佐藤		講堂
第5回 5/8	神経疾患(2)	佐藤		講堂
第6回 5/15	神経疾患(3)、筋・骨疾患	佐藤		講堂
第7回 5/29	心身症・神経症・発達障害・重症心身障害児	佐藤		講堂
第8回 6/5	呼吸器疾患・循環器疾患	佐藤		講堂
第9回 6/12	感染症	佐藤		講堂
第10回 6/19	消化器疾患、内分泌・代謝疾患	佐藤		講堂
第11回 6/26	免疫・アレルギー疾患、膠原病、血液疾患	佐藤		講堂
第12回 7/3	腎・泌尿器・生殖器疾患、腫瘍性疾患、眼科・耳鼻科的疾患	佐藤		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	望月 美和	精神医学Ⅰ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	精神医学における症候学、診断、治療を理解する。					
行動目標(SBO)	脳器質性精神障害、統合失調症 ほか					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神医学における症候学、診断、治療を理解し、理学療法・作業療法との関連性の理解を深める。特に教科書の第1章～第9章までを学ぶ。						
教科書・参考書						
上野武治／編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版. 医学書院						
受講時留意点、その他						
前期、木曜日3・4限に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/3 3限	精神医学とは 精神障害の成因と分類	望月先生		講堂
第2回 4/3 4限	精神機能の障害と精神症状 精神障害の診断と評価	望月先生		講堂
第3回 4/17 3限	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第4回 5/1 3限	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第5回 5/1 4限	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第6回 5/15 2限	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第7回 5/29 3限	症候性精神障害	望月先生		講堂
第8回 5/29 4限	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第9回 6/5 3限	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第10回 6/5 4限	てんかん	望月先生		講堂
第11回 6/19 2限目	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第12回 7/3 3限目	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第13回 7/3 4限	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第14回 7/17 2限目	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第15回 7/17 3限目	国家試験問題について	望月先生		講堂
定期試験				

1限 9:00～10:30

2限 10:40～12:10

3限 13:00～14:30

4限 14:40～16:10

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	脳神経外科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	田沼 明、殷 祥洙、諸岡 暁、伏屋 洋志、 武中 真衣、内田 成男	解剖学Ⅰ、Ⅱ、病理学、神経内科学、リハビリ概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。第1・2・15回は内田(理学療法士)が担当します。医療機関での経験に基き、リハビリテーション関係の授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	神経系の機能解剖、神経学的検査、高次脳機能障害の基礎知識を再確認する。また、主要な対象疾患について理解を深め、リハビリテーション医療における評価と治療を考えることができることを目標とする。					
行動目標(SBO)	1)神経系の機能解剖と神経学的検査法(画像診断など)について理解を深める。 2)神経症候(高次脳機能障害・頭蓋内圧亢進・脳浮腫など)について理解を深める。 3)脳血管障害の分類と治療および廃用症候群について理解を深める。 4)主要な脳神経外科疾患(脳腫瘍・外傷性脳損傷)について理解を深める。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法(士)・作業療法(士)の対象疾患として、脳・脊髄疾患の理解は極めて重要であり、機能解剖を基づいて特有の症候・病態を理解する。また、主要疾患である脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷等の症候、診断、脳外科的治療について学び、リハビリテーション医療との関連性を考える。						
教科書・参考書						
【教科書】①川平和美(編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版, 医学書院, 2019 ②医療情報科学研究所:病気がみえるvol7.脳・神経 第2版, メディックメディア, 2017						
受講時留意点、その他						
積極的な受講態度で授業に臨んでください。教科書を中心にしっかりと予習・復習をしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。				
(合計)	100					

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	中枢神経系の解剖と機能① 神経系の構成・発達・中枢神経系の構造 【KW】神経系の分類、大脳、間脳、小脳、脳幹、脊髄、脳血管		p14-31 p2-7、 22-67	講堂
第2回	中枢神経系の解剖と機能② 脳室、中枢神経系の機能、可塑性 【KW】脳脊髄液、脳室、機能局在、伝導路、可塑性、機能回復		p14-31 p22-67	講堂
第3回	高次脳機能障害の理解① 失語症 【KW】失語症、失語症の分類、言語中枢、失語症の評価(SLTA・他)		p107-119 p157-163	講堂
第4回	高次脳機能障害の理解② 失認(半側空間無視:USNを中心に) 【KW】失認の分類、視空間失認、ゲルストマン症候群、USNの評価=BIT		p120-128 p36-37	講堂
第5回	高次脳機能障害の理解③ 失行 【KW】観念運動失行、観念失行、肢節運動失行、着衣失行、他		p129-136 p38-39	講堂
第6回	神経学的検査法:画像診断、筋電図検査を中心に 【KW】X線、CT、MRI、MRA、筋電図、神経伝導検査、脳波		p51-61 p50-55、 560-583	講堂
第7回	脳血管障害① 頭蓋内出血(脳出血・くも膜下出血) 【KW】被殻出血、視床出血、脳幹出血、小脳出血		p173-187 p110-147	講堂
第8回	脳血管障害② 脳梗塞 【KW】アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、ラクナ梗塞		p173-187 p74-109	講堂
第9回	脳神経外科領域疾患の代表症候 【KW】頭蓋内圧亢進、脳浮腫、脳ヘルニア、髄膜刺激症状		p164-169 p182-189	講堂
第10回	脳血管障害③ 急性期の治療 【KW】急性期の検査、診断、全身管理、ペナンプラ、rt-PA、その他		p173-187 p89-95	講堂
第11回	脳血管障害④ 回復期の治療とリハビリテーション 【KW】脳の可塑性、チーム医療、理学療法・作業療法、嚥下機能訓練、他		p187-203 p148-156	講堂
第12回	脳腫瘍 【KW】脳腫瘍の分類、診断、神経膠腫、髄芽腫、髄膜腫、神経鞘腫、他		p224-230 p496-529	講堂
第13回	外傷性脳損傷 【KW】診断と分類、頭蓋内血腫、脳挫傷、びまん性軸索損傷、他		p231-237 p530-547	講堂
第14回	廃用症候群・誤用症候群・合併症 【KW】筋萎縮、関節拘縮、沈下性肺炎、起立性低血圧、褥瘡、認知症、他		p339-359	講堂
第15回	まとめ:科目全体を振り返り、脳神経外科のリハビリテーションについて考える。			講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	薬理・栄養と健康	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	倉田衣津子・佐藤哲守・金井玉奈 (非常勤)	生理学Ⅰ・Ⅱ、解剖学Ⅰ・Ⅱ、運動生理学実習 スポーツ科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次後期	この授業は外部講師による講義を予定しています。医療施設での各職種の実務経験を基に、薬理・栄養学を理解し、健康維持の基礎的な考え方を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	医療従事者としての薬理・栄養学を理解し、健康維持の基礎的な考え方ができる。 心肺蘇生とAEDについての知識と技術を修得する。					
行動目標 (SBO)	・薬理作用、副作用および普通薬、劇薬、毒薬の違いを説明できる ・臨床で用いられる代表的な薬の作用について説明できる ・栄養素の種類や機能について学び、理解することができる ・リハビリテーションと栄養の関わりについて理解することができる ・心肺蘇生とAEDの基礎知識を理解する ・心肺蘇生の実技を修得する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本講義では、医療従事者として必要な薬理学と栄養学の基礎に加え、救急救命、健康維持について学びます。高齢化社会で、様々な疾病を患い、薬物治療や栄養指導などを受ける患者さんが多くなっていくことが予想されます。医療従事者として、薬の投薬により、作用・反作用が起き、患者の生活に影響することもあることから、十分な知識を持ってほしいと思います。また、栄養は、健康と深い関わりを持ち、食べ物を通して、人の健康状態に影響を与えるものです。						
教科書・参考書						
教科書：CPR&AED TEXT&NOTEBOOK 国際救急救命協会						
参考書：①コメディカルのための薬理学 第二版 渡辺泰秀 樋口マキエ 編集 朝倉出版						
②健康づくりの栄養学 小林修平						
受講時留意点、その他						
生理学、解剖学をベースとして、学んでいきます。適宜、基礎科目の復習をしながら、理解を進めていきましょう。 実習の前後には必ず手洗い、消毒をし、衛生管理をしっかりとしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	70	各授業（栄養・薬理）に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する。 提出期限はその都度提示する。提出が遅れた場合、受け付けない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	30	救急法の筆記テストを行う。（30点分）				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 ※	CPR + AED 講義1 成人の究明の連鎖。ポケットマスク、1人法BLS	佐藤先生	配布資料	講堂
第2回 ※	CPR + AED 講義2 AED、バッグマスク	佐藤先生	配布資料	講堂
第3回 ※	CPR + AED 実技1 2人法BLS、口対口人口呼吸、チームダイナミクス	佐藤先生	配布資料	講堂
第4回 ※	CPR + AED 実技2 小児乳児のBLS、窒息の解除	佐藤先生	配布資料	講堂
第5回 10月10日	リハビリテーションと栄養 栄養の基礎、栄養素の種類、サルコペニア	倉田先生	配布資料	講堂
第6回 10月10日	栄養状態の評価 身体計測、フレイル、低栄養のリスク	倉田先生	配布資料	講堂
第7回 12月10日	薬理学および薬物療法の概念、薬物の作用機序、薬物の相互作用	金井先生	配布資料	講堂
第8回 12月10日	リハビリテーションに関わる代表的な薬理	金井先生	配布資料	講堂

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	運動学Ⅰ・Ⅱ、身体障害作業療法評価学実習、中枢神経障害作業療法学・実習、整形外科疾患作業療法学、臨床実習、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、身体障害領域で様々な疾患に共通して用いられる基本的な評価を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域で広く使われる検査及び評価の方法を理解する					
行動目標（SBO）	1.身体障害領域の作業療法で用いる評価を挙げられる。 2.身体障害領域で共通して用いる検査・評価の実施方法と結果の解釈が理解できる。 3.身体障害領域の作業療法評価計画立案の方法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、疾患・障害を問わず身体障害領域でよく用いられる評価方法を学びます。身体障害領域の各論講義すべての基礎となる授業ですので、十分に理解してください。講義を中心として、一部、実技を交えながら行います。関節可動域測定・徒手筋力検査法の実技は「作業療法評価学実習」で主に行いますので、本科目で基礎知識を理解して臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第4版(医学書院)、新・徒手筋力検査法（第10版）、配布資料 参考図書：PT・OTのための運動学テキスト(金原出版)						
受講時留意点、その他						
欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 運動・解剖・生理学の予習（1年次の復習）項目をお知らせしますので、基礎知識を確認して受講してください。実技を行う際には、被験者への敬意を持って接し、感染対策に努めてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60点以上が合格の基準点である。試験範囲は、第1回から第15回の講義及び、参照した教科書の記載内容である。				
小テスト	0	単元終了ごとに、各自の理解度を確認する目的で実施する。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、被験者への敬意に欠く態度など、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・バイタルサインの測定 作業療法におけるバイタルサインの評価の意義を理解する 【KW】血圧測定・脈拍計測・呼吸の評価	市村	pp3-19,53-58	OT実習室 2・3/ ストツ ブウォッチ
第2回	関節可動域測定 病的な関節可動域の評価を理解する 【KW】関節運動の種類・関節可動域制限の種類・拘縮の機序・関節可動域測定の基礎	市村	pp72-95	206/ ゴニオ メーター
第3回	筋力評価 筋力評価の基礎とMMTの検査法を理解する 【KW】筋力の定義・MMT * 事前に、筋の起始停止を復習しておく	市村	pp96-111 MMT	206
第4回	知覚の評価 知覚機能の基礎と知覚の障害【KW】感覚の種類・感覚受容器・知覚検査の目的・知覚障害を起こす疾患 * 事前に、上行性伝導路、感覚の種類を復習しておく。	市村	pp114-120 解剖生理学	OT実習室 2・3
第5回	知覚の評価 知覚検査の実際（講義と実技） 【KW】SWM, 防御知覚検査、深部覚検査 * 各知覚障害の検査が実施できるよう復習する	市村	pp120-128	OT実習室 2・3
第6回	知覚の評価・筋緊張評価 知覚検査の実際（講義と実技）と筋緊張の基礎 【KW】複合知覚検査・筋緊張・深部腱反射・αγ連関・I b抑制 * 事前に、深部腱反射（運動学）の復習をしておく。	市村	pp120-128, 130-138, 151-159	OT実習室 2・3/ ストツ ブウォッチ 他
第7回	反射検査・筋緊張評価 反射検査（講義と実技）と筋緊張評価【KW】腱反射検査・病的反射検査・MAS * 病的反射と筋緊張評価の方法を覚える。腱反射検査が実施できるよう復習する。	市村	pp130-138, 151-159	OT実習室 2・3/ 打腱 器
第8回	上肢機能評価 上肢機能の基礎と評価の概要・代表的な検査を理解する 【KW】上肢機能とは・リーチと把持の観察・検査の種類 * 事前に、上肢の運動学を復習しておく。	市村	pp204-212	OT実習室 2・3
第9回	上肢機能評価 STEF,MAL,MFTの検査方法を理解する（講義と実技） 【KW】STEF,MAL,MFT * STEF,MALの検査の実施と結果の解釈ができるよう復習する	市村	pp204-212	OT実習室 2・3/ ストツ ブウォッチ
第10回	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射およびバランス保持の機構を理解する【KW】姿勢反射・姿勢制御システム・バランスとは * 事前に、姿勢反射と姿勢制御システムの運動学を復習しておく。	市村	pp138-150, 運動学テキスト	OT実習室 2・3
第11回	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射検査とバランスの評価方法を理解する【KW】立ち直り反応・平衡反応・重心移動・観察・TUG・FR * 自発的の重心移動によるバランス評価が行えるよう復習する。	市村	pp138-150, 運動学テキスト	OT実習室 2・3
第12回	協調性の評価 失調症状と協調性評価の方法を理解する（講義と実技） 【KW】協調運動障害・協調性検査・ロンベルグ徴候 * 事前に、小脳の機能を復習しておく。症状と検査名を覚える。	市村	pp160-167	OT実習室 2・3
第13回	認知機能の評価 認知機能の基礎と認知症スクリーニング検査（講義と実技） 【KW】認知機能とは・中核症状・周辺症状・HDS-R・MMSE * HDS-RとMMSEの特徴・検査方法・判定方法を覚える	市村	pp446-448	OT実習室 2・3
第14回	認知機能の評価 全般的認知機能の検査を理解する（講義と実技） 【KW】コース立方体組み合わせテスト・WAISⅢ * コース立方体組み合わせテストの実施方法と目的を理解する	市村	pp446-448	OT実習室 2・3/ ストツ ブウォッチ
第15回	評価項目の選択と評価計画立案 評価の選択と結果の解釈を理解する 【KW】評価法の対象・評価の目的・評価結果の解釈・ゴール設定 * 対象者の疾患と状態に応じた評価の選択方法を復習する。	市村	pp13-19	206
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 間瀬亜由美 鈴木亮太					
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、身体障害領域において一般的に使用される作業療法評価技術について教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域で用いる基礎的な評価の技術を確実に身に着ける					
行動目標（SBO）	1．対象者を想定して、血圧測定ができる 2．対象者を想定して、関節可動域測定ができる 3．対象者を想定して、徒手筋力検査法による筋力測定ができる 4．対象者を想定して一般的なコミュニケーションをとることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
身体障害領域の作業療法でよく用いられる血圧測定、関節可動域測定、徒手筋力検査法の基本的な実施方法を学ぶとともに、対象者を想定して実施できることを目的とします。各技法は実技確認も行いますので、授業で学んだことをよく練習してください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院） 新徒手筋力検査法（第10版）（協同医書出版） 参考書：PT・OTのための運動学テキスト（金原出版株式会社）ほか（授業で指示します）						
受講時留意点、その他						
身だしなみを整え、学校指定のケーシーまたはポロシャツを着用し出席してください。 関節可動域測定、徒手筋力検査法に関しては事前に動画を配信します。授業は動画での予習を前提に進めますので、必ず確認した上で授業に臨んでください。また、実技の習得に向けて復習、練習を積極的に行うようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験	100%	4回の実技確認を行い、評価に含める。 1)血圧測定（20%） 2)関節可動域測定（30%） 3)一般的面接（20%） 4)徒手筋力検査法（30%）				
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>授業オリエンテーション</u> <u>血圧測定の実際・演習</u> 【KW】収縮時血圧・拡張期血圧	鈴木	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2・3
第2回	<u>関節可動域測定 総論・肩関節</u> 【KW】関節の構造、基本軸・移動軸、他動運動、関節可動域測定 肩関節屈曲・伸展・内転・外転・内旋・外旋	鈴木 間瀬	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第3回	<u>血圧測定 実技確認</u>	鈴木	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2・3
第4回	<u>血圧測定フィードバック 関節可動域測定 肩関節・肘関節</u> 【KW】：肩関節水平屈曲・水平伸展、肘関節屈曲・伸展、	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第5回	<u>関節可動域測定 前腕・手関節・母指</u> 【KW】前腕回内・回外、手関節屈曲・伸展・橈屈・尺屈	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第6回	<u>関節可動域測定 手指</u> 【KW】母指橈側外転・尺側内転・掌側外転、MP関節屈曲・伸展・内 転・外転、PIP関節屈曲・伸展DIP関節屈曲・伸展	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第7回	<u>関節可動域 股関節</u> 【KW】股関節屈曲・伸展・内転・外転・内旋・外旋	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第8回	<u>関節可動域 膝関節・足関節</u> 【KW】：膝関節屈曲・伸展、足関節屈曲・伸展・外がえし・内がえし 外転・内転	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第9回	<u>実技確認オリエンテーション・四肢の関節可動域測定の演習</u>	鈴木	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第10回	<u>関節可動域測定 実技確認</u> 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第11回	<u>関節可動域測定 実技確認</u> 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第12回	<u>関節可動域測定 実技確認フィードバック 演習</u>	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第13回	<u>関節可動域測定 体幹</u> 【KW】：頸部屈曲・伸展・回旋・側屈、胸腰部屈曲・伸展・回旋・側屈	市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第14回	<u>関節可動域測定：その他の検査法</u> 【KW】肩関節外旋・内旋・内転、母指対立、手指、胸腰部	市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2・3
第15回	<u>コミュニケーション技法演習</u> 【KW】傾聴、相槌、非言語的コミュニケーション、質問形式	市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月28日	<u>コミュニケーション技法演習</u> 【KW】傾聴、相槌、非言語的コミュニケーション、質問形式	市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3
第17回 6月4日	<u>一般的面接 実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2・3
第18回 6月4日	<u>一般的面接 実技確認 フィードバック</u> <u>MMT 測定の基本</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第19回 6月11日	<u>MMT（肩関節周囲筋）</u> 【KW】肩関節屈曲・伸展・外転・水平外転・水平内転	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第20回 6月11日	<u>MMT（肩関節周囲筋・肘関節）</u> 【KW】肩関節外旋・内旋、肘関節屈曲・伸展	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第21回 6月19日	<u>MMT（前腕・手関節周囲筋）</u> 【KW】前腕回内・回外、手関節屈曲・伸展	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第22回 6月19日	<u>MMT（手指に作用する筋）</u> 【KW】PIP関節・DIP関節屈曲・伸展、MCP関節屈曲・伸展 手指外転・内転	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第23回 6月23日	<u>MMT（手指に作用する筋）</u> 【KW】母指MP・IP関節屈曲・伸展、母指外転・内転、対立	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第24回 6月23日	<u>実技確認オリエンテーション 上肢筋の検査演習</u>	間瀬	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第25回 6月25日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】股関節屈曲・伸展・外転・内転・内旋・外旋		新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第26回 6月25日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】股関節複合的な運動、膝伸展・屈曲、足背屈・底屈	市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第27回 7月2日	<u>MMT実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第28回 7月2日	<u>MMT実技確認</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第29回 7月9日	<u>MMT実技確認フィードバック</u>	鈴木 間瀬 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3
第30回 7月9日	<u>MMT（下肢筋）</u> 【KW】体幹屈曲・伸展・側屈、頸部屈曲・伸展・側屈、下肢復習	市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	野村めぐみ	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	精神障害領域における作業療法評価の基本的な流れと方法を理解する					
行動目標(SBO)	1. 現在の状態に対する「横断的見方」と現在に至るまでの「縦断的見方」を理解する 2. 精神障害領域の評価の為に必要な情報収集の内容と方法が分かる 3. 観察と面接の特性を理解し、観察法と面接法を実践する 4. 作業面接の方法論を理解し、実践する 5. 観察や面接から得られた情報を元に、状況性と関係性を踏まえた考察が出来る 6. 事例を通して対象者理解を深める					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域における評価では、対象者の外観的側面の観察から、心理的な状態を考察していきます。相手に興味関心を持ち、些細な変化に気が付く事が重要です。日頃から身近な他者に関心を持つことで、観察の目を養っていきましょう。						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版(三輪書店) ②標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版(医学書院)						
受講時留意点、その他						
精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。積極的な授業への参加をお願いします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	第1回～第14回の内容について後期末に定期試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト	*	授業内で小テストを行います。適宜復習に活用してください。				
レポート	30	レポート課題を提示します。正当な理由なく期日より遅れたものは減点します。記載不備は減点対象です。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100	定期試験とレポートを合算して成績評価します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・作業療法の手順</u> 作業療法の基本的な手順と精神障害領域における評価項目の概要を知る。 【KW】評価オリエンテーション、データ収集、焦点化	野村	①156-165	
第2回	<u>精神障害作業療法評価の基礎</u> 精神障害領域の評価に必要な基本的視点を理解する。 【KW】横断的評価、縦断的評価、質的評価、量的評価	野村	②468-473	
第3回	<u>情報収集と評価項目</u> 評価項目の詳細な内容と、他部門から情報収集する内容及び情報収集先を理解する。【KW】評価項目、カルテ、他部門情報	野村	①166-173 ②474-477	
第4回	<u>観察法①</u> 作業療法における観察の構造・形態・関与しながらの観察方法を理解する。 【KW】関与しながらの観察、非言語サイン、自然観察法	野村	①187-195 ②480-482	
第5回	<u>観察法②</u> 作業療法における観察の構造・形態の理解と、集団における観察のポイントを理解する。【KW】バラ言語、集団、記録	野村	①124-130, 187-195 ②480-482, 498-504	
第6回	<u>観察法③</u> 作業療法における観察の構造・形態を理解し、実践する。【KW】観察、非言語サイン、自然観察法	野村	①187-195 ②480-482	
第7回	<u>集団における評価</u> 集団内で作業する個人の観察と評価を行う。 【KW】関与しながらの観察、集団内役割	野村	①173-178 ②482-485	
第8回	<u>面接法①</u> 面接法の基本的な構造と形態を理解する。 【KW】フォーマル、インフォーマル、位置関係	野村	①173-178 ②482-485	
第9回	<u>面接法②</u> 面接法の基本的な構造と形態を理解し、実践する。 【KW】90°法、対面同位、バラ言語	野村	①124-130 ②498-504	
第10回	<u>検査・評価バッテリー</u> 精神障害領域で使用する様々な検査・評価バッテリーを知り、分類する。 【KW】社会生活評価尺度、精神機能評価尺度	野村	①170,195-197 ②486-497	
第11回	<u>作業面接①（講義）</u> 作業を用いた面接方法の概要と、入手できる情報を理解する。 【KW】構成的作業、投影的作業、間接的利用方法	野村	①179-186 ②481	
第12回	<u>作業面接②（準備）</u> 作業面接の特性を理解し、評価計画を立案する。 【KW】構成的作業、面接	野村	①179-186 ②481	
第13回	<u>作業面接③（実践）</u> 構成的作業を用いた評価及び面接を実践する。 【KW】構成的作業、面接	野村	①179-186 ②481	
第14回	<u>記録</u> 他部門からの情報収集・面接・観察より得られた様々な情報を、客観的事象と主観的事象に分類して記載する。【KW】客観的事象、主観的事象、記録	野村	配布資料	
第15回	<u>事例検討</u> これまで学習した内容を用いて、事例の評価とまとめをする。 【KW】情報収集、面接、観察	野村	配布資料	
定期試験	第1回～第12回の内容について後期末試験を行う。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	人間発達学・小児科学・発達障害作業療法学Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この科目は福祉施設における臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	発達障害領域における作業療法評価の流れ・目的・方法を説明できる。					
行動目標（SBO）	1．発達障害の作業療法の対象について述べることができる。 2．子どもの発達段階を説明できる。 3．姿勢反射の発現時期・誘発方法・判定について説明できる。 4．子どもの遊びについて説明することができる。 5．発達障害領域の作業療法評価の方法と目的を説明できる。 6．発達検査の種類と検査名、対象年齢を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
発達障害領域の作業療法においては、正常発達の理解が必須となります。発達障害作業療法の対象は多岐にわたります。発達の十分な理解から、こどもの課題が見えてきます。この科目では、映像教材を用いながら、年齢の特徴を捉え、こどもの発達、こどもの作業を理解します。また、作業療法で用いる評価方法とその目的を学びます。						
教科書・参考書						
教科書：第1回～13回　①リハビリテーションのための人間発達学 第3版 大城正平 編集 メディカルプレイス ②標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版 岩崎清隆執筆 医学書院 2023 第14回～15回 ③標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第4版 能登真一他編 医学書院 2024						
受講時留意点、その他						
講義と演習が中心となります。乳幼児のイメージを映像でできるようになると理解しやすいと思います。また、自らの体を動かし学び、グループでディスカッションする機会があります。積極的に自分から授業内で習得するように学んでください。持ち物、服装について、授業内・掲示板でお知らせすることがあります。 第5回：動ける服装で出席してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第 1 ～15回の範囲で後期末試験を実施し、60点以上を合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・発達障害の作業療法 発達障害の定義・作業療法の目的等を理解する。【KW】定義・作業療法の目的・歴史・発達概念	中村	教科書① p2-6	206
第2回	胎児から乳幼児の発達の捉え方 胎児から乳幼児までの発達全般をどのように捉えるかを理解する。【KW】発育・補正年齢・個人差 * 胎児からの成長の確認と個人差を理解しましょう。	中村	教科書① p16-27 p32-35	206
第3回	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。【KW】ピアジェ・感覚運動段階 (0～2歳) * ピアジェの感覚運動段階6段階を説明できるようにしましょう。	中村	教科書① p43-46 p56-57	206
第4回	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。【KW】ピアジェ・前操作的段階・具体的操作段階・形式的操作段階 * 幼児期・学童時期の認知機能を説明できるようにしましょう。	中村	教科書① p74-75 p216-229	206
第5回	姿勢反射・反応 姿勢反射・反応の誘発方法と検査結果を理解する。【KW】姿勢反射・誘発方法・検査結果 * 配布資料をしっかりと読んでください。	中村	教科書① p19	OT実習室 2・3
第6回	歩行までの運動発達 運動の発達経過と姿勢反射・反応の出現の関係を理解する。【KW】運動発達・マイルストーン・姿勢反射 * 運動発達の順序と姿勢反射との関係を理解しましょう。	中村	教科書① p181-188	206
第7回	幼児の運動発達 歩行獲得後の運動発達を理解する。【KW】片足立ち・階段昇降・両足飛び降り・立ち幅跳び・ケンケン * 教科書から運動変化を抜粋し、○歳で何ができるかを理解しましょう。	中村	教科書② p39-46	206
第8回	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する 1【KW】目と手の協調・姿勢・分化 * 使える手になるための発達過程を理解しましょう。	中村	教科書② p47-57	206
第9回	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する 2【KW】道具操作・描画・模倣 * 道具が使用できることについて理解しましょう。	中村	教科書② p58-78	206
第10回	摂食機能と食事動作の発達 摂食機能と食事動作の発達について理解する。【KW】摂食機能・食事動作 * スプーンや箸、コップの操作などの発達を説明できるようにしましょう。	中村	教科書② p154-168	OT実習室 2・3
第11回	排泄と更衣の発達 排泄機能と排泄動作、更衣動作の発達について理解する。【KW】排泄機能・排泄動作・更衣動作 * 機能的発達の理解と排泄と更衣の発達を説明できるようにしましょう。	中村	教科書② p 169-187	206
第12回	遊びの発達① 遊びの発達について理解する。【KW】遊びの分類・子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を理解しましょう。	中村	教科書② p 188-213	206
第13回	遊びの発達② 遊びの発達について理解する。【KW】子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中村	教科書② p 188-213	OT実習室 2・3
第14回	発達検査① 発達検査の目的と方法を理解し、検査を実施する。【KW】DENVER II、遠城寺乳幼児分析的発達検査法 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中村	教科書③ p525-586	206
第15回	発達検査② 発達検査の方法と目的を理解し、検査を実施する。【KW】JMAP・K-ABC2 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中村	教科書③ p525-586	OT実習室 1
定期試験	第1～15回の内容を範囲とする			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実務経験を活かし、臨床現場で見られる患者様の症状や特徴を具体的に示しながら教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	脳血管障害の概要や、作業療法士の評価や関わりについて理解できる					
行動目標(SBO)	1. 脳血管障害の種類を知り、違いについて理解できる 2. 脳血管障害における障害部位と、部位別に出現する特徴的な症状について理解する 3. 脳血管障害により生じる症状について説明できる 4. 脳血管障害に対する評価方法を知る 5. 脳血管疾患患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
適宜グループワークや発言を求める場面を設けます。活発な授業になるようにしましょう。 毎回資料を配布しますが、教科書も併用しますので必ず持参してください。資料で分からない部分については教科書を利用して深めたり、質問するようにして下さい。 脳血管障害の症状については、解剖学など基礎的な知識があると理解しやすいです。 脳血管障害について理解を深めることで、後期に行う中枢神経障害作業療法学実習の授業も理解しやすくなります。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第2版(メディックメディア) 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 中島雅美・中島喜代彦・大村優慈 編著 PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第4版(医歯薬出版株式会社)						
受講時留意点、その他						
予習・復習を行い理解を深めるようにしましょう。毎回復習の小テストを行います。積極的な授業態度を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	定期試験を実施し、授業内容の理解度を確認する。				
小テスト	0%	毎回、授業の冒頭に小テストを実施します。内容は前回の振り返りが中心です。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など、不適切な行動は減点の対象とします。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・脳血管障害とは 脳血管障害についての概要、種類とその違いについて理解する 【KW】脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、くも膜下出血、伝導路	間瀬	病気がみえる P68~99、 110~111 配布資料	206
第2回	脳血管障害の経過 脳血管障害の経過、回復過程について理解する 【KW】回復過程、予後予測、急性期、回復期、維持期(生活期)	間瀬	病気がみえる P148~149 配布資料	206
第3回	脳血管障害における症状(運動障害、感覚・知覚障害①) 脳血管障害患者に認める運動障害、感覚・知覚障害について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	間瀬	病気がみえる P190~229 配布資料	206
第4回	脳血管障害における症状(運動障害、感覚・知覚障害②) 脳血管障害患者に認める運動障害、感覚・知覚障害について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	間瀬	病気がみえる P190~229 配布資料	206
第5回	脳血管障害における症状(高次脳機能障害①) 脳血管障害患者に認める高次脳機能障害について理解する 【KW】高次脳機能、脳葉、優位半球、劣位半球	間瀬	病気がみえる P157~163 配布資料	206
第6回	脳血管障害における症状(高次脳機能障害②) 脳血管障害患者に認める高次脳機能障害について理解する 【KW】高次脳機能、脳葉、優位半球、劣位半球	間瀬	病気がみえる P157~163 配布資料	206
第7回	画像診断 脳画像の見方を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系	間瀬	病気がみえる P86~88 配布資料	206
第8回	画像診断と臨床所見 脳画像を見て病巣を理解し、病巣により異なる症状を知る 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系、伝導路	間瀬	病気がみえる P110~123 配布資料	206
第9回	脳血管障害に対する作業療法評価(身体機能①) 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】JCS、GCS、Brunnstrom test、感覚検査、腱反射、筋緊張	間瀬	作業療法評価学 P54~55、114~159、 281~285 配布資料	206
第10回	脳血管障害に対する作業療法評価(身体機能②) 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】SIAS、FMA、協調性検査	間瀬	作業療法評価学 P160~183 281~285、 配布資料	206
第11回	脳血管障害に対する作業療法評価(ADL) 脳血管障害患者に対するADL評価について理解する 【KW】ADL、観察、 自助具、Barthel Index(BI)・Functional Independence Measure(FIM)	間瀬	作業療法評価学 P213~240 配布資料	206
第12回	脳血管障害に対する作業療法評価(高次脳機能) 脳血管障害患者に対する高次脳機能評価について理解する 【KW】高次脳機能障害	間瀬	作業療法評価学 P441~466 病気がみえるP163 配布資料	206
第13回	脳血管障害における時期別作業療法 脳血管障害患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ 【KW】急性期、回復期、 維持期、リスク管理、廃用症候群、家屋調査、家族指導、訪問リハビリ	間瀬	病気がみえる P148~149 配布資料	206
第14回	摂食・嚥下障害 脳血管障害の患者に見られる摂食・嚥下障害について理解する 【KW】摂食・嚥下障害、誤嚥、口腔ケア、食事形態、経管栄養、胃瘻	間瀬	病気がみえる P154~155 作業療法評価学 P184~193 配布資料	206
第15回	頭部外傷 頭部外傷について理解する 【KW】急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫	間瀬	病気がみえる P530~547 配布資料	206
定期試験	前期末試験を実施します			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 岡本博行 鈴木亮太 鈴木建宏	中枢神経障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	各教員の臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	中枢神経障害の心身機能・身体構造に関する評価の目的および方法を学び、対象者の立場に立って評価が実施できる。中枢神経障害患者に対する評価結果を整理できる。					
行動目標（SBO）	1. 作業療法評価の目的を理解し説明できる 2. 作業療法評価を実施するための準備や環境設定ができる 3. 評価の手順に従って実施できる 4. 評価中の対象者の状態に配慮できる 5. 評価の結果より、評価結果のまとめ・問題点等の整理ができる 6. 模倣により作業療法治療の実践が行える					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
中枢神経障害に対する、基礎的な知識、疾患概要の理解を持ち合わせたうえで、対象者に対し評価や治療が展開できるような技術の習得を目指す。主に脳血管障害者に対する身体機能評価、日常生活動作評価を行う。評価結果からまとめや整理を行う。脳血管障害者に対する作業療法を学ぶ。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第2版（メディックメディア） 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 （医学書院）						
受講時留意点、その他						
積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。 指定の服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は、受講を出来ない場合がある。 授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	20%	第21、22、24、25回の授業内容から出題				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80%	随意運動評価・知覚検査など模擬患者事例に対する実技確認				
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>筋緊張検査</u> CVAに対する筋緊張評価の実施、演習 【KW】CVA・MAS・筋緊張	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第2回	<u>Brunnstrom test (上肢)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第3回	<u>Brunnstrom test (手指)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第4回	<u>Brunnstrom test (下肢)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 岡本	作業療法評価学	OT実習室2・3
第5回	<u>Brunnstrom test まとめ</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・随意性・Brunnstrom test	間瀬 岡本	作業療法評価学	OT実習室2・3
第6回	<u>上田による12段階法 (上肢)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 間瀬	作業療法評価学	OT実習室2・3
第7回	<u>上田による12段階法 (手指)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 間瀬	作業療法評価学	OT実習室2・3
第8回	<u>上田による12段階法 (下肢)</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第9回	<u>上田による12段階法 まとめ</u> 評価実施、習得 【KW】片麻痺・Brunnstrom test・上田の12段階	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第10回	<u>腱反射、病的反射</u> CVAに対する腱反射、病的反射評価の実施、演習 【KW】腱反射・病的反射・打腱器	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第11回	<u>脳神経検査</u> CVAに対する脳神経検査評価の実施、演習 【KW】脳神経・CVA・検査	岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第12回	<u>随意運動評価の実技確認</u> ブルンストロームテスト・上田による12段階法の評価実施、習得 【KW】評価・Brunnstrom test・上田の12段階	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第13回	<u>随意運動評価の実技確認フィードバック</u> ブルンストロームテスト・上田による12段階法の評価実施、習得 【KW】評価・Brunnstrom test・上田の12段階	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学	OT実習室2・3
第14回	<u>知覚検査 (表在感覚)</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得 【KW】片麻痺・表在感覚・触覚・痛覚	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第15回	<u>知覚検査 (深部感覚)</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得 【KW】片麻痺・深部感覚・運動覚・位置覚	間瀬 岡本	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>上肢機能評価</u> CVA患者に対して上肢機能評価 (STEF・MFT・MAL・ADOCなど) の実施 【KW】片麻痺・上肢機能・STEF・MFT・MAL・ADOC	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第17回	<u>上肢機能評価</u> CVA患者に対して上肢機能評価 (STEF・MFT・MAL・ADOCなど) の実施 【KW】片麻痺・上肢機能・STEF・MFT・MAL・ADOC	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第18回	<u>知覚検査 (表在感覚・深部感覚) 実技確認</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第19回	<u>知覚検査 (表在感覚・深部感覚) 実技確認</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第20回	<u>知覚検査 (表在感覚・深部感覚) 実技確認フィードバック</u> CVA患者に対して知覚検査の評価実施、習得・確認 【KW】片麻痺・表在感覚・深部感覚	間瀬 岡本 鈴木(亮)	作業療法評価学 病気がみえる 配布資料	OT実習室2・3
第21回	<u>CVA患者に対する姿勢・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢・バランス評価の実施、習得	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第22回	<u>CVA患者に対する姿勢・バランス評価</u> CVA患者に対する姿勢・バランス評価の実施、習得	鈴木(亮) 間瀬	作業療法評価学 配布資料	OT実習室2・3
第23回	<u>CVAのADL評価と介入</u> CVA患者 (片麻痺) を想定したADL動作の評価と介入	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第24回	<u>CVA患者に対する機能障害評価</u> 脳卒中機能障害評価法 (SIAS)	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第25回	<u>CVA患者に対する機能障害評価</u> Fugl-Meyer Assessment of Motor Recovery After Stroke(FMA)	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第26回	<u>まとめ、小テスト (第21、22、24、25回)</u> CVA患者に対する姿勢・バランス・SIAS・FMAの習得・確認	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3
第27回	<u>作業療法の実践 (急性期①)</u> 脳血管患障害患者への急性期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、急性期	鈴木(建)	配布資料	205
第28回	<u>作業療法の実践 (急性期②)</u> 脳血管患障害患者への急性期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、急性期	鈴木(建)	配布資料	205
第29回	<u>作業療法の実践 (回復期)</u> 脳血管患障害患者への回復期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、回復期	間瀬 鈴木(亮)	配布資料	OT実習室2・3
第30回	<u>作業療法の実践 (維持期)</u> 脳血管患障害患者への維持期作業療法の実践 【KW】脳血管障害、維持期	鈴木(亮) 間瀬	配布資料	OT実習室2・3

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅰ	2	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	市村紋子 鈴木建宏（非常勤講師）	解剖学・運動学・生理学・整形外科学ⅠⅡ・身体障害評価学・身体障害作業療法評価学・身体障害作業療法評価学実習・身体障害作業療法学実習・義肢装具学・福祉用具と住環境				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この科目は身体障害領域での臨床経験のある作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	整形外科疾患の疾患特性を理解し、整形外科疾患の作業療法の評価と治療の知識を習得する。					
行動目標（SBO）	1．身体障害領域での作業療法の考え方とリスク管理を理解する。 2．機能障害に対する治療原理・原則・作業療法応用への考え方について説明できる。 3．各疾患に関する基礎的知識を整理し、説明できる。 4．各疾患に対する作業療法評価・治療について説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
主として整形外科疾患の作業療法について学習していきます。専門基礎分野で学んだ解剖学Ⅱ・解剖学実習Ⅰ・Ⅱ・運動学Ⅰ・整形外科学Ⅰ・Ⅱの復習をして、授業に臨んでください。						
教科書・参考書						
教科書：①標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） ②標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院） ③病気がみえる vol11. 運動器・整形外科 第2版（メディックメディア）						
受講時留意点、その他						
専門基礎科目（整形外科学Ⅱ）と並行して進みますので、授業での学習の振り返りが必要です。シラバスに合わせて予習・復習をするようにしましょう！特に、解剖学・運動学・生理学の理解をした上で学習すると、とても効果的に学べます。						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りや非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・骨折 整形外科疾患の特性を理解する。骨折の基本的知識を理解する。 【KW】ユースフルハンド・合併症・整復・固定・CRPS・浮腫のチェック	市村	①236-251 ③ 76-95,312-318	206
第2回	骨折 上肢と手指の骨折の特性とリスク管理および作業療法を理解する。 【KW】上腕骨骨幹部骨折・橈骨遠位端骨折等	市村	①236-251 ③ 319-327	206
第3回	骨折 下肢と体幹の骨折の特性とリスク管理および作業療法を理解する 【KW】大腿骨頸部骨折	市村	①236-251 ③ 330-333	206
第4回	加齢性関節疾患 疾患の特徴と治療方法・作業療法を理解する 【KW】作業療法目標とプログラム	市村	①253-259, 314-320 ③ 398-409	206
第5回	関節リウマチ 疾患の特徴と治療方法を理解する 【KW】分類基準・T2T・薬物療法・手術療法	市村	①260-272 ②350-369 ③ 374-385	206
第6回	関節リウマチ 関節リウマチの作業療法を理解する 【KW】作業療法評価・目標とプログラム・自助具・スプリント	市村	①260-272 ②350-369 ③ 374-385	206
第7回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の障害像、損傷分類と症状を理解する。 【KW】直接的な障害、二次的障害・スクリーニングテスト・浮腫	市村	①278-299 ②330-348 ③ 276-279	206
第8回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の作業療法評価を理解する。 【KW】回復過程・評価方法	市村	①P278-299 ②P330-348	206
第9回	末梢神経損傷 末梢神経損傷の作業療法を理解する。 【KW】プロトコル・作業療法・スプリント療法・知覚再教育	市村	①P278-299	206
第10回	腱損傷 腱の機能解剖の復習、腱損傷の概要を理解する 【KW】腱鞘・滑車・腱交叉・ZONE	市村	①301-314 ③ 302	206
第11回	腱損傷 腱断裂術後の作業療法評価・治療の概要を理解する。 【KW】3週間固定法・早期運動法・TAM・ブロックEx.	鈴木	①301-314	206
第12回	腱損傷およびその他の整形外科疾患の作業療法の実際 整形外科疾患の作業療法の臨床について理解する 【KW】リーズニング、評価計画、治療目標、治療プログラム	鈴木	①301-314	206
第13回	熱傷 病態と障害像を理解する 【KW】皮膚の構造、熱傷深度・リスク管理	市村	①P321-332	206
第14回	熱傷 熱傷の作業療法を理解する 【KW】リスク管理・作業療法	市村	①P321-332	206
第15回	第1回～第14回まとめ・復習	市村		206
定期試験	後期定期試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学実習Ⅰ	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	鈴木亮太・内田成男	中枢神経障害作業療法学，整形外科疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ，内部障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士・理学療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	身体障害領域の機能回復のための基本的な治療の目的・手技・段階づけ等を身につける。事例を通して、治療プログラムを立てる。					
行動目標（SBO）	1．関節可動域訓練の方法を身につける。 2．筋力増強の方法を身につける。 3．筋緊張を緩和する方法を身につける。 4．感覚・知覚再教育の方法を身につける。 5．物理療法の目的・手技・禁忌を身につける。 6．バランス機能を改善する治療を身につける。 7．運動学習の方法を身につける。 8．骨折による関節可動域制限を改善する治療プログラムを立てる。 9．神経損傷による知覚を再教育するプログラムを立てる。 10．下肢の骨折によるバランス機能を改善するプログラムを立てる。 11．非利き手での巧緻動作を習得するための運動学習のプログラムを立てる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
身体機能の基本的機能の回復や改善をするための方法を目的に合わせて選択できるよう学習をしていきます。また事例を通したプログラム立案をグループワークとして行います。積極的に発言をし、理解を深めていきましょう。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 身体機能作業療法学 第4版（医学書院）、標準作業療法学 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
実技が主になります。身だしなみ（服装、頭髪、爪）、手洗いをしっかりおこなうようにしてください。守られない場合は授業を受講できないことがあります。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80%	第1回～20回の範囲において、後期末試験を実施する				
小テスト						
レポート	20%	第21回～30回の範囲において、4回のレポート提出を求める				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション</u> 授業の概要について理解する 身体障害作業療法の実践	鈴木	p50-58	OT実習室 2・3
第2回	<u>関節可動域訓練</u> 関節可動域制限の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】ROM制限、ROMex（他動・自動・自動介助）	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第3回	<u>関節可動域訓練</u> 関節可動域制限の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】ROM制限、ROMex（筋伸長法・関節包内運動）	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第4回	<u>関節可動域訓練</u> 関節可動域訓練を実践する 【キーワード】ROM制限、ROMex	鈴木	p76-88	OT実習室 2・3
第5回	<u>筋力増強訓練</u> 筋力低下の原因を分析し、改善するための方法を身につける。 【キーワード】加齢・安静・固定・神経因性・収縮様式・原則	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第6回	<u>筋力増強訓練</u> 筋ごとの筋力または筋持久力の増強方法を身につける 【キーワード】収縮様式・筋持久力	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第7回	<u>筋力増強訓練</u> 筋ごとの筋力または筋持久力の増強方法を身につける 【キーワード】収縮様式・筋持久力	鈴木	p88-100	OT実習室 2・3
第8回	<u>筋緊張の緩和方法</u> 筋緊張亢進または過緊張の筋の緩和に対する手技を身につける。 【キーワード】筋緊張・relaxation筋緊張の緩和方法	鈴木	p101-113	OT実習室 2・3
第9回	<u>筋緊張の緩和方法</u> 筋緊張亢進または過緊張の筋の緩和に対する手技を身につける。 【キーワード】筋緊張・relaxation筋緊張の緩和方法	鈴木	p101-113	OT実習室 2・3
第10回	<u>感覚・知覚再教育</u> 知覚障害の程度に合わせた指導を身につける 【キーワード】防御知覚障害のプログラム・脱感作・感覚知覚再学習	鈴木	p128-135	OT実習室 2・3
第11回	<u>感覚・知覚再教育</u> 知覚障害の程度に合わせた指導を身につける 【キーワード】防御知覚障害のプログラム・脱感作・感覚知覚再学習	鈴木	p128-135	OT実習室 2・3
第12回	<u>物理療法</u> 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	OT実習室 2・3
第13回	<u>物理療法</u> 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	治療室
第14回	<u>物理療法</u> 作業療法で活用できる物理療法 【キーワード】疼痛、温熱、電気、ゲートコントロールセオリー、交代浴	内田	p157-169	治療室
第15回	<u>バランス機能改善のための治療</u> バランス機能低下の原因分析が行える 【キーワード】システム理論・バランス評価	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>バランス機能改善のための治療</u> バランス機能改善のための治療を身につける 【キーワード】視覚代償・固有感覚刺激法・介護予防	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第17回	<u>バランス機能改善のための治療</u> バランス機能改善のための治療を身につける 【キーワード】視覚代償・固有感覚刺激法・介護予防	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第18回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第19回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第20回	<u>運動獲得のための治療</u> 運動を獲得するための治療を身につける 【キーワード】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第21回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療計画を立てる</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・合併症	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第22回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・関節可動域訓練・筋力訓練	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第23回	<u>骨折（上肢）を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】治癒過程・骨癒合・関節可動域訓練・筋力訓練	鈴木	p236-251	OT実習室 2・3
第24回	<u>末梢神経損傷を呈した対象者の治療を計画する</u> 【KW】観察、痛み、神経誘発検査・スクリーニングテスト・知覚・MMT・浮腫・ADL	鈴木	p287-299	OT実習室 2・3
第25回	<u>末梢神経損傷を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】感覚、知覚再教育	鈴木	p278-299	OT実習室 2・3
第26回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療計画を立てる</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第27回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第28回	<u>加齢性関節疾患を呈した対象者の治療を実施する</u> 【KW】肩関節周囲炎、変形性関節症	鈴木	p156-177	OT実習室 2・3
第29回	<u>利き手交換</u> 【KW】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
第30回	<u>利き手交換</u> 【KW】運動学習	鈴木	p70-76	OT実習室 2・3
定期試験	後期末試験を実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法評価学、日常生活活動学実習、福祉用具と住環境、臨床実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に日常生活活動（ADL）を評価し、ADLの問題にアプローチする方法を教授します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	ADL・IADL障害に対する作業療法の評価と治療を理解する。					
行動目標（SBO）	1.ADL・IADL評価の構造を理解する。 2.FIMを用いたADL評価を習得する。 3.ADL・IADL障害に対する基本的な介入方法を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、日常生活活動（ADL）の作業療法評価とアプローチの方法を学びます。日常生活活動の自立・質の向上は、作業療法士が特にチームの中で責任を持って評価・治療に当たる領域です。分野・対象者を問わず必要な知識・技術となりますので、関心を持って受講してください。狭義のＡＤＬだけではなく、家事などの手段的ADL（IADL）における評価と治療の基礎事項にも触れます。FIMは広く使われる評価法ですので基礎的な採点ができるように理解してください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）、標準作業療法学 作業療法評価学 第4版（医学書院）、脳卒中の機能と評価 S I A SとF I M（金原出版）						
受講時留意点、その他						
授業を欠席した場合は、次回までにほかの受講者から授業内容を確認し、不明な点は担当教員に質問してください。第4回から10回のFIMを用いた評価法では、予習に基づいたディスカッションの形で授業を進めます。事前に、学んでくるべき内容を配布し、テキストのページを指定しますので、学習してきてください。ディスカッションと講義は授業で行います。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験を行い、成績評価を行う。評価割合は原則として100%とする。				
小テスト	0	第11回（予定）では、FIM採点法の小テストを実施する。成績評定には含まない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション・ADL総論 作業療法におけるADLの捉え方を学ぶ 【KW】できるADL, しているADL, IADL, 自立 * 対象者の個別性を配慮してADLを考えられるように復習する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp4-26	206
第2回	ADL各項目の特性 ADL各項目の特徴を分析する 【KW】心身機能, 動作, 行為, 社会文化的視点 * ADL各項目の特性を多面的に分析できるようにする。	市村	配布資料	206
第3回	ADL評価総論 評価方法の基礎を理解する。 【KW】動作分析・環境・主観の評価・FIM・BI * 評価の構造と代表的な定量的評価を理解し、覚える。	市村	作業療法評価学pp213-240	206
第4回	FIM総論・運動項目① FIMの移乗・移動・清拭を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第5回	FIM総論・運動項目② FIMの整容・更衣・食事を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲・動作の分割・準備の範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第6回	FIM総論・運動項目③ FIMのトイレ動作・排泄コントロールを採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲・失禁と失敗 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp83-120	206
第7回	FIM総論・認知項目① FIMのコミュニケーション項目を採点する 【KW】自立・5点の定義・介助・採点範囲・ジェスチャー * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp121-138	206
第8回	FIM総論・認知項目② FIMの社会的認知・記憶を採点する 【KW】自立・5点の定義・介助・採点範囲 * 各項目を採点できるまで復習する。	市村	脳卒中の機能と評価pp121-138	206
第9回	FIMまとめ 対象者の状態からFIMの全項目を採点する 【KW】自立・準備・監視・介助・採点範囲 * 観察・状態の記述からFIMの採点ができる。点数から状態をイメージできる。	市村	配布資料	206
第10回	IADLの評価 IADLの定義・行為の特徴と評価方法を学ぶ 【KW】Lawton, ESCROW Profile, FAI, A-ONE * 観察・面接から評価するポイントと代表的な定量的評価の名称・概要を覚える。	市村	日常生活活動・社会生活行為学p33-43, 配布資料	206
第11回	ADL・IADLを「作業」として捉えた面接評価 COPMを使って面接評価を行う 【KW】面接・COPM・重要度・遂行度・満足度・自己評価 * COPMを使って重要な作業と作業に対する主観を評価する手順を理解する。	市村	作業療法評価学pp44-46	206
第12回	作業遂行の質の評価 目的志向的行為の単位でADL/IADLを観察する 【KW】観察・AMPS・作業遂行の質・目的志向的行為 * AMPSの評価手順を理解する。作業遂行の質の観点を理解する	市村	作業療法評価学pp234-236	206
第13回	ADL障害へのプログラム立案と介入 アプローチ方法とプログラム立案を学ぶ 【KW】評価結果の整理・動作学習・環境設定 * 評価結果整理・プログラム立案の考え方とアプローチの方略を理解する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp15-28, 48-56	206
第14回	ADL障害へのプログラム立案と介入 アプローチ方法とプログラム立案を学ぶ 【KW】評価結果の整理・動作学習・環境設定 * 評価結果整理・プログラム立案の考え方とアプローチの方略を理解する。	市村	日常生活活動・社会生活行為学pp15-28, 48-56	206
第15回	IADL障害へのプログラム立案と介入 IADLができるための代表的な技術を学ぶ 【KW】家事動作・外出・コミュニケーション * 家事・外出・コミュニケーションを中心とした介入技術を理解する。	市村	配布資料	206
定期試験	後期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	日常生活活動学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 中村毎途	日常生活活動学、運動学実習、運動生理学実習 運動学Ⅰ・Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 作業療法場面で多く実践する、日常生活活動の観察や分析方法、支援内容について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	日常生活活動に対する作業療法評価・援助方法の基本的技術を習得する。					
行動目標（SBO）	1. 健常者が行う基本動作の動作分析、作業分析が行える。 2. 健常者が行うADL・IADL動作の動作分析、作業分析が行える。 3. 模擬患者に対して基本動作・ADL動作の評価・指導・介助が行える。 4. 対象者に合わせた基本動作・ADL動作・IADL動作指導・介助が行える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では作業療法を行う基礎となる分析方法について、ADLを始め様々な活動を通して学びます。作業療法では、運動・動作レベルから、行為・作業レベルの視点での分析まで必要とされます。健常者が行う動作を分析することで、評価・指導の視点の基礎を学びます。分析の視点を養うことと技術を習得することが中心となりますので、授業中・課外を通して、積極的に何度も練習してください。わからないところがあれば質問に来てください。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院） 参考書：PT・OTのための運動学テキスト（金原出版株式会社）						
受講時留意点、その他						
動きやすい服装で参加してください。授業によって、ハーフパンツなど指定することがあります。 実技では、作業療法の対象者に接する場合と同じように被験者と接してください。身だしなみ・手洗い・消毒・器具の取り扱い等、感染予防に努めてください。被験者への不適切な態度、感染対策の怠慢、身だしなみの不良等が著しく、改善が見られない場合は、実技への参加を認めない場合があります。 動作の指導や介助は繰り返し練習を行うことで上達します。到達度が不十分と感じた内容については、授業外の時間に積極的に練習を行いましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50%	授業内に行った課題及び授業内容のまとめとして、課題提出を行います。全14回(第12回以外) 提出期日は原則、授業翌日朝9時とします。（期日を過ぎて提出された課題は受け付けません） レポートは、記載量、丁寧さ、記載内容について採点します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	50%	ADLの動作指導方法について実技確認を実施します。（第12回： 月 日）				
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	起居動作観察 健常者が行う起居動作の観察 【KW】寝返り、起き上がり、動作観察	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・3
第2回	起居動作援助 対象者の能力を発揮するための声掛け、誘導 【KW】寝返り、起き上がり、立ち上がり	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・3
第3回	移乗動作観察 健常者が行う移乗動作の分析 【KW】車椅子、移乗、重心	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・3
第4回	ベッド・車椅子間の移乗動作援助① ベッドから車椅子へ移乗するための誘導方法 【KW】移乗、車椅子、誘導	間瀬 中村	配布資料 教科書 p62-p82	OT実習室2・3
第5回	ベッド・車椅子間の移乗動作援助② ベッドから車椅子へ移乗するための誘導方法 【KW】移乗、介助、重度	間瀬 中村	教科書 p62-p82	OT実習室2・3
第6回	トイレ・浴槽への移乗動作援助 環境の異なる場面（トイレ、浴槽）における移乗動作 【KW】トイレ、浴槽、移乗	間瀬 中村	教科書 p62-p82	OT実習室2・3 ADL室
第7回	更衣動作観察 健常者が行う更衣の観察 【KW】更衣動作、前開き服、動作の区分	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・3
第8回	更衣動作の評価・動作指導① 片手で服を着脱するための動作指導 【KW】上衣、観察、代償動作	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・3
第9回	更衣動作の評価・動作指導② 一人でズボンを着脱するための動作指導 【KW】下衣、観察、代償動作	間瀬 中村	教科書 p121-p138	OT実習室2・3
第10回	食事動作の評価・動作指導① 姿勢と環境に着目した食事動作評価の実践 【KW】食事、姿勢、環境	間瀬 中村	配布資料 p83-p103	OT実習室2・3
第11回	食事動作の評価・動作指導② 箸操作と利き手交換 【KW】食事、利き手交換、箸操作	間瀬 中村	教科書 p83-p103	OT実習室2・3
第12回	模擬事例に対する動作指導（実技確認） 片麻痺患者への更衣動作指導	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・3
第13回	移動の評価・動作指導 車椅子での移動、杖歩行の動作指導 【KW】車椅子、杖歩行、動作指導	間瀬 中村	配布資料 p72-p78	OT実習室2・3 機能訓練室
第14回	移動の評価・動作指導 杖歩行の動作指導の実践、床上動作 【KW】杖歩行、床からの立ち上がり、段差昇降	間瀬 中村	配布資料 p72-p78	OT実習室2・3 機能訓練室
第15回	作業遂行分析 馴染のある作業活動の観察・評価 【KW】作業遂行、観察、ADL、IADL、家事動作	間瀬 中村	配布資料	OT実習室2・3
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学総論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	野村めぐみ	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法評価学、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	精神障害領域における作業療法の歴史や治療構造を理解し、対象者の「生きづらさ」を支援する方法を考察できる					
行動目標(SBO)	1. 精神障害と精神障害領域における作業療法の歴史的背景を理解する 2. 精神障害領域における作業療法の治療的構造を説明できる 3. 作業療法の構成要素の1つである「自己」について、治療的活用方法を考える 4. 精神障害者が抱える「生きづらさ」を想像できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神医療福祉の歴史と法律には深い関係があります。精神医療に携わる上で重要な知識となりますので、まずは知ることから始めましょう。精神領域では、個別や集団等、様々な形態で作業を用います。作業療法の基本となる「作業」について、精神障害領域での活用という視点を持って特性を理解しましょう。また、対象者との関わりにおいて、「自分自身」は重要な治療道具の一つとなります。作業療法の治療構造を理解すると共に、自分自身についても考えるきっかけにしてください。						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版(三輪書店) ②標準作業療法 専門分野 精神機能作業療法学 第3版(医学書院)						
受講時留意点、その他						
精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。積極的な授業への参加をお願いします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	第1回～第15回の内容について、前期末に定期試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト	*	振り返り小テストを適宜行います。復習に活用してください。				
レポート	20	講義全体を踏まえて、精神障害領域の作業療法について学んだことをレポートでまとめます。正当な理由なく期日より遅れたもの、その他不備のあるものは減点対象とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	ポートフォリオを作成します。授業資料及び、レポート作成のために自己で収集した資料をファイリングし、レポートと共に提出します。提出期日の遅れや書類の不足は減点対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・精神障害領域の作業療法とは 講義の目的・内容・スケジュールを確認し、理解する。精神障害領域の作業療法の概要を知る。【KW】精神疾患、精神障害者、多面的理解	野村	配布資料	206
第2回	精神障害領域の基礎概念 精神医療を取り巻く状況を確認し、作業療法の対象疾患を知る。精神医療の一般的概要を知る。【KW】精神科医療、入院、外来	野村	配布資料	206
第3回	精神障害の歴史と法律 精神医学と作業療法の歴史を知り、現在の精神障害福祉に関する法律について理解する。【KW】歴史、精神保健福祉法、司法精神医療	野村	①35-56 ②12-21	206
第4回	精神障害領域の理論・実践モデル 精神障害領域の作業療法を実施する上での基本的な視点について理解する。【KW】リカバリー、ストレスコーピング、多職種連携	野村	②29-35	206
第5回	ひとと病い 精神疾患と障害の関係性について知り、障害を受容して生きることについて考える。【KW】ストレスモデル、障害特性、障害受容	野村	①1-34	206
第6回	回復過程と作業療法 精神障害領域の作業療法における回復過程の概要と、必要な視点について理解する。【KW】前駆期、要安静期、亜急性期、回復期前期、回復期後期	野村	①58-79,220-255,372-373 ②36-53	206
第7回	地域生活における作業療法の視点 地域生活を送る精神障害者に対する視点を理解する。【KW】生活のしづらさ、主体性、人生の伴走者	野村	②54-63, 265-278	206
第8回	作業療法の治療・支援構造と治療機序① 作業療法の構成要素とそれぞれの関係性を理解する。構成要素である対象者、作業について理解を深める。【KW】構成要素、対象者、作業の要素	野村	①85-104	206
第9回	作業療法の治療・支援構造と治療機序② 作業療法の構成要素である作業について理解を深める。【KW】作業の要素、目的と手段、作業の分類	野村	①104-117	206
第10回	作業療法の治療・支援構造と治療機序③ 作業療法の構成要素である作業療法士自身について、治療的活用方法と対象者との関係性について理解する。【KW】自己の治療的活用、自己開示	野村	①117-121	206
第11回	作業療法の治療・支援構造と治療機序④ 作業療法の構成要素である集団と場について理解する。【KW】集団の構造因子、パラレルな場、グループダイナミクス	野村	①122-138	206
第12回	様々な対象者支援 対象者の「その人らしい」生活を支援するために必要な様々な支援方法を理解する。【KW】心理教育、家族心理教育、認知行動療法、ピアサポート、WRAP	野村	②220-230	206
第13回	ゲストスピーカー：リカバリーストーリー うつ病、双極性障害それぞれを経験した当事者より、発症～リカバリーまでの経験を聴く。これまでの講義の内容も踏まえて、当事者のリカバリーに必要なことは何か考察する。【KW】リカバリー、ピアサポート、well-being	野村	配布資料	OT実習室2・3
第14回	精神障害領域における評価 精神障害領域における評価技術の概要を知る。【KW】観察、面接、対象者理解	野村	配布資料	206
第15回	作業療法の実践・まとめ 就労支援、司法精神医療、災害における作業療法の役割および制度を理解する。【KW】就労支援、司法、DPAT	野村	①228-262 ②231-264	206
定期試験	第1～15回の内容について前期末試験を実施します。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	老年期作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・中村 進	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、地域作業療法学実習 社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 介護保険領域での臨床実践を基に老年期作業療法について、教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	老年期における作業療法の実践が理解できる					
行動目標（SBO）	1．高齢者の一般的な特徴、疾患が挙げられる。 2．介護保険制度に関わる施設の特徴と作業療法の実践が説明できる 3．老年期の作業療法の実践が分かる 4．認知症の全体像が説明できる 5．認知症高齢者に対する作業療法のあり方が理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
現在、我が国は超高齢社会を向かえ現在も高齢者人口が増え続けている。2050年には高齢化率が35%を超えることが見込まれており、高齢者に対する支援はより一層求められていく。 老年期の作業療法を実践するためにはアセスメント方法や支援方法を学ぶことが必要であるが、対象者の状態を適切に把握するためには「高齢者を取り巻く状況」や「高齢者の心身の特性」「認知症」についての理解が必須となる。 授業の中で毎回指示する要点・ポイントについては必ず自己学習で復習をしてもらいたい。						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法 専門分野 高齢期作業療法 第4版（医学書院） 参考書：標準作業療法 専門分野 地域作業療法学 第4版（医学書院） 老年期の作業療法 改訂第3版（三輪書店）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	後期末試験を実施し、60点以上を合格とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。				
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・高齢社会と高齢期の課題 【KW】高齢化率, 4つの喪失, 暮らしぶり 高齢者の定義が分かる。高齢者の暮らしぶりや課題が挙げられる。	中村	教科書 p5-p27	206
第2回	高齢期の一般的特徴/高齢期に多い疾患 【KW】老化, 老年症候群 老年症候群や高齢期に多い疾患を挙げることができる。	中村	教科書 p41-p65	206
第3回	社会保障制度と介護保険制度 【KW】社会保障制度, 介護保険制度, 介護サービス 介護保険制度の仕組みや介護サービスの形態について学習する	中村	教科書 p28-p32	206
第4回	介護保険分野の施設の特徴 【KW】高齢者の住まい, 入所施設, 通所介護 介護保険のサービスのうち、特別養護老人ホームと通所介護について学習する	中村	配布資料	206
第5回	介護老人保健施設における作業療法の実践 【KW】介護老人保健施設, 通所リハビリテーション, 中間施設 介護老人保健施設における作業療法士の役割について学習する。	中村進	配布資料	206
第6回	高齢者の人権擁護 【KW】権利, 憲法, 虐待 高齢者の権利を守るための制度について学習する	中村	配布資料 教科書 p81-90	206
第7回	介護予防の作業療法 【KW】介護予防, 地域包括ケアシステム, 地域包括支援センター 高齢者が住み慣れた地域で生活し続けるためのシステムについて学習する。	中村	教科書 p132- p139	206
第8回	高齢期の作業療法 【KW】寝たきり, 社会参加, 高齢期障害 高齢者の生活や状態に合わせた作業療法支援について学習する。	中村	配布資料	206
第9回	高齢者の住環境整備と地域づくり 【KW】間取り, 環境, 改修 高齢者にとって住みよい環境について理解を深める。	中村	配布資料	206
第10回	認知症①（総論） 【KW】現代社会, 中核症状, BPSD 認知症の定義と、現代社会における課題について学習する。	中村	教科書 p66-p71	206
第11回	認知症②（各論） 【KW】Alzheimer, Lewy小体, 前頭側頭型 認知症の原因となる代表的な疾患について理解を深める。	中村	教科書 p72-p77	206
第12回	認知症のある人への作業療法①（アセスメント方法） 【KW】人生, 複雑性, 観察 認知症のある人の行動を理解する。	中村	教科書 p141-148	206
第13回	認知症のある人への作業療法②（支援方法） 【KW】スクリーニング検査, 症状, 状態 認知症のある人の状態に応じた支援方法について理解する。	中村	教科書 p148- p155	206
第14回	認知症のある人への作業療法③（環境整備と家族支援） 【KW】環境整備, 家族指導, 家族の心理 認知症のある人と関わる家族や環境に対する支援方法について学習する。	中村	配布資料	206
第15回	老いと死・授業のまとめ 【KW】死, 人生, 老い 人生の締めくくりについて意見交換を行う。	中村	配布資料	206
定期試験	後期末試験を実施する			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	福祉用具と住環境	2	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	日常生活活動学・日常生活活動学実習・中枢神経障害作業療法学 身体障害作業療法学実習Ⅰ・身体障害作業療法学実習Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、福祉用具の 適合や調整、住環境整備について教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法治療の手段である福祉機器・住宅改修について理解する。					
行動目標（SBO）	1．福祉用具の概要を理解し、作業療法士の役割が説明できる。 2．福祉用具の選定時の評価と、導入までの流れを説明できる。 3．福祉用具の種類と使い方を理解する。 4．福祉用具のリスクマネジメントについて理解する。 5．自助具を作製し、使用体験をすることでその改善点を見いだせる。 6．住宅改修のポイントと作業療法士の役割が理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
福祉用具は、暮らしのなかで不便なく暮らせるよう創意工夫し、形作られたものです。その目的は、使い方やライフスタイルに応じた対応などを 含め、「よりよい生活」を支援することにあります。この授業では福祉用具の選定・適合に必要な知識・技術の習得を目指します。各ADL・ IADLに焦点をあて、作業療法の対象者にどのように適合していくのかを考えます。普段の生活から、意識してものを観察し、扱ってみましょ う。またADLやIADL場面においてどのように動作を行っているのか意識するよう努めてください。						
教科書・参考書						
教科書：作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備 改訂第3版（協同医書出版社）						
受講時留意点、その他						
第8回から第23回はそれぞれグループに分かれ課題を進めます。各グループ計画に沿って進めましょう。 ディスカッションの前には事前学習を行い、自らの意見をまとめましょう。また、ディスカッションでは積極的に発言するとともに、メン バーの意見を傾聴しましょう。チームで物事を進める力を身に着けることを意識し取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト	50	第1回、第2回、第4回、第5回の範囲に関して小テストを実施します。				
レポート	50	第6回-第7回は作成した自助具とレポートの提出を求めます。 第10回-第23回については単元ごとにレポート（ポートフォリオ）の提出を求めます。 （第10回-第12回、第13回-第15回、第16回-第18回、第21-第23回）				
実技試験						
プレゼンテ ーション						
その他		グループワークへの積極的な参加を求めます。 各単元ごと自己評価、相互評価を行います。準備をせずに参加、ディスカッションへの不参加、その他非協力的 な状況が認められた場合は、状況確認の上、小テスト、レポートの評定から減点します。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション/作業療法士の行う環境整備 キーワード：障害、福祉用具、環境、参加	鈴木	p5-15 p155	OT実習室 2・3
第2回	福祉用具・住環境整備に関わる制度 リスクマネジメント キーワード：障害者総合支援法、介護保険、リスクマネジメント	鈴木	p10-32	OT実習室 2・3
第3回	自助具作製のプロセスを理解する キーワード：評価、作製プロセス、自助具作製	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第4回	住環境整備の基礎知識 キーワード：住宅の機能、建築モジュール	鈴木	p153-167	OT実習室 2・3
第5回	住環境整備の実際 キーワード：有効幅、段差、てすり	鈴木	p167-178	OT実習室 2・3
第6回	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	鈴木	裁縫セット	OT実習室 2・3
第7回	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	鈴木	裁縫セット	OT実習室 2・3
第8回	起居動作に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	鈴木	p33-51	OT実習室 2・3
第9回	排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	鈴木	p78-83	OT実習室 2・3
第10回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第11回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第12回	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	鈴木	p52-68	OT実習室 2・3
第13回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3
第14回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3
第15回	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	鈴木	p68-78	OT実習室 2・3

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	調理・食事に関わる福祉用具とその活用方法 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	鈴木	p83-92	OT実習室 2・3

[illegible]

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学Ⅱ	2	30	講義	必須	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途・久保友明・佐野尊信 上野真由子・渡邊智史・旭まどか	地域作業療法学Ⅰ、地域作業療法学実習 社会福祉概論、生活社会科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。 臨床経験を活かして地域作業療法の実践について教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	地域作業療法を実践するための知識を学ぶ					
行動目標（SBO）	1. 地域作業療法枠組みが理解できる 2. レクリエーションが企画・運営できる 3. 地域の各領域の支援の実践が理解できる 4. 障がいを持って生活する人の心理の変化について説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は、作業療法の対象領域として拡大しつつある地域作業療法について実践事例を通して学習します。 地域作業療法の枠組みや評価・プログラムの立案・実践過程だけでなく、多職種連携や障がい者の理解についてもグループワーク等を通して学びます。 発達領域から高齢期まで、地域作業療法の実践事例を紹介しますので、作業療法の可能性の幅広さを感じ取ってください。 また、レクリエーションの実践ではグループで企画・準備・運営を行います。提示された期限を守りグループごと協力して課題を進めてください。						
教科書・参考書						
教科書：なし 参考書：【標準作業療法 専門分野】地域作業療法 第3版（医学書院）・ 高齢期作業療法 第3版（医学書院） 作業療法 ゴールド・マスター・テキスト 地域作業療法（MEDICAL VIEW）						
受講時留意点、その他						
成績評価方法						
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60％	地域における作業療法の実践に関するレポートを実施します。 提出期日・提出方法が守られていない課題は採点対象外とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	40％	レクリエーションの実施（30％）およびその計画書（10％）を成績評定に含める。 著しく受講態度が不良であり、改善されない者は減点の対象とする。また、非常勤講師に対する無礼な態度、授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
（合計）	100％					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション,地域作業療法,レクリエーション実践論</u>	中村	配布資料	206
第2回	<u>レクリエーション企画</u>	中村	配布資料	OT実習室2・3
第3回	<u>レクリエーション企画</u>	中村		OT実習室2・3
第4回	<u>レクリエーション企画・準備</u>	中村		OT実習室2・3
第5回	<u>地域におけるOTの実践①（訪問作業療法）</u>	上野真由子	配布資料	206
第6回	<u>地域におけるOTの実践①（訪問作業療法）</u>	上野真由子	配布資料	206
第7回	<u>レクリエーション準備</u>	中村		OT実習室2・3
第8回	<u>地域におけるOTの実践②（産業分野の作業療法）</u>	旭まどか	配布資料	206
第9回	<u>レクリエーション実践</u>	中村		OT実習室2・3 講堂
第10回	<u>レクリエーション実践</u>	中村		OT実習室2・3 講堂
第11回	<u>地域におけるOTの実践③（通所介護の作業療法）</u>	岩田裕也	配布資料	206
第12回	<u>地域におけるOTの実践④（特別支援教育）</u>	渡邊智史	配布資料	206
第13回	<u>地域におけるOTの実践④（特別支援教育）</u>	渡邊智史	配布資料	206
第14回	<u>地域におけるOTの実践⑤（児童発達支援・放課後等デイサービス）</u>	久保友明	配布資料	206
第15回	<u>地域におけるOTの実践⑤（児童発達支援・放課後等デイサービス）</u>	久保友明	配布資料	206
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学実習	2	90	実習	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途・施設指導者	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ 老年期作業療法学、社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	地域にある各施設の作業療法士が、施設の特性に応じた対象者の支援方法について教授します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する実践を体験し、支援のあり方と作業療法士の役割を理解する。					
行動目標 (SBO)	1．対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 2．介護保険関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 3．地域支援の現場において、対象者との関わりを持つことができる。 4．地域支援の多様な現場での作業療法士の役割を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
地域作業療法はすべての年齢・障害が対象となる幅の広い分野です。作業療法士が働く場も多種多様です。本授業では、介護保険関連施設、在宅生活を送る方のための障害者総合支援法関連施設等での実習を行います。作業療法に関連する実践を体験し、地域における作業療法士の役割について学びます。学外実習では、対象者との関わりを持ち、学内で学んだことを実践する機会となります。事前準備をしっかりとし、作業療法学生として適切な行動をしましょう。 主体性を持って学ぶことを期待します。不明な点は、担当教員に確認してください。						
教科書・参考書						
教科書：地域作業療法学実習 講義資料 参考書：1・2年次で使用した教科書、授業資料						
受講時留意点、その他						
1．12グループのローテーションによるスケジュールとなります。 2．体調管理をしっかりと行いましょう。 3．スケジュールは変更になる場合があります。デスクネットを注意深く確認してください。 4．授業内で伝達する注意事項を遵守してください。 5．学外実習場面では、施設指導者の指示に従って行動をしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	実習各回ごとにレポートを提出。書式については各回ごとに指示する。 高齢者関連施設実習デイリーノート（30%） 高齢者関連施設振り返りレポート（15%） 生活介護施設振り返りレポート（15%） 就労継続支援B型事業所（15%） 子ども関連施設振り返りレポート（15%） 生活行為向上マネジメントアセスメント演習シート（10%）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	科目に対する関心、積極的な学習態度においては加点する場合があります。また、授業において清潔感のない身だしなみ等は減点対象とする場合があります。 特に学外実習において、ご利用者や外部講師への礼儀を欠く態度、社会人として不適切な行動、保健・福祉施設での実習にふさわしくない態度、理由なき欠席・早退等がある場合は、本科目の単位を認めません。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教室 教材
第1回	授業オリエンテーション 学外実習オリエンテーション	中村	206
第2回	学外実習オリエンテーション 実習目標について	中村	206
第3回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第4回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第5回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第6回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第7回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第8回 10月9日	学内振り返り 実習記録	中村	206
第9回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第10回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第11回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第12回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第13回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第14回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第15回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第16回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第17回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第18回	月 日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第19回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第20回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第21回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第22回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第23回	月 日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設
第24回	高齢者関連施設実習 まとめ						中村	206
第25回	学外実習まとめ①						中村	206
第26回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第27回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第28回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第29回	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 生活介護 事業所実習	11月 5日 B型事業所 実習	11月 5日 子ども領域施設 実習	11月 1日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第30回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月12日 子ども領域施設 実習	11月12日 B型事業所 実習	11月12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第31回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月12日 子ども領域施設 実習	11月12日 B型事業所 実習	11月12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第32回	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月 12日 生活介護 事業所実習	11月12日 子ども領域施設 実習	11月12日 B型事業所 実習	11月12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第33回	11月19日 B型事業所 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月12日 子ども領域施設 実習	11月12日 B型事業所 実習	11月12日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第34回	11月19日 B型事業所 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第35回	11月19日 B型事業所 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第36回	11月19日 B型事業所 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 子ども領域施設 実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第37回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	11月19日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第38回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第39回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第40回	11月26日 子ども領域施設 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 B型事業所 実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	11月26日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第41回	学外実習のまとめ②						中村	206
第42回	MTDLP 概論						中村	206
第43回	MTDLP 概論						中村	206
第44回	MTDLP アセスメント演習						中村	206
第45回	MTDLP アセスメント演習						中村	206
定期試験	なし							

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	地域作業療法学実習	2	90	実習	必修・選択	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途 他	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ 老年期作業療法学、社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 後期	地域にある各施設の作業療法士が、施設の特性に応じた対象者の支援方法について教授します。					
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	地域作業療法に関連する実践を体験し、支援のあり方と作業療法士の役割を理解する。					
行動目標 (SBO)	1. 対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 2. 介護保険関連施設における対象者の支援と作業療法士の役割を述べることができる。 3. 地域支援の現場において、対象者との関わりを持つことができる。 4. 地域支援の多様な現場での作業療法士の役割を述べることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
地域作業療法はすべての年齢・障害が対象となる幅の広い分野です。作業療法士が働く場も多種多様です。本授業では、介護保険関連施設、在宅生活を送る方のための障害者総合支援法関連施設等での実習を行います。作業療法に関連する実践を体験し、地域における作業療法士の役割について学びます。学外実習では、対象者との関わりを持ち、学内で学んだことを実践する機会となります。事前準備をしっかりとし、作業療法学生として適切な行動をしましょう。 主体性を持って学ぶことを期待します。不明な点は、担当教員に確認してください。						
教科書・参考書						
教科書：地域作業療法学実習 講義資料 参考書：1・2年次で使用した教科書、授業資料						
受講時留意点、その他						
1. 12グループのローテーションによるスケジュールとなります。 2. 体調管理をしっかりと行いましょう。 3. スケジュールは変更になる場合があります。デスクネッツ、掲示板を注意深く確認してください。 4. 授業内で伝達する注意事項を遵守してください。 5. 学外実習場面では、施設指導者の指示に従って行動をしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	実習各回ごとにレポートを提出。書式については各回ごとに指示する。 介護老人保健施設デイリーノート（30％） 介護老人保健施設振り返りレポート（15％） 生活介護施設振り返りレポート（15％） 就労継続支援B型事業所（15％） 子ども関連施設振り返りレポート（15％） 生活行為向上マネジメントアセスメント演習シート（10％）				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	科目に対する関心、積極的な学習態度においては加点する場合があります。また、授業において清潔感のない身だしなみ等は減点対象とする場合があります。 特に学外実習において、ご利用者や外部講師への礼儀を欠く態度、社会人として不適切な行動、保健・福祉施設での実習にふさわしくない態度、理由なき欠席・早退等がある場合は、本科目の単位を認めません。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第1回	授業オリエンテーション 学外実習オリエンテーション						中村	206
第2回	学外実習オリエンテーション 実習目標について						中村	206
第3回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第4回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第5回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第6回	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 生活介護 事業所実習	10月 8日 B型事業所 実習	10月 8日 子ども領域施設 実習	10月 5日 子ども領域施設 実習	中村 施設指導者	実習施設
第7回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第8回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第9回	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 生活介護 事業所実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第10回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 15日 子ども領域施設 実習	10月 15日 B型事業所 実習	10月 15日 B型事業所 実習	中村 施設指導者	実習施設
第11回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第12回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第13回	10月 22日 B型事業所 実習	10月 22日 子ども領域施設 実習	10月 18日 子ども領域施設 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第14回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	10月 22日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第15回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第16回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第17回	10月 29日 子ども領域施設 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 B型事業所 実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	10月 29日 生活介護 事業所実習	中村 施設指導者	実習施設
第18回 #####	学外実習まとめ①						中村	206
回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等						教員	教室 教材
第19回	11月 5日 高齢者関連施設実習						中村 施設指導者	実習施設

(R02-カリキュラム)

第20回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第21回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第22回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第23回	11月 5日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第24回 11月6日	学内振り返り 実習記録	中村	206
第25回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第26回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第27回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第28回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第29回	11月 12日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第30回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第31回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第32回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第33回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第34回	11月 19日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第35回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第36回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教室 教材
第37回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第38回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設

(R02-カリキュラム)

第39回	11月 26日 高齢者関連施設実習	中村 施設指導者	実習施設
第40回 11月27日	老健・通所施設実習 まとめ	中村	
第41回 11月27日	学外実習まとめ①	中村	
第42回 12月12日	MTDLP 概論	中村	
第43回 12月12日	MTDLP 概論	中村	
第44回 12月12日	MTDLP アセスメント演習	中村	
第45回 12月12日	MTDLP アセスメント演習	中村	
定期試験	なし		

授 業 科 目		科目担当	単位数	総時間数		3 年次		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
				講義	実習	前期	後期													
作業療法 評価学	神 経 機 能 評 価 学	間 瀬 亜 由 美	1	30	0	30														
	作 業 遂 行 分 析 学	市 村 紋 子	1	30	0	30														
	臨 床 作 業 療 法 評 価 学 実 習	岡 本 博 行	1	0	30	30														
作業療法 治療学	整形外科疾患作業療法学Ⅱ	鈴 木 亮 太	1	15	0	15														
	神経筋疾患作業療法学	鈴 木 亮 太	2	30	0	30														
	内 部 障 害 作 業 療 法 学	松尾祐介・田尻寿子	1	15	0	15														
	身体障害作業療法学実習Ⅱ	鈴木亮太・宮下正好	1	0	30		30													
	発達障害作業療法学Ⅰ	中村毎途・久保友明	1	30	0	30														
	発達障害作業療法学Ⅱ	中村毎途・森祐子	1	30	0		30													
	精神障害作業療法学各論	野 村 め ぐ み	1	30	0	30														
	義 肢 装 具 学	岡本博行・植田英則	1	30	0	30														
	事 例 報 告 演 習	市村紋子・中村毎途・野村めぐみ	2	60	0	30	30													
臨床実習	臨 床 実 習 Ⅱ	市 村 紋 子	4	0	180	180														
	臨 床 実 習 Ⅲ	市 村 紋 子	10	0	450		450													
				300	690	450	540													
			3705	時間数小計		990														
			130	単位数小計		28														

臨床実習Ⅱ
臨床実習Ⅲ3W(120H+15H)+45H
9W(360H+45H)+45H

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 市村真樹	脳神経外科学、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士、理学療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価、治療について講義を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	高次脳機能障害を持つ対象者への作業療法評価および関わりを理解する					
行動目標（SBO）	1. 脳疾患に関連する高次脳機能障害の症状が説明できる 2. 高次脳機能の各障害に対する検査を挙げ、方法が説明できる 3. 高次脳機能障害の対象者に対する評価の項目と方法が説明できる 4. 高次脳機能障害の対象者に対する作業療法の手段を挙げることが出来る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、高次脳機能障害と、その評価・アプローチについて学びます。障害の多くは脳疾患によって生じますので、脳（特に大脳）の解剖学（構造と役割）を復習しましょう。分かりにくいところは、早めに質問して解決してください。 高次脳機能障害を持つ対象者への治療では、作業療法士がチーム内で中心的役割を担うことも少なくありません。授業を通して関心を高めてもらえるとよいと思います。						
教科書・参考書						
岩崎テル子ほか編. 作業療法評価学 第3版. 医学書院. 2011. 能登真一編. 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院. 2019 医療情報科学研究所 編. 病気がみえる vol.7 脳・神経. メディックメディア. 2012						
受講時留意点、その他						
授業内でスマートフォンを使って動画を視聴する場合があります。各自持参してください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容と配布資料を確認し、不明な点があれば教員まで確認しにきてください。配布資料等は余分に準備していませんので、各自、入手してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	15回分の講義すべてが試験範囲である。60点以上が、本科目の単位取得の条件である。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	高次脳機能障害総論 高次脳機能障害のとらえ方を学ぶ 【KW】脳の階層性、脳の左右のバランス、脳の前後のバランス、回復	間瀬	配布資料 教科書pp.3- 14,26-37	205
第2回	半側空間無視の病態と評価 半側空間無視の病態を理解し、評価方法を学ぶ 【KW】自己中心空間、物体中心空間、注意障害説、アウェアネス	間瀬	配布資料 pp.112- 118	205
第3回	半側空間無視のアプローチ・右半球損傷の症状 半側空間無視の治療を学ぶ。 関連する右半球損傷による症状を理解する。 【KW】視覚走査、プリズム順応、半側身体失認、パーシング障害	間瀬	pp.100- 101,112- 127,223- 240	205
第4回	半側空間無視の検査方法 BITと机上検査の実施方法を学ぶ 【KW】線分二等分テスト、線分末梢テスト、模写テスト、BIT	間瀬	pp.112- 118	OT実習室 1
第5回	視覚性の認知を中心とした障害の評価とアプローチ 視覚失認と視空間認知障害の病態と作業療法を学ぶ 【KW】視覚失認、視空間認知障害、視覚の背側路と腹側路	間瀬	pp.97- 109,213- 221	205
第6回	失行と行為の障害 失行と動作性の高次脳機能障害の病態を学ぶ 【KW】観念失行、観念運動失行、脳梁離断、前頭葉性の動作障害	間瀬	pp.81- 95,201- 212	205
第7回	失行と行為の障害の評価とアプローチ 失行の検査方法とアプローチ、動作性の高次機能障害に対するアプローチを学ぶ 【KW】模倣、物品使用、SPTA	間瀬	pp.81- 95,201- 212	OT実習室 1
第8回	注意障害の評価とアプローチ 注意障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】注意の種類、ワーキングメモリー、CAT	間瀬	pp.47- 55,174- 183	205
第9回	記憶障害の評価とアプローチ 記憶障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】記憶の分類、健忘の分類、エラーレスラーニング	間瀬	pp/47- 66,184- 192	205
第10回	注意障害と記憶障害の神経心理学的検査・失語症 注意障害、記憶障害で用いる検査の名称と実施方法を学ぶ。失語症の病態と対応を学ぶ 【KW】CAT、TMT、WMS-R、RBMT、失語症	間瀬	pp.47- 53,56-62	OT実習室 1
第11回	遂行機能障害とその評価 遂行機能障害の定義、病態と評価方法を学ぶ 【KW】前頭前野、目標達成、企画、調整の障害	間瀬	pp128-136	205
第12回	遂行機能障害の評価とアプローチ 遂行機能障害の評価方法とアプローチ手段を学ぶ 【KW】BADs、WCST、IADL、就労	間瀬	pp128- 141,242- 248	OT実習室 1
第13回	社会的行動障害・高次脳機能障害に関わる社会資源 社会的行動障害の病態と作業療法、高次脳機能障害全般の社会資源について学ぶ 【KW】前頭葉、診断基準、制度、高次脳機能障害支援普及事業	間瀬	pp.142- 153,249- 265,269- 292	205
第14回	高次脳機能障害の脳画像評価 脳画像を用いた高次脳機能障害の評価の要点を理解する 【KW】MRI、CT、機能局在	市村	pp.15-21	205
第15回	対象者像の把握とアプローチ・総括 対象者情報から評価を計画し、評価結果を解釈する方法を学ぶ 【KW】情報収集、観察、評価結果の分析	間瀬	pp.26-40	205
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業遂行分析学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	基礎作業学、基礎作業学実習、 日常生活活動学実習 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の作業遂行の捉え方について、演習を交えて講義します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	人の作業場面を観察して、作業遂行を分析することができる					
行動目標（SBO）	・作業遂行の質を説明できる ・作業遂行技能項目を用いて、運動技能の観察ができる ・作業遂行技能項目を用いて、プロセス技能の観察ができる ・作業遂行の観察から、作業を妨げる要因を分析できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、作業療法では、人が作業している様子をどのようにとらえているか、作業を妨げる要因をどのように解釈するかを演習を通して学びます。他者の作業について、「なぜその人はそれをするのか」「なぜそのような方法なのか」と疑問を持ちながら観察することが重要です。						
教科書・参考書						
参考図書：濱口豊太 標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 第2版（医学書院）、古川宏 作業活動実習マニュアル 第2版（医歯薬出版）						
受講時留意点、その他						
演習と提出物が成績評価対象になります。自発的に参加し、欠席した場合は必ず、次回までに相談に来てください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	0	第6回に、第5回までに理解した内容の小テストを行う。この理解をもとに第7回以降の課題とレポート作成を行う。				
レポート	100	演習で行った内容をレポート提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、課題に対する熱意に欠ける態度は減点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	作業遂行分析とは・方法と視点 【KW】作業遂行分析、作業遂行の質、作業遂行文脈	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第2回	作業遂行分析演習 1 運動技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第3回	作業遂行分析演習 2 プロセス技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第4回	作業遂行分析演習 3 プロセス技能の観察・観察した技能の解釈 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村紋	作業活動実習マニュアル	205
第5回	作業遂行の構成要因を分析する 【KW】人、課題、環境、相互作用	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第6回	5回までのまとめ：小テスト 前回までのまとめを行って、第7回からの演習の準備をする。	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第7回	観察による作業遂行分析 1 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	遠隔
第8回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 1 第7回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第9回	分析結果のまとめ 1 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第10回	観察による作業遂行分析 2 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第11回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 2 第10回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第12回	分析結果のまとめ 2 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第13回	観察による作業遂行分析 3 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第14回	作業の分析と治療プログラムにつながる方略・分析結果のまとめ 3 第13回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行ってレポートにまとめる *課題：分析結果のまとめレポート	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
第15回	作業遂行分析の臨床的活用 AMPSの評価概要を理解する／自己の観察特性を知る 【KW】AMPS, 臨床的観察, 自己分析	市村紋	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	205
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法評価学演習・身体障害作業療法評価学 身体障害作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法を行う上で必要となる、基礎的な評価法を身につける 対象者の疾患特性に応じて、基本的な検査を選択・実施することが出来る					
行動目標(SBO)	各評価における目的と検査方法を理解し、計画と実施ができる 対象疾患に合わせ評価選択、評価実施を行うことができる 身体障害の対象者の基本情報から、評価項目を挙げることができる 実施する評価の実施方法を説明することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
授業前には予習をしておくといでしょう。 実施の際には骨格や体型によって扱い方が異なってくるため、練習の際には多数の人と練習するとよいでしょう。						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。 実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は受講を出来ない場合がある。 授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなどし身だしなみを整える。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	事例に対し「評価列挙」・「評価計画」の実践確認(書面記載)を行う				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	授業オリエンテーション 動作観察・分析 授業方法の解説・準備をおこなう 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第2回	動作観察・分析 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第3回	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第4回	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第5回	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第6回	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 207
第7回	評価列挙の実践確認 作業療法評価場面を撮影した風景を観て評価列挙を行い分析と評価列挙まで行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 207
第8回	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第9回	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第10回	評価列挙の解釈 報告用紙から評価計画に繋がる思考の捉え方を演習する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第11回	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第12回	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 205
第13回	評価計画の実践確認 実際に立てた評価計画を実践する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3 205
第14回	評価計画実践確認後フィードバックと振り返り実践 実技確認後の振り返りを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
第15回	評価計画の検証 実技確認実施後の実技内容の確認 評価計画の検証を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 OT実習室3
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	鈴木亮太	解剖学Ⅰ・Ⅱ、中枢神経障害作業療法学・整形外科Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	脊髄損傷者の生活像を理解し、対象者に合わせた評価と治療を選択することができる。					
行動目標（SBO）	・脊髄損傷者に生じる機能障害を理解し説明することができる。 ・脊髄損傷者に対する評価の実施方法について説明することができる。 ・損傷髄節ごとに達成可能なADLを理解し、支援方法を説明することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
脊髄損傷者に対する作業療法について学びます。脊髄損傷は損傷部位ごとに様々な運動障害、感覚障害、自律神経障害、ADL障害が生じます。正確に対象者を理解するためには、脊髄の解剖および伝導路の知識が必要になります。1年次の復習を十分に行ってから授業に臨みましょう。また、脊髄損傷を受傷された方が様々なメディアを通じて発信されています。対象者の理解に繋がりますから、積極的に視聴するとよいでしょう。						
教科書・参考書						
山口昇 他編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 能登真一 他編／標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。各回の教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100%	定期試験を実施します。6割以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	脊髄損傷の症状 【KW】運動麻痺、感覚障害、自律神経障害	鈴木	評価学 p314-318	205
第2回	脊髄損傷の症状と治療 【KW】自律神経障害、合併症、局所管理、全体管理	鈴木	評価学 p314-318	205
第3回	脊髄損傷者の身体機能の評価 【KW】Zancolliの分類 Frankelの分類	鈴木	評価学 p318-329	205
第4回	脊髄損傷者の身体機能の評価 【KW】ASIAの神経学的評価	鈴木	評価学 p318-329	205
第5回	C4-C5損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】食事動作・車いす操作・マウススティック・環境制御装置	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第6回	C6損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】基本動作・食事・整容・更衣・車いす操作	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第7回	C7-C8、胸腰髄損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL 【KW】排泄・基本動作	鈴木	身体機能 p219-233 配布資料	205
第8回	脊髄損傷者に対する作業療法アプローチ 【KW】社会参加	鈴木	身体機能 p219-233	205
定期試験	前期末試験を実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経筋疾患作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	神経内科学・脳神経外科学・中枢神経障害作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設や地域での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	神経筋疾患の特性を理解し、作業療法の評価及び治療を説明することが出来る					
行動目標（SBO）	・各神経筋疾患の特徴を理解し、評価について説明できる ・各神経筋疾患の進行に合わせた支援方法を説明することができる ・神経筋疾患を調べる方法を身に着け、評価や支援に結びつけることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
神経筋疾患に対する作業療法について学びます。神経内科学の教科書に加え、「病気がみえるvol.7脳・神経」を参考にとすると理解に役立ちます。 また、個人で神経筋疾患に対する作業療法をまとめ、報告をします。分からない事は質問をしたり、自身で調べるようにしましょう。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所/編 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版（メディックメディア） 山口昇 他編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 能登真一 他編／標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
積極的な発言は理解を深めます。活発な授業にしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80%	前期末に筆記試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト						
レポート	20%	第13回～第15回ではレポート課題を実施します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	神経・筋変性疾患の作業療法を学ぶために ～神経難病の概要・かかわる制度を学ぶ～	鈴木	配布資料	205
第2回	パーキンソン病の病態と治療 【KW】：錐体外路症状、Hoehn&Yahrの重症度分類、薬物療法	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第3回	パーキンソン病の対象者に対する作業療法 【KW】：運動療法、ADL、環境調整、社会参加	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第4回	パーキンソン病の対象者に対する作業療法演習 【KW】：パーキンソン体操、移動手段、環境調整	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第5回	脊髄小脳変性症の病態 【KW】：多系統萎縮症、CCA、遺伝、小脳症状、重症度分類	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第6回	脊髄小脳変性症の対象者に対する作業療法 【KW】：運動失調、ADL、環境調整	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	遠隔
第7回	筋萎縮性側索硬化症の病態と作業療法評価 【KW】：運動ニューロンの変性、球麻痺、陰性症状、重症度分類	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	遠隔
第8回	筋萎縮性側索硬化症の対象者に対する作業療法 【KW】：環境調整、IT機器、福祉用具	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第9回	多発性硬化症の作業療法を考える 【KW】：脱髄、空間的・時間的多発、症状、医学的治療	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第10回	重症筋無力症の作業療法を考える 【KW】：アセチルコリン受容体、日内変動、クリーゼ、 評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第11回	多発性筋炎・皮膚炎の作業療法を考える 【KW】：PM・DMの病態、医学的治療、評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第12回	ギランバレー症候群の作業療法を考える 【KW】：GBSの病態と予後、医学的治療、評価、作業療法プログラム	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第13回	稀少な疾患の作業療法プログラムを考える 【KW】：文献検索、難病対策	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第14回	事例に対する評価・治療の実践	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
第15回	事例に対する評価・治療の実践	鈴木	病気がみえる 脳・神経 身体機能作業療 法学	205
定期試験	前期末試験を実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部障害作業療法学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	松尾祐介・田尻寿子 (非常勤講師)	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・運動学Ⅰ・運動学Ⅱ・運動生理学実習・内科学Ⅰ・内科学Ⅱ・身体障害OT評価学・身体障害作業療法評価学実習等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。第7・8回は静岡県立がんセンターに勤務されている作業療法士が担当いたします。そのほかの回は池辺クリニックに勤務されている作業療法士が担当します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	内部障害の作業療法について、疾患特性・作業療法について理解する					
行動目標 (SBO)	1. 内部障害の基礎知識と作業療法の考え方を理解する。 2. 心疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 3. 呼吸器疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 4. 糖尿病・腎疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 5. 悪性腫瘍の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
心疾患や呼吸器疾患、リンパ浮腫に関する治療として診療報酬を請求するためには、OTになってから、専門的な研修を受講し、知識や技術を修得しなければならない。しかし、内部障害を合併している対象者は多く、内部障害の知識やそれに対する作業療法の基本を押さえておくことは極めて重要である。 内科学Ⅰ・Ⅱで学んだ疾患について復習し、作業療法の基本を学んでいくことが大切である。						
教科書・参考書						
山口昇・玉垣努・李範爽編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。 不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施します。6割以上を合格とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>内部障害の基礎と作業療法・心疾患の基礎</u> 廃用症候群を含め、内部障害の特性と作業療法について学ぶ 【KW】全身管理・廃用症候群・冠循環・ポンプ機能	松尾	p135-142 p408-422	205
第2回	<u>心疾患の基礎</u> 虚血性心疾患、心不全について学ぶ 【KW】冠循環、ポンプ機能、心筋虚血、心不全、心拍数、血圧、心電図	松尾	p408-422	205
第3回	<u>心疾患の作業療法</u> 心疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】リスク管理・活動負荷・レジスタンストレーニング	松尾	p408-422	205
第4回	<u>呼吸器の基礎</u> 呼吸器の主な構造・機能、代表的な疾患の病態を学ぶ 【KW】気管支・肺、呼吸運動、肺気量分画、BGA、COPD	松尾	p424-442	205
第5回	<u>呼吸器疾患の作業療法</u> 呼吸器疾患に対する評価と指導の基本を学ぶ 【KW】リスク管理、ADL動作、呼吸法	松尾	p424-442	205
第6回	<u>糖尿病・腎臓疾患の作業療法</u> 糖尿病・腎臓疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】腎臓疾患、糖尿病、リスク管理	松尾	p444-453	205
第7回	<u>悪性腫瘍</u> 病態と障害像	田尻	配布資料	205
第8回	<u>悪性腫瘍の作業療法</u> リハビリテーションの流れ	田尻	配布資料	205
定期試験	前期定期試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法学実習Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太 宮下正好 松尾祐介	内部障害作業療法学・整形外科疾患作業療法学Ⅰ・Ⅱ 身体障害作業療法学実習Ⅰ・中枢神経障害OT学 神経筋疾患作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この授業は作業療法士・理学療法士が担当します。医療施設や地域での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	虚弱高齢者・内部障害・整形外科疾患・神経筋疾患への作業療法評価・治療の流れを具体的に学ぶ。各身体障害の特性を学び、生じる生活障害に対して代償的手段を講じることができる。					
行動目標（SBO）	1．虚弱高齢者に対する作業療法プログラムを立案することができる 2．心疾患に対する運動療法、作業療法プログラムを立案することができる 3．関節リウマチに対する治療を考える 4．脊髄損傷に対する治療を考える 5．神経筋疾患に対する作業療法プログラムを立案することができる 6．慢性閉塞性肺疾患に対する運動療法及び吸引の手技を理解する 7．身体障害の特性を理解し、自助具を作製することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
演習を中心に実施します。これまでに学んだ内部疾患や整形外科疾患、神経筋疾患等の知識を活用しますので、資料等授業に持参するようにしてください。また、第13・14・15回に自助具コンテストを行います。対象者を設定して、自助具を作成し、実際の使い方などをプレゼンテーションします。第1回に説明いたしますので、各自準備を始めてください。						
教科書・参考書						
山口昇・玉垣努・李範爽編/標準作業療法学 専門分野 身体機能作業療法学 第4版（医学書院） 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
対象者に触れ治療をすることを学ぶ授業です。実際の臨床場面を基準とした身だしなみを求めます。授業ではKCを着用してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	80%	各疾患の授業毎に小テストを実施します。				
レポート	20%	自助具コンテストでは作品とレポートを採点し、成績に含めます。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>授業オリエンテーション・虚弱高齢者に対する作業療法</u> 【KW】フレイル・ロコモティブシンドローム・サルコペニア	鈴木	p135-142	OT実習室 2・3
第2回	<u>虚弱高齢者に対する作業療法</u> 【KW】評価・基本チェックリスト・地域リハビリテーション	鈴木	p135-142	OT実習室 2・3
第3回	<u>心疾患に対する運動療法</u> 【KW】精神機能・NYHA・SAS・運動強度	松尾	p408-422	OT実習室 2・3
第4回	<u>心疾患に対するADL指導</u> 【KW】重症度・ADL・IADL	松尾	p408-422	OT実習室 2・3
第5回	<u>関節リウマチに対する作業療法</u> 【KW】病態・リウマチ体操・SARAHプログラム	鈴木	p260-275	OT実習室 2・3
第6回	<u>脊髄損傷に対する作業療法</u> 【KW】急性期・回復期・社会復帰期でのプログラム	鈴木	p214-234	OT実習室 2・3
第7回	<u>神経筋疾患に対する作業療法</u> 【KW】事例検討（グループワーク）	鈴木	p380-406	OT実習室 2・3
第8回	<u>神経筋疾患に対する作業療法</u> 【KW】事例検討（グループワーク）	鈴木	p380-406	OT実習室 2・3
第9回	<u>身体障害とADL</u> 【KW】トップダウンアプローチ・ボトムアップアプローチ	鈴木	p17-37	OT実習室 2・3
第10回	<u>慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する運動療法</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第11回	<u>慢性閉塞性肺疾患（COPD）に対する運動療法</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第12回	<u>吸引（演習）</u>	宮下	p424-442	OT実習室 2・3
第13回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第14回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3
第15回	<u>自助具コンテスト</u> 自分で設定した対象者に対する自助具の目的および作成・使用方法についてプレゼンテーションする	鈴木	配布資料	OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中村毎途・久保友明	小児科学・人間発達学・発達障害作業療法評価学・発達障害作業療法学Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。発達障害領域での実務経験を活かし、発達障害領域での作業療法を教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	運動器以外の発達障害領域における作業療法の臨床像、評価、治療・支援について理解する。					
行動目標（SBO）	1．発達障害領域における作業療法評価から治療の流れが理解できる。 2．感覚統合理論の概要が理解できる。 3．発達の基礎を元に発達障害の特性が理解できる。 4．作業療法の対象となる子どもの特徴が整理できる。 5．発達障害児に対する評価・治療アプローチが説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業ではASDやADHDなど、発達子ども領域で作業療法士が関わる頻度の多い発達障害やダウン症について学習します。地域での生活や社会参加における本人や家族のニーズを通じ、対象児の特性、臨床像、評価、治療について教授します。定義や分類についても多く学習しますので、復習を欠かさず行って下さい。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編 イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
児童発達支援・放課後等デイサービスで勤務している久保友明先生に非常勤講師をお願いしております。発達障害の子どもを支援するための臨床思考について、グループワークを交えて学習しますので、積極的な態度で受講して下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を実施する。 第1～3回、第6～10回、第15回の内容が試験範囲。				
小テスト						
レポート	20	第11～14回の内容を振り返るレポートを提示。提出期日を過ぎた課題は採点対象外とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。提出期日・提出方法が守れていない課題は採点対象外とします。				
（合計）	100					
回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等			教員	教科書	教材 教室

(R02-カリキュラム)

第1回	オリエンテーション・発達障害領域での作業療法概論 作業療法の過程・治療理論について理解する。 【KW】発達課題・正常発達・ニーズ・治療理論	中村	配布資料 p.1-38	205
第2回	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	久保	配布資料 p.27,52-53	205
第3回	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	久保	配布資料 p.27,52-53	205
第4回	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中村	配布資料 p.63-80	205
第5回	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性と評価および治療を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中村	配布資料 p.63-80	205
第6回	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中村	配布資料 p.81-90	205
第7回	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性と評価および治療を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中村	配布資料 p.81-90	205
第8回	知的障害・ダウン症候群 ダウン症候群の特性と評価および治療について理解する。 【KW】ダウン症候群・染色体異常	中村	配布資料 p.159-175	205
第9回	学習障害 学習障害の特性と評価・治療を理解する。 【KW】学習障害	中村	配布資料 p.91-102	205
第10回	発達性協調運動症（DCD） 臨床症状と作業療法を理解する 【KW】DSM-5・不器用・作業療法	中村	配布資料	205
第11回	発達障害児に対する評価 対象児の特性を捉えるため評価について理解する 【KW】観察・活動分析	久保	配布資料	205
第12回	発達障害児に対する評価 対象児の特性を捉えるため評価について理解する 【KW】観察・活動分析	久保	配布資料	205
第13回	発達障害児に対する治療 特性に応じた治療実践の臨床思考について理解する 【KW】ビデオ分析・臨床思考	久保	配布資料	205
第14回	発達障害児に対する治療 特性に応じた治療実践の臨床思考について理解する 【KW】ビデオ分析・臨床思考	久保	配布資料	205
第15回	まとめ・事例を通して作業療法の実際 事例を通して、作業療法を知る 【KW】事例報告・振り返り	中村	配布資料	205
定期試験	終講後に前期末試験を実施する。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅱ	1	30	講義	必修	－
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・森祐子	人間発達学・小児科学・発達障害作業療法評価学 発達障害作業療法学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 後期	この科目は医療分野や地域分野での臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授 業 目 標　＊詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	運動機能に障害のある子どもに対する作業療法の評価、治療・支援について理解する。					
行動目標（SBO）	①運動機能に障害のある子どもの障害特性が理解できる ②運動機能に障害のある子どもに対するアセスメントの視点が分かる ③障害の特性に応じた援助方法が分かる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、発達障害領域の中でも主に運動機能に障害を抱える子供に対する作業療法について学びます。対象児（者）の臨床像、評価、治療について事例を用いてグループワークを通して理解を深めます。 身体機能的な側面だけでなく、ADLを始めとする活動や子どもにとって重要な作業である遊びの他、社会参加に向けた援助についても学びます。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編 イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社 能登真一他編 標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 医学書院						
受講時留意点、その他						
第1・2、11～14回ではグループワークを実施します。積極的な参加を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70%	後期末試験を実施する。60点以上を合格とする。 第1、4～11回の授業内容を試験範囲とする。				
小テスト						
レポート	20%	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践に関するレポート課題 (提出内容、期日、方法については授業内で提示する)				
実技試験						
プレゼンテーション	10%	第2・3、12・13回で実施したグループワークの課題・プレゼンテーション				
その他		非常勤講師に対する無礼な態度、授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。 提出期日・提出方法が守れていない課題は採点対象外とします。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	オリエンテーション・運動に障害のある子どもの発達 運動障害・知的障害の関係 【KW】姿勢反射・評価	中村	配布資料	205
第2回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 1 グループワークを通して子どもの特性を理解する①	中村	配布資料	205
第3回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 1 グループワークを通して子どもの特性を理解する②	中村	配布資料	205
第4回	脳性麻痺の特徴と予後予測 脳性麻痺の特徴と予後予測を理解する 【KW】麻痺のタイプ・評価・予後予測	中村	配布資料	205
第5回	脳性麻痺児のADLと遊び 脳性麻痺児のADL獲得の条件と遊びについて理解する 【KW】ADL・遊び	中村	配布資料	205
第6回	脳性麻痺：痙直型脳性麻痺 臨床症状の特徴を理解する 【KW】痙直型・両麻痺・片麻痺・四肢麻痺	中村	p.103～ 125	205
第7回	脳性麻痺：アトーゼ型脳性麻痺 作業療法を理解する 【KW】活動や参加の制限と対応・発達阻害・補装具や支援	中村	p.127～ 145	205
第8回	重症心身障害 臨床症状を理解する 【KW】定義・分類・呼吸や摂食機能の問題	中村	p.147～ 158	205
第9回	デュシャンヌ型筋ジストロフィー 作業療法を理解する 【KW】代償動作・二次障害・自具	中村	p.178～ 191	205
第10回	小児整形疾患 二分脊椎に対する作業療法について理解する 【KW】二分脊椎・sharrardの分類・H o f f e rの分類	中村	p.193～ 209	205
第11回	障害と特性の理解（第4～10回のまとめ）	中村	配布資料	205
第12回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 2 対象児の社会参加に向けた支援について理解を深める	森	配布資料	205
第13回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 2 対象児の社会参加に向けた支援について理解を深める	森	配布資料	205
第14回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 3 グループワークを通して事例の理解を深め、支援のアイデアをまとめる①	中村	配布資料	205
第15回	運動機能に障害のある子どもに対するOT実践 3 グループワークを通して事例の理解を深め、支援のアイデアをまとめる②	中村	配布資料	205
定期試験	第 1 回、第3～11回の授業内容を試験範囲とする。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学各論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	野村めぐみ、鍋田桃子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法評価学、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。精神医療機関での実務経験を基に、精神障害領域の作業療法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法の対象となる各精神疾患の医学的概要について理解する。 各精神疾患及び時期により異なる作業療法について理解する。					
行動目標(SBO)	1. 統合失調症の概要・症状・回復過程を理解する 2. 統合失調症の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 3. 気分障害の概要・症状・回復過程を理解する 4. 気分障害の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 5. 各精神疾患の概要と、作業療法の役割について理解する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域の作業療法で対象となる様々な疾患について、精神医学的基礎知識及び各回復過程における作業療法について学習します。						
教科書・参考書						
①生活を支援する精神障害作業療法 第2版 医歯薬出版株式会社 ②精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版 中央法規 ③精神障害と作業療法 新版 三輪書店						
受講時留意点、その他						
各疾患の学習前に、精神医学Ⅰ・Ⅱの復習を行ってください。医学的な基礎知識を備えておくことで、回復状況により異なる作業療法の役割を理解することが出来ます。疾患の基礎的な知識を持った上で臨んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	70	前期末に定期試験を実施します。試験範囲は第7回・11回・18回を除く回です。				
小テスト	*	授業の最初に、前回の内容の小テストを行います。復習に活用してください。				
レポート	30	第7回・第11回・第18回：事例を読み、問題点の整理・目標設定・プログラム立案を行い、指定書式にまとめる。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100	定期試験とレポートを合算して成績評価します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション、統合失調症①：概要 コースオリエンテーション。統合失調症の概要、疫学的特徴、成因、症状分類を理解する。【KW】ドパミン、ストレス脆弱性モデル、内因性	野村	②66-110	205
第2回	統合失調症②：回復過程、症状 一般的な回復過程と、各症状を理解する。 【KW】陽性症状、陰性症状、認知機能障害	野村	①31-35 ②66-110	205
第3回	統合失調症③：障害像と対応 日常生活や対人面における障害像を知り、対策を考える。 【KW】認知機能障害、現実検討能力、自我障害	野村	①134-166 ②66-110	205
第4回	統合失調症④：予後・治療、急性期および回復期前期の作業療法 統合失調症の予後、薬物療法、一般的な治療法について理解する。急性期作業療法の役割・目標を理解する。【KW】予後、副作用、心理教育	野村	①60-131, 134-166 ②76-80	205
第5回	統合失調症⑤：回復期作業療法 回復期後期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。 【KW】回復期後期、退院支援、クライシスプラン	野村	①134-166 ②66-110	205
第6回	統合失調症⑥：維持期作業療法、再発サイン 維持期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。 【KW】回復期後期、維持期、前駆症状、地域定着支援	野村	①174-258 ②66-110	205
第7回	統合失調症⑦：統合失調症の事例検討 統合失調症の事例を読み、対象者を理解する。解釈、目標設定、治療プログラム立案を模擬的に行う。【KW】評価、長・短期目標、プログラム立案	野村	配布資料	205
第8回	うつ病と双極症①：概要、症状 うつ病と双極症の全体像、疫学的知識、一般的にみられる症状を理解する。【KW】Ⅰ型・Ⅱ型、抑うつ、躁、思考の異常	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第9回	うつ病と双極症②：病因、治療 うつ病と双極症の病因と一般的な治療方法を理解する。 【KW】病前性格、遺伝素因、m-ECT	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第10回	うつ病と双極症③：作業療法 回復過程に沿った作業療法の目的、役割を理解する。【KW】回復過程、うつ病相、躁病相	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第11回	うつ病と双極症④：うつ病の事例検討 事例を読み対象者理解と、目標設定・プログラム理解を模擬的に行う。【KW】回復過程、うつ病相、躁病相	野村	①260-269 ②111-150 配布資料	205
第12回	不安症、強迫症 不安症と強迫症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】パニック発作、強迫観念、強迫行為、自由度	野村	①290-294 ②151-169,175-177 配布資料	205
第13回	解離症群、身体症状症及び関連症 解離症群及び身体症状症とストレス関連症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】昏迷、健忘、昏迷、疾病利得	野村	②170-174	205
第14回	ストレス関連症、てんかん ストレス関連症とてんかんの概要、症状、治療方法を理解する。【KW】フラッシュバック、PTSD、全般発作、部分発作、発作の誘因	野村	②170-174, 277-285	205
第15回	依存症 依存症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】精神依存、身体依存、耐性、離脱症状、自助グループ	鍋田	①301-305 ②188-215 配布資料	205
第16回	摂食症 摂食症の概要、症状、治療方法を理解する。 【KW】神経性無食欲症、神経性大食症、自己表現	野村	①295-305 ②178-187 配布資料	205
第17回	パーソナリティ症 パーソナリティ障害の概要、種類、基本的な症状と治療及び留意点を理解する。 【KW】ボーダーラインシフト、全般発作、部分発作、発作の誘発因子	野村	①276-280 ②216-225 配布資料	207
第18回	事例検討、まとめ 不安症、強迫性症、解離症群、身体症状症、ストレス関連症、摂食症、依存症、パーソナリティ症から1事例選択し事例を読んでまとめる。	野村	配布資料	207
定期試験	事例検討を除く第1回～第17回の内容について前期末試験を行います。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・植田英則	解剖学Ⅰ・Ⅱ 運動学Ⅰ・Ⅱ 整形外科学Ⅰ・Ⅱ 整形外科疾患作業療法学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	義肢装具に関する基礎的な知識を修得する 義肢装具使用者に対する作業療法士の役割を修得する					
行動目標(SBO)	義手の構造、チェックアウト及び切断者の作業療法の方法がわかる 装具・スプリントの構造、適応がわかる スプリントを製作、チェックアウトができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
身体構造・手の機能の復習をしっかりとってから授業に臨みましょう。 実際にスプリントが作製できるようになることが求められます。 初めて触れる素材を使用しますので、大変扱いにくいと思います。 真剣に取り組んでください。						
教科書・参考書						
作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 義肢装具学(メジカルビュー社)						
受講時留意点、その他						
受講時は学校指定のポロシャツを着用してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	90	定期試験を実施する				
小テスト						
レポート	10	スプリント装着体験レポート(製作したスプリントを含む)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>義肢装具の歴史と概要・義肢装具の作業療法の役割</u> 義肢装具を取り扱う上で必要な知識を得る。 【KW】義肢・装具・義肢装具士	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第2回	<u>切断の基礎知識</u> 四肢切断の傾向と原因を説明できる。部位別分類ができる。 【KW】義肢・切断・離断	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第3回	<u>義手のチェックアウト・計測の実施</u> 四肢の計測ができる。 持ち物：メジャー 【KW】周径・長さ・ランドマーク	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第4回	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第5回	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第6回	<u>義手のチェックアウト・義手装着訓練</u> 義手のチェックアウト方法を理解する。義手の操作訓練を理解する。 【KW】チェックアウト・操作効率・作業効率	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第7回	<u>上肢装具・スプリントの分類と適応、作業療法士の役割</u> 装具療法における作業療法士の役割について説明できる。スプリントの分類・適応が説明できる。【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第8回	<u>各装具の理解</u> 上肢・下肢・体幹のそれぞれの装具が理解できる 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第9回	<u>装具の適応と目的</u> 各種スプリントの適応や目的を理解する 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第10回	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわかる。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第11回	<u>理学療法部門の義肢装具</u> 理学療法分野における義肢装具の理解（歩行・ADL）を学ぶ 【KW】理学療法・義肢装具・歩行	植田 岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第12回	<u>スプリントの製作演習（セーフティピン）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第13回	<u>スプリントの製作演習（短対立装具）</u> スプリントの作製、チェックアウトを行う。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第14回	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
第15回	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室1
定期試験	前期末試験を実施します			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例報告演習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 中村毎途 野村めぐみ	作業療法評価学各科目、作業療法各論各科目、 臨床実習Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 通年	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法における診療記録の記載、実践報告の方法を教授します。					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法で行う記録の技能を習得する					
行動目標（SBO）	1. 作業療法評価及び治療内容を診療記録に記載することができる。 2. 対象者の評価結果をまとめ、報告書に記載できる。 3. 臨床実習で経験した事例を口頭で報告できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
診療記録の記載演習は手書きで行います。報告書作成ではパソコンを使って演習を行う場合があります。 パソコン作業に不慣れな場合は、キーボード操作、wordを用いた文書作成などに少し親しんでおいた方がスムーズです。						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学（医学書院） 市川和子／編 標準作業療法学 臨床実習とケーススタディ（医学書院） 二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論（医学書院）						
受講時留意点、その他						
ボールペン等の消せない筆記用具、訂正用の印鑑を持参すること。 提出課題により成績評定をする為、欠席した場合は速やかに教員に相談に来ること。 この科目は通年授業です。後期の状況とともに成績を評価します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	カルテ、事例報告書等の指定課題を提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回	<u>オリエンテーション、事例報告の基礎</u> 【KW】事例報告の目的、個人情報保護、SOAP、問題点の抽出 ＊事例情報記載方法の基本、個人情報保護の意義と方法を理解する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第2回	<u>評価結果の読み取りと整理 1</u> 【KW】情報の整理 ＊評価結果が記載された一覧をもとに、所定の書式に記入する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第3回	<u>評価結果の読み取りと整理 2</u> 【KW】情報の整理、問題点と利点の列挙 ＊評価結果を所定の書式に記入し、問題点と利点を列挙する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第4回	<u>評価結果まとめレポートの記載</u> 【KW】評価のまとめ、書面報告 ＊事例の評価結果を文章にまとめ、パソコンで文書を作成する。	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	206
第5回	<u>評価計画と結果の解釈1</u> 【KW】事例情報の整理・評価項目の列挙 ＊事例情報を読んで状態を把握し、対象に応じた評価項目を挙げる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第6回	<u>評価計画と結果の解釈2</u> 【KW】評価期間、評価手順、機器・器具の準備、環境設定 ＊評価計画を具体化する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第7回	<u>評価計画と結果の解釈3</u> 【KW】ICF分類、問題点と利点 ＊事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第8回	<u>評価計画と結果の解釈4</u> 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 ＊ゴール設定と治療計画を考える	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第9回	<u>事例報告書の記載 1</u> 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第10回	<u>事例報告書の記載 2</u> 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学	205
第11回	<u>事例報告書の記載 3</u> 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 ＊評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学	204
第12回	<u>評価・治療場面の観察と記録 1</u> 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 ＊書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	205
第13回	<u>評価・治療場面の観察と記録 2</u> 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 ＊書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	OT実習室 2・3
第14回	<u>MTDLPを使った事例報告のまとめ方</u> 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	205
第15回	<u>MTDLPを使った事例報告のまとめ方</u> 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	205
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	評価計画と結果の解釈 1 【KW】疾患、病期、評価項目 * 提示された事例情報を理解する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第17回	評価計画と結果の解釈 2 【KW】評価項目の列挙 * 評価項目を挙げる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第18回	評価計画と結果の解釈 3 【KW】評価期間、評価手順、環境設定 * 評価計画を具体化する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第19回	評価計画と結果の解釈 4 【KW】ICF分類、問題点と利点 * 事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第20回	評価計画と結果の解釈 5 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 * ゴール設定と治療計画を考える	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第21回	事例報告書の記載 1 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第22回	事例報告書の記載 2 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第23回	事例報告書の記載 3 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第24回	事例報告書の記載 4 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	野村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	205
第25回	治療経過報告演習（身体障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	市村	配布資料	205
第26回	治療経過報告演習（身体障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	市村	配布資料	205
第27回	治療経過報告演習（精神障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	野村	配布資料	205
第28回	治療経過報告演習（精神障害領域） 治療経過、再評価結果の報告書作成を学ぶ 【KW】治療経過、再評価、結果の考察	野村	配布資料	205
第29回	口頭報告の方法 事例を口頭で報告する方法と事例報告会への参加方法を学ぶ 【KW】口頭報告、質疑応答	市村	配布資料	205
第30回	事例の口頭報告演習 臨床実習で経験した事例をもとに、口頭報告の準備をする。 【KW】口頭報告、質疑応答	市村	配布資料	205
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	4	180	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、身体障害領域の対象者への検査・測定が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得する。 ・基本情報の収集、対象者のニーズの聴取、検査・測定を疾患特性に応じて模倣レベルで行える。 ・模倣レベルで検査、測定結果から問題点と利点を抽出し、評価結果の総括が行える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、2年次までの授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は4月14日（月）から5月7日（水）のうち15日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例情報を参照し、疾患に応じた検査実施方法の計画とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点と利点の抽出とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例に対し、面接及び指定された検査の実施とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	OSCE（身体障害領域）事例提示・演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	鈴木		OT実習室 1
第2回	臨床実習Ⅱ 授業オリエンテーション 臨床実習Ⅱのスケジュールや課題の確認	市村		OT実習室 1
第3回	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	鈴木		OT実習室 2・3
第4回	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	鈴木		OT実習室 2・3
第5回	臨床的思考演習1 疾患特性に応じた検査実施の計画 面接及び基本的な検査について、疾患特性に応じた計画の立て方を学ぶ	市村		207
第6回	臨床的思考演習2 問題点と利点の抽出 検査結果から問題点と利点を抽出する方法を学ぶ	市村		207
第7回	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村		OT実習室 2・3
第8回	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	中村		OT実習室 2・3
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本, 間瀬 鈴木, 中村 市村, 非常 勤講師		OT実習室 1・2・3
第10回	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	市村		OT実習室 2・3
第11回	OSCE（身体障害領域）実施・実技補充 OSCE実施に対し振り返りと実技補充を行う	間瀬		OT実習室 2・3
第12回	実習前セミナー 実技練習	鈴木		OT実習室 2・3
第13回	実習前セミナー 実技練習	鈴木		OT実習室 2・3
第14回	実習前セミナー 連絡事項、書類確認	市村		OT実習室 2・3
第15回	実習前セミナー 実習前準備・実技練習	中村		OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4月14日-4 月18日	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、 間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2週 4月21日-4 月25日	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半 の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第3週 4月28日-5 月7日	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	実習後セミナー 連絡事項・書類確認	市村		205
第17回	実習後セミナー 実習后面談、情報共有	市村		205
第18回	実習後 筆記試験	市村		205
第19回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する	市村		205
第20回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	岡本, 間瀬 鈴木, 中村 市村, 非常勤 講師		OT実習室 1・2・3
第21回	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	市村		OT実習室 2・3
第22回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する	市村		205
第23回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う	市村		205

(R02-カリキュラム)

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの閲覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 TEL 0545-55-3888 (平日の8:30 - 17:30)
実習期間用直通携帯番号 (時間外) : 080-6915-3888
代表E-mail : otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットςで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネットς上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	10	450	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 ＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 後期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 ＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者への評価と結果の解釈、模倣レベルでの治療が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者との良好な関係が構築できる。 ・対象者に対して初期評価計画を立案し、実践できる。 ・模倣レベルで治療が実践できる。 ・評価結果から問題点と利点が抽出できる。模倣レベルでゴールとプログラムが設定できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践し、学校教員は実習施設訪問を行う。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、3年次前期までの授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は9月22日（月）から11月26日（水）のうち45日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、①中枢神経疾患または整形外科疾患／統合失調症の事例情報をもとにした初期評価計画の立案・②同評価結果をもとにした問題点抽出及び単一の問題に対するゴール設定とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点の関連の考察、ゴール設定、プログラム立案とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例への初期評価実践、または統合失調症の事例との作業場面からニーズと精神・心理機能の評価とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第1回	臨床実習 授業オリエンテーション 臨床実習のスケジュールや課題の確認		市村		205
第2回	OSCE（身体障害領域）事例提示	OSCE（精神障害領域）事例提示	学科教員		205/OT1
第3回	臨床的思考演習事例に対する評価計画の立案 事例に応じて初期評価計画を立案する方法を学ぶ		市村		205
第4回	臨床的思考演習 初期評価のまとめ 評価結果から、問題点を考察し、ゴール設定・プログラム立案を行う方法を学ぶ		市村		205
第5回	治療演習（身体障害領域） 評価から治療への展開と治療手段を 学ぶ	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	学科教員		OT 1・ 2・3
第6回	治療演習（身体障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講 師		OT 1・ 2・3
第7回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT 2・3 /OT1
第8回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT 2・3 /OT1
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT 2・ 3,207/ OT1
第10回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT 2・3 /OT1
第11回	OSCE（身体障害領域） 実施後実技補充 OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	学科教員		OT 2・3 /OT1
第12回	実習前セミナー 連絡事項・書類配布		市村		OT 1・ 2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 9/22-9/26	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、 間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2 - 4 週 9/29-10/17	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第5週 10/20-10/24	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半 の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第6 - 8 週 10/27-11/14	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第9週 11/17-11/26	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第13回	実習後セミナー 実習後面談・情報共有		市村		OT 2・3
第14回	実習後セミナー 連絡事項・書類確認		市村		OT 2・3
第15回	実習後 筆記試験		市村		205
第16回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する		市村		205
第17回	実習後セミナー 実技練習		学科教員		OT2・3
第18回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講 師		OT1・2・ 3 /OT1,207
第19回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT 2・3 /OT1
第20回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する		学科教員		
第21回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		
第22回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		
第23回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		学科教員		

(R02-カリキュラム)

＜実習中の連絡等について＞

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの回覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 TEL 0545-55-3888（平日の8:30－17:30）
実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888
代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

＜災害発生時について＞

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットςで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネットς上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

[illegible]

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動学Ⅲ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村真樹	運動学Ⅰ・運動学Ⅱ・基礎OT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この科目は理学療法士が担当します。身体の運動機能を生体力学を中心に動作分析を教授します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	力学的に物事を考え、臨床意思決定の助力にすることができる。					
行動目標（SBO）	1) 身体の運動機能の演習ができる。 2) 力の合成と分解の演習ができる。 3) 生体におけるテコの演習ができる。 4) 重心を求めることができる。 5) 運動のバイオメカニクスの演習ができる 6) 運動学習の演習ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
臨床運動学は、運動学Ⅰ、Ⅱの復習と生体力学的思考をプラスして教授します。これは、理学療法や作業療法の治療理論の重要な基礎となります。実際の臨床現場への知識技術の導入例や国家試験問題を例に説明します。						
教科書・参考書						
教科書：国試の達人PT・OTシリーズ2026年 運動解剖生理編 第31版（アイベック） 参考書：①PT・OTのための運動学テキスト第1版補訂版 ②中村隆一・他：基礎運動学（第6版・補訂）医歯薬出版，2012。＜その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する＞						
受講時留意点、その他						
学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。配布資料はテキストは配布します。追加資料や動画資料は希望者のみに配布します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	期末試験を行う。60%以上を合格の目安とし、至らない場合、再試験を行う。				
小テスト		オンラインで6回実施する。記述小テストを2回実施する。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	運動機能：骨・関節・筋 骨・関節・筋の基本構造、機能を学ぶ 【KW】骨の構造、関節の構造、収縮メカニズム 他	市村真樹	国達1・2・3・4章	
第2回	運動機能：上肢（肩甲骨・肩関節） 肩甲骨と肩関節の構造と運動を学ぶ 【KW】肩甲骨・腕関節、肩甲骨の運動 他	市村真樹	国達5章 運動学 テキストp113～	
第3回	運動機能：上肢（肘・手・手指） 肘、前腕、手、手指の構造と運動を学ぶ 【KW】肘関節、肘角、手関節、手指の運動	市村真樹	国達5章 運動学 テキストp138～	
第4回	運動機能：下肢（骨盤・股関節） 股関節の構造と運動を学ぶ 【KW】股関節の関節、靱帯・骨盤に付着する筋 他	市村真樹	国達6章 運動学 テキストp203～	
第5回	運動機能：下肢（膝関節・足関節） 膝・足の構造と運動を学ぶ【KW】 膝関節、膝半月、膝靱帯、足関節 他	市村真樹	国達6章 運動学 テキストp236～	
第6回	運動機能：顔面と体幹 顔面・体幹の運動を学ぶ 【KW】咀嚼筋、表情筋、脊柱の関節、脊柱の靱帯 他	市村真樹	国達7章 運動学 テキストp281～	
第7回	力の合成と分解 【KW】力の合成、力の分解、ベクトル	市村真樹	国達10章 運動学 テキストp16～	
第8回	生体におけるテコと重心の求め方 【KW】テコ、重心、加速度	市村真樹	国達10章 運動学 テキストp16～	
第9回	床反力と関節モーメント 【KW】床反力、重心加速度、関節モーメント、筋活動	市村真樹	国達10章 運動学 テキストp16～	
第10回	運動機能：姿勢 立位姿勢と座位の基本動作を学ぶ 【KW】重心、主要姿勢筋、重心移動、筋活動 他	市村真樹	国達8章 運動学 テキストp494～	
第11回	立位と立ち上がりのバイオメカニクス 【KW】重心、支持基底、運動・位置エネルギー	市村真樹	国達8章 運動学 テキストp494～	
第12回	歩行の運動学 【KW】歩行周期	市村真樹	国達9・10章 運動学 テキストp386～	
第13回	歩行のバイオメカニクス1： 心と床反力作用点 【KW】歩行中の重心、COP	市村真樹	国達9・10章 運動学 テキストp386～	
第14回	歩行のバイオメカニクス2： 重心の動きを滑らかにする機能 【KW】衝撃吸収、ロッカーファンクション	市村真樹	国達9・10章 運動学 テキストp386～	
第15回	歩行のバイオメカニクス3： 異常歩行 【KW】代償運動、逸脱運動	市村真樹	国達9・10章 運動学 テキストp386～	
第16回	上肢の運動のバイオメカニクス 【KW】モーメント、トルク、重心、てこ	市村真樹		
第17回	下肢の運動のバイオメカニクス 【KW】モーメント、トルク、重心、てこ	市村真樹		
第18回	運動学習1： 臨床と運動学習の関係 【KW】学習、フィードバック、KR	市村真樹	国達11章 運動学 テキストp63～87	
第19回	運動学習2： 運動技能と学習曲線 【KW】技能、パフォーマンス	市村真樹	国達11章 運動学 テキストp63～87	
第20回	まとめと演習問題	市村真樹		
定期試験	筆記試験（5択、記述、記号選択、その他）			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人体構造学	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	植田英則・市村紋子・宮下正好	解剖学Ⅰ・生理学Ⅰ・生理学Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期						
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法を行う上で必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標(SBO)	1. 神経・感覚:中枢神経、末梢神経、体性感覚、特殊感覚を学ぶ。 2. 植物機能:循環器、呼吸器、消化器、泌尿器、代謝、内分泌を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
・この授業は、解剖学・生理学の総復習を行う。 ・授業内では、最重要事項を抜粋して説明する。授業で扱う内容は確実に覚えること。 ・教科書、参考書を活用し、より深い知識の習得に努めること。						
教科書・参考書						
【教科書】国試の達人 PT・OTシリーズ2026年 運動解剖生理学編 第31版(アイベック) 【参考書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版(医学書院) 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学(医学書院)						
受講時留意点、その他						
この授業の後期末試験は、 <u>卒業試験</u> となる。進度に応じて内容を変更することがある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験	100	後期末試験100%で成績評価を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		正当でない理由での欠席・遅刻などは減点の対象とする。 無礼な行為、迷惑行為、授業中の飲食・スマートフォンの使用、授業についてのSNS等への投稿 等は減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	[植物機能1]循環系① 心臓の構造と機能 心臓の基本構造と拍出機能を学ぶ。【KW】心臓の構造・刺激伝導系・冠状動脈・減圧反射	宮下	14章	205
第2回	[神経・感覚1]神経の基礎 ニューロンの構造と伝導・伝達・反射を学ぶ。【KW】神経細胞・神経膠細胞・伝導・伝達・反射	市村紋	12章	205
第3回	[植物機能2]循環系② 末梢循環の構造 血管、リンパの構造を学ぶ。【KW】血管の構造・動脈の分岐・静脈の合流・リンパ系・循環反応	宮下	14章	205
第4回	[神経・感覚2]中枢神経1 大脳 大脳の構造と機能を学ぶ。【KW】大脳半球・大脳皮質・大脳基底核・錐体路と錐体外路 ほか	市村紋	12章	205
第5回	[植物機能3]呼吸系 呼吸器の構造と機能を学ぶ。【KW】気管・気管支・肺・呼吸運動・ガスの移動と運搬・酸塩基平衡 ほか	宮下	15章	205
第6回	[神経・感覚3] 中枢神経2 間脳～脊髄 間脳等の構造、機能を学ぶ。【KW】視床と視床下部・脳幹・小脳・脊髄・脳循環(ウィリス動脈輪)	市村紋	12章	205
第7回	[植物機能4]消化と吸収① 消化器の構造 腹部消化管の構造を学ぶ。【KW】口腔～咽頭・胃の構造・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓	市村紋	16章	205
第8回	[神経・感覚4]末梢神経1 脳神経 脳神経の位置、機能を学ぶ。【KW】脳神経の起始・種類・顔面の運動・顔面の感覚・視覚の経路 ほか	植田	12章	205
第9回	[植物機能5]消化と吸収② 消化器の機能 消化・吸収と排便を学ぶ。【KW】嚥下・糖質・脂質・タンパク質の消化と吸収・門脈	市村紋	16章	205
第10回	[植物機能6]泌尿器 腎臓・膀胱の構造と尿の生成・排尿を学ぶ。【KW】腎臓の構造・尿の生成・尿量の調節・膀胱の構造・畜尿と排尿	宮下	17章	205
第11回	[神経・感覚5]末梢神経2 脊髄神経・自律神経 筋の支配神経と自律神経を学ぶ。【KW】筋の支配神経・腕神経叢・交感神経・副交感神経 ほか	植田	12章	205
第12回	[植物機能7]:代謝 代謝の基礎事項と栄養を学ぶ。【KW】基礎代謝量・栄養素・エネルギー代謝・体温	植田	18章	205
第13回	[神経・感覚6]体性感覚 体性感覚の受容器と伝導路を学ぶ。【KW】感覚の基礎事項・皮膚・体性感覚の受容器・神経線維の分類 ほか	植田	13章	205
第14回	[植物機能8]ホルモン ホルモンの種類、名称、産生部位、作用を学ぶ。【KW】ホルモンの基礎事項・下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン ほか	植田	19章	205
第15回	[神経・感覚7]特殊感覚 視覚器、平衡聴覚器の構造と機能を学ぶ。【KW】眼球の構造・遠近調節・対光反射・明暗順応・聴覚・平衡覚	植田	13章	205
定期試験	後期末試験(卒業試験):第1回～第15回の範囲で行う			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーションと障害	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	内田成男/中村直人/ 野村めぐみ	臨床医学(病理学、脳神経外科学、神経内科学、内科学、精神医学、臨床心理学、整形外科科学など)				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は理学療法士・作業療法士・心理学専門家が担当します。臨床および教育における実務経験を踏まえ、リハビリテーション対象疾患の要点を整理し、疾患の理解を深めることを教授して行きます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法の実施に必要な臨床医学等の知識を再確認し、臨床実践に活用する。					
行動目標(SBO)	以下の疾患等について、理学・作業療法を実施する上で重要事項を整理し理解する。 1. 病理学 2. 内科学(内部障害) 3. 骨関節障害(整形外科疾患) 4. 臨床神経学 5. 精神医学(精神障害) 6. 臨床心理学の基礎と精神科疾患 7. 小児及び老年期の障害 8. リハビリテーション概論。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は病理学・臨床医学・臨床心理学・リハビリテーション医学等の知識を整理し、理学療法・作業療法を実施する上で病的状態と障害について重要な事項を復習していく専門基礎科目です。広範な知識の確認が必要となるため、日々の積み重ねによる粘り強い学習が求められます。重要なポイントを短絡的に覚えるだけではなく、練習問題を解きながら、その背景や関連事項も理解していきましょう。						
教科書・参考書						
教科書:理学療法士・作業療法士 国家試験 必修ポイント 専門基礎分野 臨床医学2025:医歯薬 ※病理学、内科学、臨床心理学、神経内科学、整形外科科学など関連する臨床医学の指定教科書 参考書:必要に応じ、適宜紹介する。						
受講時留意点、その他						
この科目の後期末定期試験は、最終学年修了の定期試験となります。 自己の臨床経験も踏まえ、臨床医学の知識を着実に理解することが重要となる。 必要に応じて、補習授業を実施する場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末定期試験				
小テスト		実施する場合がある。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション		提出課題の発表を予定している。				
その他		授業に対する迷惑行為、正当な理由のない遅刻・欠席、不適切な受講態度は、成績評価の減点ポイントとします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション・病理学① 用語、創傷治癒、炎症、感染、腫瘍 【KW】炎症症状、感染、悪性腫瘍、変性、萎縮、壊死、肥大	内 田	p2~68	配布資料等 202
第2回	病理学② 病理所見、病因論(循環障害・アレルギー・遺伝性疾患・他) 【KW】痙縮、ショック、浮腫、Ⅰ型・Ⅱ型アレルギー、変性、脱髄、他	内 田	p2~68	配布資料等 202
第3回	精神障害と臨床医学① 統合失調症、気分障害、認知症 【KW】思考障害、統合失調症の分類・症状、うつ病と躁病、双極性障害、認知症の原因疾患、分類	野村	p316~394	配布資料等 202
第4回	精神障害と臨床医学② 依存症、薬物療法、てんかん、その他 【KW】アルコール依存、向精神薬、てんかんの分類、	野村	p316~394	配布資料等 201
第5回	骨関節障害と臨床医学① 骨折、関節リウマチ、変形性関節症、その他 【KW】骨折治癒過程、RAの診断基準・Stage	内 田	p69~108	配布資料等 203
第6回	骨関節障害と臨床医学② 小児整形外科、切断、骨粗鬆症、その他 【KW】骨端症、Frankel分類、ASIA、骨壊死、CRPS	内 田	p69~108	配布資料等 203
第7回	中枢神経障害と臨床医学① 脳血管障害、高次脳機能障害、その他 【KW】神経症候、局所症状、画像所見、ゲルストマン症候群、PD	内 田	p109~170	配布資料等 203
第8回	中枢神経障害と臨床医学② 運動N疾患、脱髄疾患、脊髄損傷、他 【KW】ALS、MS、脊髄損傷、ASIA、その他	内 田	p109~170	配布資料等 203
第9回	末梢神経・筋障害と臨床医学およびリハビリテーション医学 【KW】GBS、絞扼性神経障害、PMD、ICF、障害受容、介護保険、他	内 田	p171~192	配布資料等 203
第10回	臨床心理学② 心理検査と学習、心理発達 【KW】投影法、知能検査、記憶、発達課題など	中村直	p269~314	配布資料等 203
第11回	臨床心理学① 防衛機制と心理療法 【KW】防衛機制(投影・反動形成・同一化・他)、心理療法、その他	中村直	p269~315	配布資料等 203
第12回	内科学① 循環器疾患・呼吸器疾患 【KW】虚血性心疾患、心不全、不整脈、COPD、スパイログラム、他	内 田	p395~412	配布資料等 203
第13回	内科学② 代謝疾患、消化器疾患、内分泌疾患、膠原病、その他 【KW】糖尿病、イレウス、肝炎・肝硬変、自己免疫、アジドーシス、他	内 田	p395~412	配布資料等 202
第14回	小児・老年期の障害 廃用症候群、高齢者、小児の障害、予防医学 【KW】高齢者、安静臥床、サルコペニア、フレイル、二分脊椎、他	内 田	p395~447	配布資料等 203
第15回	臨床医学とリハビリテーション まとめ	内 田	教科書 全体	配布資料等 203
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	関連法規	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途・生田純一	リハビリテーション概論、社会福祉概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法士として現場で働くために必要な関連する制度や法律について理解する。					
行動目標(SBO)	①理学療法士及び作業療法士法が理解できる ②医療保険制度の仕組みと、診療報酬について説明できる ③障害者総合支援法について説明できる ④介護保険法について説明できる ⑤精神障害者に関連する法律について説明できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
リハビリテーションの根拠となる法令の概要、人々の健康を守る施策の学習を通し、作業療法士の責任と判断根拠について学習します。 作業療法士が働く現場は多岐にわたるが、多くの作業療法士は医療保険や介護保険などの社会保障制度に関連した施設で業務にあたります。各施設で行った作業療法に対しては制度に定められた範囲の報酬を受け取っており、その仕組みの理解が求められます。卒業後に求められる内容であるため、積極的に学習してください。						
教科書・参考書						
受講時留意点、その他						
臨床現場で、すぐに必要となる内容の授業を行います。 作業療法士になるという自覚をもって授業に出席してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回課題レポートを提示します。期限が過ぎた課題は採点対象外となります。(0点)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	コースオリエンテーション・理学療法士及び作業療法士法	中村	配布資料	205
第2回	医療保険とリハビリテーション	生田	配布資料	講堂 レクリエー ション室
第3回	医療保険とリハビリテーション	生田	配布資料	講堂 レクリエー ション室
第4回	精神障害者福祉とリハビリテーション	中村	配布資料	205
第5回	介護保険とリハビリテーション	中村	配布資料	205
第6回	障害者総合支援法とリハビリテーション	生田	配布資料	講堂 レクリエー ション室
第7回	障害者総合支援法とリハビリテーション	生田	配布資料	講堂 レクリエー ション室
第8回	介護保険とリハビリテーション・まとめ	中村	配布資料	205
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法研究	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	情報統計科学・事例検討・臨床実習Ⅲ・臨床実習Ⅳ・臨床作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要　＊実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4 年次 前期・後期	この授業は主に作業療法士が担当します。病院等医療施設での臨床研究経験をもとに、臨床家に求められる研究態度を講義します。					
授業目標　＊詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	研究法の基礎を理解し、作業療法士が研究を報告する手順がわかる。					
行動目標（SBO）	1.臨床における研究の概論と倫理が分かる 2.作業療法における事例報告の手順がわかる 3.リハビリテーション関連の学術論文を読んで知見を得ることができる 4.目的に応じた文献を収集し、テーマに沿ってこれまでの知見をまとめることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法　など						
この科目では、作業療法において新しい知見を求め、公表するための知識と技術を学びます。データを集め、報告する経験を通じて、研究の手順を理解します。また、臨床的疑問について文献を中心に究明し、報告する技術を異に身に着けます。臨床では、経験を学会発表や論文の形式で公表することが求められます。そのための基礎技術を学びましょう。またここ数年では、研究に関する知識は国家試験問題でも問われています。基礎的用語が理解できるようにしましょう。						
教科書・参考書						
標準作業療法学　作業療法研究法 第2版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
この科目は通年です。提出課題により成績を判定しますので、欠席した場合は、授業内で行った課題の扱いについて、速やかに相談にきてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点　など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	原則的に授業内にて課題を行う。提出課題を総合して成績を判定する。期限に遅れた課題は採点しない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食・内職等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	研究法総論・研究倫理 評価の位置付けと目的、研究倫理を理解する 【KW】エビデンス・インフォームドコンセント・ヘルシンキ宣言 * 作業療法士が研究を行う意義を理解する。	市村	pp12-57	205
第2回	文献検索と文献抄読、総説的研究 文献検索の方法と総説の読み方を理解する 【KW】検索ワード・原著論文・システムティックレビュー・メタアナリシス * 課題提出：関心のある文献タイトル一覧	市村	pp69-74	204
第3回	文献抄読演習 1 事例研究の読み方を理解する 【KW】研究の目的・評価・治療経過・結果 * 事例研究論文の講読演習を行う	市村	pp69-74	205
第4回	文献抄読演習 2 実験研究の読み方を理解する 【KW】仮説、対象、実験デザイン、統計、結果の解釈 * 実験研究論文の講読演習を行う	市村	pp69-74	205
第5回	文献抄読レポートの記載 文献抄読レポートの書き方を理解する 【KW】文献情報の記載方法、研究の要約 * 課題提出：文献抄読レポート	市村	pp69-74	204
第6回	研究方法論総論 研究方法の種類を理解する 【KW】量的研究・質的研究・総説的研究・事例研究 * それぞれの文献を読む際に必要な知識を身につける。	市村	pp62-68,144-185	205
第7回	量的研究総論 量的研究の概要を理解する 【KW】操作、統制、無作為化、盲検化 * 量的研究の数値の取り扱い、分析の考え方について学ぶ。	市村	pp77-107	205
第8回	質問紙調査方法論 質問紙調査の実施方法を理解する 【KW】標本、母集団、標本抽出 * 調査研究のうち、質問紙を用いた研究について学ぶ。	市村	pp85-97	205
第9回	実験研究方法論 実験研究の方法を理解する 【KW】実験、準実験、非実験、群間比較研究 * データの検定方法について理解する。	市村	pp98-108,186-200	205
第10回	実験研究方法論 実験研究の方法を理解する 【KW】実験、準実験、非実験、群間比較研究 * 実験の条件設定、手順等で注意すべき点を学ぶ。	市村	pp77-108,186-200	204
第11回	実験研究 研究方法各論 実験研究の計画立案、データ収集、分析方法を学ぶ 【KW】研究命題、仮説、有意差 * 実験研究の計画から実施の流れを理解する。	市村	pp186-200	205
第12回	質的研究総論 質的研究の目的と形式、理論的背景を理解する。 【KW】グラウンデッドセオリー・エスノグラフィー・現象学・主観 * 量的研究との違いを理解する。	市村	pp201-215	205
第13回	質的研究総論 質的研究の目的と形式、理論的背景を理解する。 【KW】グラウンデッドセオリー・エスノグラフィー・現象学・主観 * 質的研究では何がわかるのかを理解する。	市村	pp201-215	205
第14回	質的研究 データ収集演習 インタビューを実施し、データ収集方法を理解する。 【KW】半構造化インタビュー・インタビューガイド * 質的研究で実施するインタビューの方法論を理解する。	市村	pp201-215	OT実習室 2・3
第15回	質的研究方法論 質的研究のデザイン、データ収集と分析方法を理解する。 【KW】ナラティブ・参与観察・仮説生成・コード化・カテゴリー化 * 分析手順を理解する。	市村	pp201-215	205
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	研究発表の方法 学会及び論文発表の方法を理解する 【KW】報告の手続き・発表媒体のデザイン・口述原稿・論文の体裁 * 卒後に学会発表する場合を想定して、方法を理解する。	市村	pp224-226, pp.144-162	205
第17回	事例研究総論 事例研究の種類と方法を理解する。 【KW】事例報告・事例研究・SSD * 一般的事例研究とシングルシステムデザインの違いを理解する。	市村	pp109-136	205
第18回	テーマ研究オリエンテーション 文献研究の準備をする * 調べたいテーマを決め、計画を立てる	市村	配布資料	205
第19回	テーマ研究 研究の実施 * 文献の収集、講読、報告書の執筆	市村		205
第20回	事例報告抄録作成演習 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法を理解する。【KW】日本作業療法士協会生涯教育制度・事例報告抄録の書式 * 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法に従い、抄録を執筆する。	市村	pp109-136	204
第21回	事例報告抄録作成演習 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法を理解する。【KW】日本作業療法士協会生涯教育制度・事例報告抄録の書式 * 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法に従い、抄録を執筆する。	市村	配布資料	204
第22回	テーマ研究 研究の実施 * 文献の収集、講読、報告書の執筆	市村		205
第23回	テーマ研究 研究の実施 * 文献の収集、講読、報告書の執筆	市村		205
第24回	テーマ研究 研究の実施 * 文献の収集、講読、報告書の執筆	市村		205
第25回	テーマ研究 研究の実施 * 文献の収集、講読、報告書の執筆	市村		205
第26回	テーマ研究 研究発表の準備 * 発表スライドの作成、口頭報告の準備	市村		205
第27回	テーマ研究 研究発表の準備 * 発表スライドの作成、口頭報告の準備	市村		204
第28回	まとめ・研究に関する知識の整理 研究に関わる知識のまとめ * 本科目のまとめを行う。研究に関する知識を確認する。	市村	配布資料	205
第29回	テーマ研究 研究発表会 * 研究発表と聴講、質疑応答	市村		205,206
第30回	テーマ研究 研究発表会 * 研究発表と聴講、質疑応答	市村		205,206
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	職業倫理学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・岡庭隆門	職業管理学・作業療法教育学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法士として必要な職業倫理についてお伝えします。静岡県作業療法士会 会長の岡庭先生より「協会の倫理規定」「静岡県作業療法士会の活動」についてご教示いただけます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	職業倫理を学び、医療従事者に求められる倫理を理解する					
行動目標(SBO)	1. 作業療法士の法的責任と倫理綱領を理解する 2. 患者・対象者(児)の権利と尊厳を理解する 3. ハラスメントとハラスメント防止・組織倫理について理解する 4. 倫理事例を通して問題解決等の手段を選択できる 5. 日本作業療法士協会倫理規定 協会や各士会との組織連携 静岡県士会について理解する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
専門職の実務形態は特殊であり、そのために職業倫理が重要視されている。 療法士の職域は、医療から介護、予防、健康増進と広がりを見せており、そのような状況に対応するには、患者の権利に敏感である必要がある。インフォームド・コンセントは療法士にとって、治療効果に影響を及ぼす要因だと認識し、積極的に取り組む必要がある。医療情報には守秘義務を伴うが、有用な側面もあるため、個人情報保護法をよく理解したうえで、適正に取り扱うことが求められる。						
教科書・参考書						
(参考書)大庭 潤平 作業療法管理学入門 第2版 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切です。 職業倫理は医療人としてとても重要な意識である。法的責任や倫理観が問われるのは勿論であるが、倫理的ジレンマに遭遇することも多々ある。対象者にとって「安全」で「最良」の方法を見つけていくためにも、倫理について意識を高く持つことが大切であることから、建設的な意見交換が大切である。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回ごとに授業資料、レポートを提出し採点を行います。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・倫理とは 職業倫理を学ぶ必要性和その内容について理解する 【キーワード】職業倫理・作業療法士の倫理綱領	岡本	資料	205
第2回	作業療法士の法的責任と倫理綱領 理学療法士および作業療法士法による法的責任と、倫理綱領の内容について具体的に理解する。【キーワード】理学療法士および作業療法士法	岡本	資料	205
第3回	患者・対象者(児)の権利と尊厳 医療提供者として対象者の権利と尊厳について理解する 【キーワード】歴史的背景・インフォームドコンセント	岡本	資料	205
第4回	ハラスメントとハラスメント防止 ハラスメントとは、ハラスメントの種類を理解しその防止を理解する 【キーワード】ハラスメント・ハラスメントの防止	岡本	資料	205
第5回	組織倫理 病院という組織の中の一員としての組織倫理を考える。 【キーワード】組織倫理・社会倫理・個々の倫理観	岡本	資料	205
第6回	倫理事例 倫理的問題の気づきを事例を通して考える。 【キーワード】倫理的問題の気づき・ディレンマ	岡本	資料	205
第7回	日本作業療法士協会倫理規定について 協会や各士会との組織連携 日本OT協会の倫理規定 協会と各士会の連携について理解する 【キーワード】倫理規定・各士会との連携	岡庭隆門	資料	205
第8回	静岡県作業療法士会の活動等の紹介 静岡県作業療法士会の活動を理解する 【キーワード】静岡県作業療法士会・各士会の活動	岡庭隆門	資料	205

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	職業管理学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行・大石裕也	職業倫理学・作業療法教育学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法士として必要な職業管理についてお伝えします。静岡リハビリテーション病院の大石先生より病院(施設)とリハビリテーション部門での連携を含めた管理業務の紹介 リハビリテーション部門または作業療法部門の管理業務とは、臨床業務の中における「リスク管理」「情報管理」「業務管理」についてご教示いただきます					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法士として、組織・部門管理・リスク管理・情報管理・業務管理を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 病院や施設の組織の中での役割・構成を理解する。 2. 部門管理の労務管理・管理者の役割・スタッフの役割を理解する。 3. リスク管理について説明できる。 4. 情報管理について説明できる。 5. 業務管理・マネジメントについて説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士として仕事をする際、自分が属する組織に貢献することによって、給料をもらうことになる。就職するということは組織の中の一員として働いていることを意識する必要がある。病院や施設という組織を理解し、仕事をする際の自分自身の役割、それぞれの立場での役割を理解した上で、協働することが大切である。医療現場でのリスク管理はもとより、情報管理・業務管理を学び、自己管理をしていくことが求められる。作業療法士は、業務スケジュールなど自分で管理したり、多職種との連携をマネジメントする機会が多い。信頼関係を築くためにも管理意識は重要である。						
教科書・参考書						
(参考書)大庭 潤平 作業療法管理学入門 第2版 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
仕事をする上で、管理業務を理解していることはとても重要なことである。眼の先のことだけを考えるのではなく、組織の中で、中長期的目標を立て、新人からいずれ管理者として部門管理をしていくイメージが持てるとよい。そのための管理学をしっかりと学んでほしい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回ごとに授業資料、レポートを提出し採点を行います。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	<u>オリエンテーション・作業療法の管理とは</u> 【キーワード】マネジメント・目標管理	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第2回	<u>組織マネジメント</u> 【キーワード】組織と個人・作業療法部門組織	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第3回	<u>情報管理</u> 【キーワード】情報・守秘義務・診療記録	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第4回	<u>医療サービスのマネジメント・医療安全のマネジメント</u> 【キーワード】サービス・アクシデント・インシデント	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第5回	<u>作業療法管理の紹介</u> 【キーワード】組織マネジメント・作業療法管理業務	大石裕也	作業療法管理 学入門 資料	205
第6回	<u>作業療法管理の紹介</u> 【キーワード】リスク管理・情報管理・業務管理	大石裕也	作業療法管理 学入門 資料	205
第7回	<u>作業療法業務マネジメント</u> 【キーワード】人・経済・情報・時間	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205
第8回	<u>作業療法臨床実習・キャリア開発</u> 【キーワード】臨床実習の管理体制・キャリア開発・ワークライフバ ランス	岡本	作業療法管理 学入門 資料	205

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法教育学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	間瀬亜由美 秋山尚也	職業倫理学・職業管理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。臨床現場での経験を基に、作業療法士に必要な教育方法・教育内容について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法士に必要な教育内容や教育方法について理解する					
行動目標(SBO)	1. 作業療法士に必要な教育的役割を理解する 2. 作業療法士に必要な教育内容を理解する 3. 人材育成手法を理解する 4. 人材育成手法を用いた教育方法について検討する					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士として臨床業務と同様に後輩育成や次世代の作業療法士の教育も大事な役割となります。 作業療法士は学ぶことが多いため、適切な情報を取り入れ常に対象者のために技術や知識を更新し続けていかなくてはなりません。自ら学び自己研鑽を図るとともに、適切に後輩育成ができるよう教育方法や教育内容を理解していきます。						
教科書・参考書						
受講時留意点、その他						
毎回授業資料を配布します。 授業への積極的な授業態度、他の授業科目と併せた理解と実践を期待します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	毎回課題に対してレポートを作成する。レポートは、量、丁寧さ、記載内容を採点します。提出期限を過ぎたレポートは受け付けません。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な態度が見られた場合、減点の対象とします。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	医療専門職の継続教育 【KW】継続教育、生涯教育、プロフェッショナルリズム、OJT、キャリア	間瀬	配布資料	205
第2回	人材育成手法 【KW】コーチング、ティーチング	間瀬	配布資料	205
第3回	人材育成手法(教育検討ディスカッション) 【KW】教育方法の検討、コーチング、ティーチング	間瀬	配布資料	205
第4回	作業療法現場での教育 【KW】日本作業療法士協会、静岡県作業療法士会	秋山	配布資料	205
第5回	作業療法現場での教育 【KW】現場教育、教育体制、人材育成	秋山	配布資料	205
第6回	臨床実習指導方法 【KW】臨床実習、診療参加型臨床実習	間瀬	配布資料	205
第7回	臨床実習指導方法(教育検討ディスカッション) 【KW】教育方法の検討、臨床実習、診療参加型臨床実習	間瀬	配布資料	205
第8回	臨床で役立つ人材育成 【KW】キャリア教育、コンピテンシー	間瀬	配布資料	205
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	画像評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	鈴木亮太	解剖学Ⅰ・Ⅱ、脳神経外科学・神経内科学・中枢神経疾患作業療法学 整形外科学Ⅰ・Ⅱ、整形外科疾患作業療法学Ⅰ、内科学Ⅰ・Ⅱ 内部疾患作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	画像評価を通し、対象者の状態を把握することができる					
行動目標（SBO）	1.画像診断の基礎知識を理解できる 2.脳疾患の対象者の画像から状態を把握することができる 3.整形外科疾患の対象者の画像から状態を把握することができる 4.内部疾患の対象者の画像から状態を把握することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
臨床現場で収集できる情報の一つとして画像情報があります。IT化が進むにつれて情報にもアクセスしやすい環境になっています。						
作業療法士は対象者の全体像を把握するために卒業時には画像を読み取れるようになっていなければいけません。画像読影の基礎、各疾患の画像評価を教授します。繰り返し画像を確認しポイントを整理できるよう復習しましょう。						
教科書・参考書						
中島雅美・中島喜代彦・大村優慈 編著 PT・OT基礎から学ぶ 画像の読み方 第4版 / 医歯薬出版株式会社 医療情報科学研究所/編 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版（メディックメディア）						
受講時留意点、その他						
教科書と合わせて、スマートフォン、タブレット等を使用して確認します。持ち込む際にはマナーを守るようにしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	100%	第2回～第8回の授業内で小テストを実施します。出題は前回の授業範囲となります。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	脳の解剖、脳画像のスライスレベルと部位の同定 【KW】大脳皮質・間脳・基底核・脳室・機能局在	鈴木	病気がみえる	205
第2回	脳画像読影の基礎知識、MRA 【KW】X線CT・MRI (T1、T2、FRAIR、DWI) ・MRA	鈴木	p2-5	205
第3回	脳梗塞の画像読影 【KW】脳梗塞	鈴木	p6-25	205
第4回	脳出血の画像読影 【KW】脳出血・くも膜下出血	鈴木	p26-35	205
第5回	脳疾患の画像読影 【KW】頭部外傷・脳腫瘍・認知症	鈴木	p36-45	205
第6回	脊柱疾患・骨折・関節リウマチの画像読影 【KW】脊椎脊髄疾患・骨折・関節リウマチ	鈴木	p48-78	205
第7回	循環器疾患・呼吸器疾患の画像読影 【KW】心不全・無気肺・肺炎・肺気腫・肺線維症・気胸	鈴木	p80-140	205
第8回	問題演習 【KW】脳疾患・整形外科疾患・内部疾患	鈴木	p142-174	205

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学	3	90	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子・岡本博行・中村毎途・ 間瀬亜由美・鈴木亮太 岡庭隆門・佐々木直美・林正春・ 生田純一・秋山尚也	中枢神経障害作業療法学，整形外科疾患作業療法学 Ⅰ・Ⅱ，内部障害作業療法学、ほかすべての専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法評価学・治療学の総合的な知識を身につける					
行動目標（SBO）	1. 作業療法の歴史と概要がわかる 2. 作業療法評価の手段と方法がわかる 3. 作業療法アプローチの手段と方法がわかる 4. 福祉機器・義肢・装具の種類と適応がわかる 5. 事例を基に作業療法評価・治療の手段と方法がわかる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、作業療法の評価・治療全般の知識を整理し、事例をもとに評価・治療方法の選択ができるようにしていきます。授業では、学習のポイントを伝えますが、自己学習が重要となります。学習ノートを作って予習・復習を十分に行い、わからない個所がある場合には、時間を空けずに質問してください。各領域の知識・考え方・作業療法士としての心構えを学んでください。						
教科書・参考書						
医歯薬出版編 / 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2026 基礎OT学 / 医歯薬出版株式会社 医歯薬出版編 / 理学療法士・作業療法士国家試験必修ポイント 2026 障害別OT治療学/医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
臨床実習および、国家試験に繋がる基本的な考え方を学びます。各自予習・復習を心掛けてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	後期末試験を実施します。60%を合格の基準とします。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
（合計）	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・作業療法評価学 【KW】評価総論	市村紋	必修ポイント 基礎OT/評 価学テキスト	205
第2回	作業療法評価学 【KW】面接・観察、バイタルサイン、摂食嚥下、関節可動域測定	市村紋	必修ポイント 基礎OT/評 価学テキスト	205
第3回	作業療法評価学 【KW】徒手筋力テスト、バランス能力、反射、上肢機能検査	市村紋	必修ポイント 基礎OT/評 価学テキス ト,MMT	205
第4回	地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割	間瀬	配布資料	205
第5回	地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割	間瀬	配布資料	205
第6回	身体障害を有する対象者の自動車運転	生田	配布資料	205
第7回	身体障害を有する対象者の自動車運転	生田	配布資料	205
第8回	福祉用具・自助具の臨床的活用	林	配布資料	OT実習室 1
第9回	福祉用具・自助具の臨床的活用	林	配布資料	OT実習室 1
第10回	高次脳機能障害の対象者に対する作業療法	秋山	配布資料	205
第11回	高次脳機能障害の対象者に対する作業療法	秋山	配布資料	205
第12回	<u>医療観察病棟での司法精神医療の実践</u>	岡庭	配布資料	205
第13回	<u>医療観察病棟での司法精神医療の実践</u>	岡庭	配布資料	205
第14回	地域で支える発達障害児に対する作業療法	佐々木	配布資料	OT実習室 2・3
第15回	地域で支える発達障害児に対する作業療法	佐々木	配布資料	OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	基礎作業療法学 【KW】作業療法理論、歴史、理学療法士及び作業療法士法、ICF、ICD-10、感染予防、管理	市村紋	必修ポイント 基礎OT/OT 概論テキスト	205
第17回	作業療法評価学 【KW】ADL・IADL、QOL	市村紋	必修ポイント 基礎 OT/ADL・評 価学テキスト	205
第18回	作業療法評価学 【KW】中枢神経疾患、脳血管障害	間瀬	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第19回	作業療法治療学 【KW】脳血管疾患、回復期、維持期、運動療法、ADL指導	間瀬	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第20回	作業療法評価学・治療学 【KW】関節リウマチ・骨折・腱損傷・末梢神経損傷	市村紋	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第21回	作業療法評価学 【KW】呼吸器疾患、心疾患、悪性腫瘍	市村紋	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第22回	作業療法治療学 【KW】呼吸器障害、虚血性心疾患、代謝障害、腎機能障害、膠原病	市村紋	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第23回	作業療法評価学・治療学 【KW】廃用症候群、悪性腫瘍、熱傷、有痛性疾患	市村紋	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第24回	作業療法評価学 【KW】脊髄損傷	鈴木	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第25回	作業療法治療学 【KW】脊髄損傷	鈴木	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第26回	作業療法評価学 【KW】脊髄小脳変性症、パーキンソン病、神経変性疾患	鈴木	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第27回	作業療法治療学 【KW】パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多発性硬化症、	鈴木	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第28回	作業療法治療学 【KW】筋萎縮性側索硬化症、ニューロパチー、多発性筋炎、重症筋無力症	鈴木	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第29回	作業療法評価学 【KW】認知機能検査・高次脳機能検査	間瀬	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205
第30回	作業療法治療学 【KW】高次脳機能障害	間瀬	必修ポイント基 礎OT・OT治療 学/ 授業資料・ テキスト	205

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第31回	作業療法治療学 【KW】認知症	中村毎	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第32回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎OT/授業資料・テキスト	205
第33回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎OT/授業資料・テキスト	205
第34回	地域作業療法学 【KW】義肢・装具	岡本	必修ポイント基礎OT/授業資料・テキスト	205
第35回	作業療法評価学・治療学 【KW】気分障害	市村紋	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第36回	作業療法評価学・治療学 【KW】統合失調症	市村紋	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第37回	作業療法評価学・治療学 【KW】神経症、不安障害、パニック障害、強迫性障害、身体表現性障害	市村紋	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第38回	作業療法評価学・治療学 【KW】パーソナリティ障害、てんかん、依存症	市村紋	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第39回	作業療法評価学 【KW】小児・正常発達・脳性麻痺・二分脊椎	中村毎	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第40回	作業療法治療学 【KW】脳性麻痺、Down症候群、	中村毎	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第41回	作業療法治療学 【KW】筋ジストロフィー、二分脊椎、運動発達遅滞	中村毎	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第42回	作業療法評価学・治療学 【KW】ADHD、自閉症スペクトラム	中村毎	必修ポイント基礎OT・OT治療学/ 授業資料・テキスト	205
第43回	地域作業療法学 【KW】地域包括ケアシステム、障害者総合支援法、介護保険制度、住環境整備、福祉用具	中村毎	必修ポイント基礎OT/授業資料・テキスト	205
第44回	作業療法評価学 【KW】精神保健福祉法、医療観察法、就労支援、評価	中村毎	必修ポイント基礎OT/授業資料・テキスト	205
第45回	まとめ	市村紋		

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	就業援助学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	野村めぐみ 山本晃弘 久野誠 富田靖子	地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、関連法規、各領域作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 後期	この科目は作業療法士が担当します。様々な領域での就労支援における作業療法の実務経験を基に教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法の対象者に対する就労における援助方法を理解する。					
行動目標(SBO)	1. 一般的な労働に関連する法律・制度が理解できる。 2. 障害者の就労に関連する法律・制度が理解できる。 3. 作業療法士が行う就労の評価と援助の方法が言える。 4. 各領域における就労援助の方法が理解できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
作業療法士が就労支援を行う上で必要な評価及び援助の方法論について学びます。法制度的な視点と作業療法士の専門的な視点の双方を、各領域のセラピストから教授いただきます。						
教科書・参考書						
参考資料:①就労支援の作業療法 基礎から臨床実践まで 医歯薬出版 ②ゼロから始める就労支援ガイドブック メジカルビュー社						
受講時留意点、その他						
援助方法を学ぶ前に、自身が働くこと、雇用されることについてイメージをして臨みましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	40	第1回～第4回の内容について、小テストを行います。				
レポート	60	第5回～第7回の内容について、レポートを実施します。正当な理由なく期日より遅れたものは0点とします。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	第8回にまとめテストを実施します。形成的評価とし評価には含めません。				
(合計)	100	小テストとレポートを合算して評価を出します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回	オリエンテーション・就労支援とは コースオリエンテーション。働くことの意義を考え、援助者としての心構えを理解する。 【KW】自己実現、生活基盤の確保、人権、基本姿勢	野村	配布資料	
第2回	就労支援の歴史とプロセス、介入方法 職業リハビリテーションの変遷と基本的なプロセスを理解する。 【KW】職業リハビリテーション、歴史、職業準備性、IPS	野村	配布資料	
第3回	職業評価 就労支援における観察・面接方法の理解と、評価の種類を知る。【KW】インテーク、職業レディネスチェックリスト、職業適正検査、VPI職業興味検査、ワークサンプル法	野村	配布資料	
第4回	就労にかかわる法律、制度 就労支援及び労働に関わる法制度を理解する。制度の観点から就業援助を行う方法を学ぶ。【KW】障害者総合支援法、障害者雇用促進法、ハローワーク、リワーク	野村	配布資料	
第5回	就労支援の実践1-精神障害領域- 精神障害領域の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	山本晃弘 先生	配布資料	
第6回	就労支援の実践2-身体障害領域- 身体障害領域の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	久野誠先生	配布資料	
第7回	就労支援の実践3-一般企業- 一般企業の就労支援における作業療法士の関わりを知る。	富田靖子 先生	配布資料	
第8回	まとめ、問題演習 第1回～第7回のまとめ 【KW】国家試験問題	野村	配布資料	
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅳ	10	450	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員、非常勤講師（模擬患者）	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
4年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価・治療技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価・治療過程を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標（GIO）	作業療法学生として適切な態度を習得し、臨床実習教育者の指導の下、対象者への評価と結果の解釈、治療の実践と再評価が行える。					
行動目標（SBO）	・作業療法学生として適切な態度を習得し、対象者との良好な関係が構築できる。 ・対象者に対して初期評価計画を立案し、実践できる。 ・指導の下、評価結果を解釈して治療プログラムが立案できる。 ・指導の下、治療プログラムの実践ができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨想的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践し、学校教員は実習施設訪問を行う。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
施設内実習は5月12日（月）から7月11日（金）のうち45日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、中枢神経疾患または整形外科疾患／統合失調症事例の評価結果からの問題点・利点の抽出、ゴール設定、プログラム立案と根拠の説明とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした統合と解釈、ゴール設定・プログラム立案の根拠説明、治療経過の整理とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例への指定された治療プログラムの実践／統合失調症の事例との作業場面における治療的かわりとする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。				
（合計）	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第1回	臨床実習 授業オリエンテーション 臨床実習のスケジュールや課題の確認		鈴木		205
第2回	OSCE（身体障害領域）事例提示	OSCE（精神障害領域）事例提示	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第3回	臨床的思考演習 事例に対するゴール設定とプログラム立案 評価結果からゴールを設定とプログラム立案を行い、根拠を説明する		市村		205
第4回	臨床的思考演習 治療経過のまとめ 治療経過と再評価結果を整理し、治療効果について考察する方法を学ぶ		市村		205
第5回	治療演習（身体障害領域） 評価から治療への展開と治療手段を 学ぶ	治療演習（精神障害領域） 評価から治療への展開と治療手段を 学ぶ	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第6回	治療演習（身体障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	鈴木/野 村		OT2・3/ 205
第7回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの振り返り	間瀬/野 村		OT実1・ 2・3
第8回	OSCE（身体障害領域）演習 OSCEの概要、実施に向けた提示	OSCE（精神障害領域）演習 OSCEの振り返り	鈴木/野 村		OT実1・ 2・3
第9回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月25日）	学科教員・ 非常勤講 師		OT実2・ 3/OT実 1
第10回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月30日）	学科教員		OT実2・ 3/OT実 1
第11回	OSCE（身体障害領域） 実施後実技補充 OSCE実施に対し振り返りを行う	治療演習（精神障害領域） 観察と解釈、治療的関与のポイント を学ぶ（4月30日）	学科教員		OT実2・ 3/OT実 1
第12回	実習前セミナー 連絡事項・書類確認		鈴木		OT実習室 1
第13回	実習前セミナー 実習前準備・実技練習		鈴木		OT実習室 1

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 5/12-5/16	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、 間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第2 - 4 週 5/19-6/6	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第5週 6/9-6/13	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。 学生・教育者による中間の体験チェックとフィードバック、後半 の目標設定。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第6 - 8 週 6/16-7/4	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設
第9週 7/7-7/11	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な評価・治療計画の教授、間接業務の実行。 最終到達度チェックと実習の振り返り、フィードバック。	臨床実習 教育者 学校教員		臨床実習 施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等		教員	教科書	教材 教室
第14回	実習後セミナー 実習書類の提出、確認		鈴木		OT実習室 2・3
第15回	実習後セミナー 実習后面談・情報共有		鈴木		OT実習室 2・3
第16回	実習後 筆記試験		市村		205
第17回	実習後 レポート課題 実習で体験した情報をもとに事例レポートを作成する		市村		205
第18回	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	OSCE（精神障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学科教員・ 非常勤講 師		OT実習室 1・2・3
第19回	OSCE（身体障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	OSCE（精神障害領域） 実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学科教員		OT実習室 1・2・3
第20回	実習後 レポート課題 修正 教員のフィードバックに基づきレポートを修正する		市村		205
第21回	模擬カンファレンス練習① カンファレンスの準備		市村		OT実習室 2・3
第22回	模擬カンファレンス練習② カンファレンスの準備		市村		OT実習室 2・3
第23回	模擬カンファレンス練習③ カンファレンスの実施 (PT学科・OT学科合同授業)		市村		講堂
第24回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習室 2・3
第25回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習室 2・3
第26回	実習後 レポート課題 報告 口頭で事例報告を行う		鈴木		OT実習室 2・3

(R02-カリキュラム)

＜実習中の連絡等について＞

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの閲覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 TEL 0545-55-3888（平日の8:30－17:30）
実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888
代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

＜災害発生時について＞

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットςで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネットς上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅴ	2	105	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
作業療法学科4年	臨床実習教育者 市村紋子（実習調整担当者）、 学科教員	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、 作業療法評価学実習、地域作業療法学Ⅰ・Ⅱ、地域作業療法学実 習			
授 業 目 標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標（GIO）	地域領域での作業療法士の役割と実践、多職種連携を理解する。				
行動目標（SBO）	・地域リハビリテーション領域における作業療法士の態度を理解する。 ・地域領域の作業療法過程を理解する。 ・地域領域での他職種の役割と、職種間の連携を理解する。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
本科目は、学外施設での実習を中心に行い、前後に学内でのセミナーも実施する。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡する。実習中の記録、連絡には「臨床実習支援システム」を利用する。					
教科書・参考書					
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書					
受講時留意点、その他					
施設内実習は8月18日（月）から8月29日（金）のうち10日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、原則として臨床実習教育者の勤務日に合わせる。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合（％）	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
小テスト					
レポート	40	見学・体験した事例の情報を、一般社団法人日本作業療法士協会 生活行為向上マネジメントの「生活行為アセスメント演習シート」「生活行為向上プラン演習シート」の形式にまとめる課題を実施する。			
実技試験					
プレゼンテーション					
その他	60	臨床実習教育者が記載した技能到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況を参照し、施設実習中の技能を教員がルーブリック形式で評定する。			
（合計）	100	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。			

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回	実習前セミナー 事前学習	鈴木		学内
第2回	実習前セミナー 事前学習	鈴木		学内
第3回	実習前セミナー MTDLPを用いた対象者情報の整理演習	中村毎		学内
第4回	実習前セミナー 連絡事項・書類確認	鈴木		学内
回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1週 8/18-8/22	事前オリエンテーション 訪問リハビリテーション、通所リハビリテーションの現場を理解する クリニカル・クラークシップによる臨床実践等、具体的な治療計画の教授、 間接業務の実行、多職種連携の見学。	臨床実習 教育者 作業療法 学科教員		臨床実習 施設
第2週 8/25-8/29	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等、具体的な治療計画の教授、 間接業務の実行。 最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習 教育者 作業療法 学科教員		臨床実習 施設
回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第5回	実習後セミナー 連絡事項・書類確認	鈴木		学内
第6回	実習後セミナー 実習後面談・情報共有・レポート課題	鈴木		学内
第7回	実習後セミナー 発表	鈴木		学内
第8回	実習後セミナー 発表	鈴木		学内

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの閲覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校
代表 Tel 0545-55-3888（平日の8:30～17:30）
実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888
代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp
- ・ 実習期間中の連絡には、「臨床実習支援システム」メール機能も活用する。

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットςで通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネットς上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。